《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報処理法			授業科目番号	1101010
担当者氏名	張　坤			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-1 地域のネットワークを共有する力， ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

パーソナルコンピューターを用いて、学生生活で必要な情報処理の基礎的な知識と操作技術の獲得を目指す。パーソナルコンピューターの仕組みを知る。そのうえで、ワードプロセッサーの基礎的な使用方法、表計算ソフトの基礎的な使用方法、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。また、電子メールの受発信、インターネットを通しての情報収集の基礎的な知識と技術を学ぶ。収集した情報の加工、蓄積、検索、利用、廃棄などの情報管理の手法について学ぶとともに、収集したデータの二次的活用方法について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．パーソナルコンピューターの基本的な操作とインターネットからの情報収集・処理・発信ができる。
2．ワードによる文書の作成ができる。
3．パワーポイントによる発表資料作成ができる。
4．エクセルによる表計算とデータの集計などができる。

《評価の方法》

学習態度10%；宿題20%（2，3回程度）；小テスト30%（3回程度）；パワーポイントによるグループ発表40%

《テキスト》

『イチからしっかり学ぶ!Office基礎と情報モラルOffice365・Office2019対応』（noa出版著　noa出版　2019年）

《参考図書》

特に指定しない

《履修上の留意点》

演習科目であるため、講義への出席率を確保するように努める。

《備考》

養護教諭2種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	パソコンの基本操作；インターネット・エクスプローラーの操作方法・ファイルの管理など （基本操作演習）	講義の概要の説明 ①パソコンの起動から終了までを一通り行え、その作法を学び、実践する。　②エクスプローラーの表示・操作　③ファイルとフォルダーの操作。 （予習）教科書第2章のStep1	張　坤
2	ワード （文書作成の基本）	①ワードの基本操作・編集機能の紹介　②英数字や漢字を含む様々な文字と、その様々な入力方法　③文章の装飾法のいろいろを学び、実践を行う。 （復習）教科書第1章、教科書第2章のStep1 （予習）教科書第2章のStep2	張　坤
3	ワード （チラシの作成）	チラシを作成することの実践とレポートに必要な機能を学ぶ （復習）教科書第2章	張　坤
4	ワード （復習・小テスト）	学習したワードの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第3章のStep1、2	張　坤
5	エクセル （基礎と表の作成）	①エクセルの基礎を学ぶ　②エクセルを用いて表を作成し、そのうえで、表計算とは何かを実際に体験する。 （復習）教科書第3章のStep1、Step2.1&2.2 （予習）教科書第3章のStep2.3	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報処理法	授業科目番号	1101010
担当者氏名	張　坤		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	エクセル （データ計算の諸機能）	データの順位付け、列・行の検索方法の理解と練習をする。文字列の操作、条件付き集計方法を理解し、実践する。 （復習）教科書第3章のStep2.3 （予習）教科書第3章のStep3	張　坤
7	エクセル （関数とグラフ）	エクセルに用意されている関数について学び、合計や平均値などを計算する。その結果をグラフ表示する。 （復習）教科書第3章	張　坤
8	エクセル （復習・小テスト）	学習したエクセルの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第4章のStep1、2	張　坤
9	パワーポイント （プレゼンテーションの基本とスライドの作成）	パワーポイントの使い方の基本を学び、図表挿入の各機能の紹介と練習。 （復習）教科書第4章のStep1、2 （予習）教科書第4章のStep3	張　坤
10	パワーポイント （発表資料の作成）	チームで発表したいテーマを選択し、それについての発表項目内容を、アウトライン機能を用いて作成する。また、写真・動画の挿入の方法を理解し、プレゼンテーション資料の作成を行う。 （復習）教科書第4章	張　坤
11	パワーポイント （復習・小テスト）	学習したパワーポイントの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第5章	張　坤
12	情報モラル （ルールとマナー）	①セキュリティと情報モラル　②ルールとマナー　③電子メールの利用際の注意点　④個人情報の保護 （復習）教科書第5章	張　坤
13	パワーポイント （発表練習）	第10回で作成した発表資料を用いて、プレゼンの練習と資料の修正作業を行う。	張　坤
14	グループ発表の実施(1)	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。	張　坤
15	グループ発表の実施(2)とまとめ	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。 これまで学習した情報処理基礎、用いたツールについてまとめる。	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	英語Ⅰ			授業科目番号	1102010
担当者氏名	石岡　精三			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

社会の一員として、また、学生生活の学習の場で必要となる基礎的な英語の能力を養成するために、基礎的なリーディングとライティング、リスニング、スピーキングの能力を獲得する。リーディングでは、基礎的な英文法を習得し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。ライティングでは、正しい英文を書くことができる能力を養成する。また、リスニングとスピーキングでは、一般的な生活で使用する英会話ができる能力を養う。

《授業の到達目標》

英語構造の理解に不可欠である基本的なルールの把握を目指す（このルールは極度に単純化されたモデルであり、君たちがこれまで学んできた文法事項と異なり、記憶の負担になるものではない)。このルールと発音の基礎を学習することにより、話し言葉と書き言葉の基本的な発表・作成能力と正確な解釈能力を育てる。基本的な単語の習得も目指す。

《評価の方法》

授業時間内に実施する小テスト・単語テスト40%、レポート20%、定期試験40%

《テキスト》

『Stories of Ryunosuke Akutagawa』（芥川龍之介著　IBC ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ　2016年)
『書いて覚える英単語ノートー完成4500語レベル』(桐原書店編集部編　桐原書店　2018年)

《参考図書》

『日本人の英語はなぜ間違うのか？』（マーク・ピーターセン著　集英社インターナショナル　2014年）

《履修上の留意点》

最終試験は、発音と英語構造に関する空所補充の形式で行う（試験期間内に実施する)。ほとんど毎回、単語テストを含む小テストを行う。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目　　毎時間、英和辞典を持参するように。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ①(Chapter 1)(レポート設定) 英語構造の大原則（提示) 基本的な母音 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
2	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ①(Chapter 1)(レポート解説) 英語構造の大原則（提示) 基本的な母音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
3	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ②(Chapter 2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用) 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
4	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ②(Chapter 2)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用) 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
5	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds（音の連結))	Toshishun ③(Chapter 3)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用) 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	英語Ⅰ	授業科目番号	1102010
担当者氏名	石岡　精三		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ③(Chapter 3)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
7	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ④(Chapter 4-1)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
8	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ④(Chapter 4-1)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
9	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑤(Chapter 4-2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
10	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑤(Chapter 4-2)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
11	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑥(Chapter 5-1)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
12	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑥(Chapter 5-1)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
13	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑦(Chapter 5-2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
14	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑦(Chapter 5-2)(レポート解説) Toshishun ⑧(Chapter 6) (レポート設定) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト General Exercise (総合演習) 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
15	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑧(Chapter 6)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト General Exercise (総合演習)	石岡　精三

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅰ			授業科目番号	1102030
担当者氏名	渡部　洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

読んだ文章を理解したり言及したりするために必要な、文章の要約の方法について、実践を通して理解する。また、論理的な文章を読み、理解するために必要な論理的構造を接続語にも注目しながら読み解く方法を実践を通して理解する。日本語を使用することとは、論理的な思考が必要であることを実感し、必要性を理解する。また、人間は言葉によって思考すること、言葉が心を豊かにすることを意識しながら読解力、分析力を養う科目である。

《授業の到達目標》

日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	日本語の統語的構造とその特質 （文の構成）	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。	渡部洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 （主張の組み立て）	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。	渡部洋一郎
3	随筆の特徴と効果的な文章構成 （筆者の工夫）	向田邦子の短編随筆を主な教材として、随筆とは何かについて考えます。また、没後なお読者を魅了する向田の文章構成の工夫についても検討を加えます。	渡部洋一郎
4	説明文における実験の手順と説明の論理 （実験観察型説明文の論理）	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。	渡部洋一郎
5	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 （長文の要点を短時間で把握する方法）	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅰ	授業科目番号	1102030
担当者氏名	渡部　洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	文学的文章を読み解く視点（物語文法）	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	渡部洋一郎
7	文学的文章を読み解く視点（ショートショート）	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅰ」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅱ			授業科目番号	1102040
担当者氏名	渡部　洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

大学生活や、社会生活でも、的確に日本語を運用し文章として表現する力が必要である。この科目では、論理的な思考力に基づき、日本語を記述により表現する能力を養う。具体的には、日本語の特徴を理解する。また、現代人の誤りやすい言葉使い、常用漢字や送り仮名の正しいつけ方を再確認し、文章を書いてみる。さらに、事実と意見の使い分けや簡潔な文章を書くための方法を明確にして、小論文の書き方を学ぶ。小論文作成では、作文との違いを明確に理解して、実際に書いてみる。

《授業の到達目標》

日本語Ⅰの内容を踏まえ、基礎的な知識の上に立った発展的な応用力を養うことを目標とする。また、これに加えて論理の用法や陥りやすい日本語の誤用表現などについても理解を深める。こうした総合的な日本語の学習と理解に基づき、最終的に自らの考えを小論文としてまとめる力を身につけるとともに、培った論理力を用いて、文章題などにも挑戦してみる。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	日本語の誤用表現 （ら抜き言葉等）	ら抜き言葉を始めとするいくつかの誤用表現について、誤用発生の理由と経緯、誤用定着の過程などを学びます。	渡部洋一郎
2	根拠と理由の使い分け （両者の違い）	私たちが日常的に使う言葉には、微妙なニュアンスの違いがあります。ここでは、根拠と理由を取り上げ、その違いについて学びましょう。	渡部洋一郎
3	事実と意見 （相違点）	自分の主張に説得性を持たせるためには、事実と意見を書き分け、前回の学習で学んだ明確な根拠を付すことが必要です。そのため、ここでは事実と意見の相違点について学びます。	渡部洋一郎
4	小論文の作成に向けて （必要な要素と配置）	根拠と理由、事実と意見について学ぶだけで小論文は書けるだろうか。それ以外に必要な要素や文章構成のポイントはあるだろうか。この回では、そこに検討を加えます。	渡部洋一郎
5	小論文の作成に向けて （実際の作成）	これまでに学んだことを活かして、効果的で説得性のある小論文を実際に書いてみましょう。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅱ	授業科目番号	1102040
担当者氏名	渡部　洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	日本語の論理に関する文章題を解く	皆さんが日ごろ目にする一般的な文章題を使って、日本語の論理について学びましょう。面白い文章題を要しますので、楽しみながら解いてみてください。	渡部洋一郎
7	論理と暗号	日本語の論理を使った暗号問題を解いてみましょう。面白いヒントが隠されているので、それを見抜く練習をしてみましょう。	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅱ」で学んだ各種の表現技法、文章配置などについて授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	地域活動論			授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤　和也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-1 地域のネットワークを共有する力， ◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知る。中越地域における地域貢献活動の内容をフィールドワークを行い把握する。その後、自らができることを考察する。地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

《授業の到達目標》

1．地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
2．地域活動に参加する心構えを持つ。
3．「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。

《評価の方法》

レポート作成　20%
定期試験　　80%

《テキスト》

『テキスト市民活動論』（社会福祉法人大阪ボランティア協会編　社会福祉法人大阪ボランティア協会　2017年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

時に、授業の後半に意見や感想等の設問を出し、文書での回答を求めます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 社会が変われば社会保障も変わる	授業の内容紹介　地域活動とは　地域社会が求めているもの 予習：地域活動と社会貢献についてイメージしておく 復習：自分のボランティア体験をレポートにまとめる	佐藤　和也
2	ボランティアⅠ ボランティアの歴史と理念	ボランティアの歴史・背景・理念 予習：「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージしておく 復習：「ボランティア」を自分なりに解釈できる	佐藤　和也
3	ボランティアⅡ ボランティア活動の対象分野	ボランティア活動の種類と活動の範囲 予習：自分のボランティア体験時の気持ちを思い出す 復習：人はなぜボランティアをするのか解釈できる	佐藤　和也
4	ボランティアⅢ 社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯ	ボランティア活動の窓口 　　社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯの機能と役割 予習：出身地の社会福祉協議会の場所を知る 復習：ＮＰＯの活動分野を知る	佐藤　和也
5	ボランティアⅣ	教育とボランティア　大学生とボランティア 予習：学校で体験したボランティア活動は「ボランティア」といえるのか考える 復習：自分はボランティア活動で充実感を得ることができるのか考える	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤　和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	地域活動 まちづくり	人口減少に対応する地域活動実践事例 予習：住んでいる地域のまちづくりを確認する 復習：まちづくり活動に参加する	佐藤　和也
7	地域活動 地域包括ケアシステム	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるために（地域共生） 予習：自分の地区の高齢者世帯を確認する 復習：「共生社会」をイメージできる	佐藤　和也
8	地域活動 貧困の連鎖	社会のひずみ（孤独と格差・就労支援・学習支援）と地域活動 予習：「こども食堂」の目的を確認する 復習：貧困問題を確認する	佐藤　和也
9	災害ボランティア	災害ボランティアの現状と課題 予習：災害時のボランティア活動内容を調べる 復習：災害時のボランティア活動の心構えを確認する	佐藤　和也
10	国際分野のＮＰＯ活動 ＮＧＯ　Think globally,Act locally	ＮＰＯとＮＧＯの違い　世界の課題とＮＰＯの具体的活動例 予習：世界の課題を考える 復習：フェアトレード商品を購入する	佐藤　和也
11	地域のSDGｓ	地域のSDGｓ協働取り組み事例紹介 予習：SDGｓを理解する 復習：持続可能で包括的な地域づくりを考える	佐藤　和也
12	ボランティアマネジメント	ボランティアコーディネーター　ボランティア休暇　ボランティア保険 予習：「マネジメント」の基本を確認する 復習：ボランティアに関する制度を確認する	佐藤　和也
13	地域活動への参加に向けてⅠ 地域の課題	自分の出身地の課題と地域活動を調べる　必要な活動を考え計画する 予習：地域の課題には何があるのかイメージしておく 復習：	佐藤　和也
14	地域活動への参加に向けてⅡ 実践者からの報告	活動している人の話を聞く 予習：できれば実践現場を訪ねる　　報告者への質問を用意する 復習：次回の企画の参考にする	佐藤　和也
15	地域活動への参加に向けてⅢ 社会貢献したいこと	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことをまとめる 予習： 復習：地域活動に積極的に参加できるような心構えをもつ	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅠ			授業科目番号	1104010
担当者氏名	加固　正子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

働く意味や職業に対する意識・動機付けと興味・関心の醸成及び勤労観や職業観の養成を図る。また、生涯成長を理解し、生涯学習を実践、継続する必要性の理解と意欲を育む。社会人とは何か、専門職とは何か、社会が専門職に求めるものは何かを考える。そのうえで、看護のイメージ、看護専門職のイメージ、自己にとって看護の道を選択したことの意味を考える。また、大学で4年間にわたり看護を学ぶことの意義、卒業後も生涯にわたって学び続ける意義についてグループワークを中心としてまとめ、発表する。

《授業の到達目標》

1．自分自身が学生から社会人へとはばたく意味や目標を述べることができる。
2．職業選択や生涯学習の意義について説明することができる。
3．自分の看護観にそった将来のキャリアについての考えを述べることができる。

《評価の方法》

提出物（ワークシート１～７）70%、最終レポート30%

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠、大槻奈巳編　有斐閣　2014年）
『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修　つちや書店　2018年）

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅠは、2年次のキャリアデザインⅡ、4年次のキャリアデザインⅢの基礎となる科目である。学生から社会人へと成長する過程を1年次からの時間を着実に刻んでいくための学びとする機会とすることを期待する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	キャリアって何？ （キャリア，キャリアデザイン，人生設計，ライフコース）	・大学での学びと自分の将来－仕事の意味と人生設計 ・ライフステージとキャリア（生き方と働き方） ・ライフコースを知ろう－学ぶ，働く，愛する，暮らす ・結婚・出産後の働き方と家族・企業（職場）の協力 【事後学習】自分自身の大学入学の目的・目標、資格取得の目的・目標，働く意味についてワークシート１に記述する。	加固　正子
2	キャリアデザインと生涯学習の実践－看護職における専門性 （キャリア発達，看護，プロフェッショナル，生涯学習）	・看護におけるキャリア発達 ・新人看護師の職場選択と新人教育研修 ・働きながらキャリアアップを目指す ・プロフェッショナルとして学び続けること 【事後学習】様々な看護専門職のうち関心のあるコースについて調べよう（ワークシート２）。	加固　正子
3	コミュニケーション能力向上のための自己理解の基礎 （コミュニケーション能力，リフレイミング，自己理解、成長の機会）	・エゴグラムやリフレイミングを用いた自己理解を試みること ・失敗を学びの機会に変えることとは ・逆境を才能の発掘や成長の機会に変える発想について 【事後学習】過去の失敗例を記述し、そこから何を成長に変えることができたのかを振り返る(ワークシート３）。	加固　正子
4	コミュニケーション能力向上のための他者理解の基礎 （他者理解，ロールモデル，インタビュー方法）	・他者理解の方法を知る　　・インタビュー方法 ・ロールレタリング（役割交換書簡法）の活用 【事後学習】10年後の自分に質問してみたいことを3つ想定し，それらに対する答えをレポートにまとめて提出する（ワークシート４）。	加固　正子
5	自分が働きたい医療・保健現場について （病院，保健医療施設，療育施設，訪問看護ステーション，保健センター，学校の保健室等）	・看護師資格，保健師資格，そして養護教諭の働く場について知る 【事後学習】現時点で自分が選んだ分野の病院または施設について概要を述べ，選択した理由やさらに調べたい内容について考察をする（ワークシート５）。	加固　正子

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅠ	授業科目番号	1104010
担当者氏名	加固　正子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護専門職のイメージとキャリア１ （他者に伝えること，自己表現，傾聴）	・同年代の他者の考えるキャリアデザインについて知る。 【事後学習】クラスメートの中から1人選んで，互いにキャリアについて語り合い，類似点や相違点について記述し，考察する（ワークシート６）。	加固　正子
7	看護専門職のイメージとキャリア２ （他者の考え，キャリアデザイン，看護専門職）	”自分自身が考える看護職”について，ロールモデルから学ぶ ・インタビューを通して，他者がたどったキャリアを知る ・インタビュー方法（２） 【事後学習】ロールモデルと考える看護職者に直接，または電話でインタビューした結果をまとめる（ワークシート７）。	加固　正子
8	まとめ （自分のキャリアデザインについての学びをまとめる）	・自分のキャリアデザインについての振り返り ・現在の努力目標を整理する 返却されたワークシート１～６を読み返し、キャリアデザインⅠでの学びを振り返る。クラスメート，家族，あるいは友人とこの間に共有した内容も含めて【最終レポート】を作成し，提出する。	加固　正子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	発達心理学			授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎　隆穂			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				

《授業の概要》

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理性的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティーやパーソナリティーの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

《授業の到達目標》

1．人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
2．思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

《評価の方法》

学習態度30%　毎回授業内で行うリアクションペーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。
定期試験70%　授業の内容について、主に多肢選択法をもちいた客観テストを期末に行う。

《テキスト》

『保育士を育てる①　保育の心理学』（瀧口綾、福田真奈編著　一藝社　2020年）

《参考図書》

『ゼロからはじめる心理学・入門』（金沢創、市川寛子、作田由衣子著　有斐閣　2015年）

《履修上の留意点》

毎回のリアクションペーパーでは感想でもよいのですが、なるべく自分の質問を考えましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 （予習）教科書の目次に目を通しておく	宮崎　隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達（環境・遺伝・発達・相互作用）	発達にかかわる様々な要因（遺伝・環境）を取り上げ、どのような相互作用が考えられるか概説する。 (予習）教科書第一章p.9-16を読んでおく (復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
3	生涯発達心理学の視点（発達観・生涯発達・遺伝か環境か）	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 (予習）教科書第二章p.17-24を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
4	子どもの身体・運動発達（生理的早産・粗大運動・微細運動）	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 (予習）教科書第三章p.25-33を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
5	子どもの知覚・認知の発達（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 (予習）教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎　隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	子どもの知覚・認知の発達②（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。 (予習）教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
7	自己意識の発達（自己鏡像課題・サリーアン課題）	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 (予習）教科書第五章p.41-48を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する。 (予習）教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
9	言葉・コミュニケーションの発達②（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する。 (予習）教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
10	情緒・欲求の発達（情緒・欲求・感情）	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 (予習）教科書第七章p.57-64を読んでおく (復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
11	愛着関係の形成と発達（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 (予習）教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
12	愛着関係の形成と発達②（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する。 (予習）教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習）授業の内容、映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
13	児童期・青年期の発達（ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得）	児童期･青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達的特長について紹介する。 (予習）教科書第十二章p.97-104を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
14	成人期・老年期の発達（エリクソンの発達課題・統合性の意味）	生産性にいかに貢献するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 (予習）教科書第十三章p.105-112を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する。 (復習)人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎　隆穂

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅠ			授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷　明			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

健康的な生活を営むためには、運動やスポーツを積極的に日常生活に取り入れていくことが必要である。日常の運動がメンタルヘルスや生活の質の向上、疾病の予防などに役立つことを理解し、トレーニングの原理、原則、理論を学ぶ。さらに、スポーツ活動を通じて心身を鍛えるとともに、スポーツ文化に対する理解を深める。具体的には、運動効果と運動不足が健康に与える影響、個人差や加齢による持久力、筋収縮と筋肉トレーニングの理論、日本のスポーツ文化の変遷と現状などである。また自らの身体を知るために体力測定を行う。

《授業の到達目標》

筋の力学的特性、筋収縮のメカニズム、運動とモーメントについて理解させ、学生が将来従事する看護における作業効率の向上、腰痛や肩こり等自身の障害へ対応ができるようにする。実技では、スポーツを楽しみながら、自身の健康問題や集団行動、リーダーシップ行動について、実践的に理解する。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

毎週、pptファイルの資料を配布し、それに従って授業を進めていくため理由のない欠席は避ける。欠席は、そのまま定期試験に影響する。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	筋の力学的特性と筋収縮のメカニズム①	運動の源となる筋が有する力学的特性すなわち収縮性、粘弾性について理解するとともに、これらの特性が引き出す筋の興味深い仕事について学ぶ。ここでの内容は、筋の難病である筋ジストロフィー等の理解にもつながっていく。	塩野谷　明
2	健康のためのスポーツ実践①	スポーツ実践とPWC、RPEから有酸素運動を考える。	塩野谷　明
3	筋の力学的特性と筋収縮のメカニズム②	運動の源となる筋が有する力学的特性すなわち収縮性、粘弾性について理解するとともに、これらの特性が引き出す筋の興味深い仕事について学ぶ。ここでの内容は、筋の難病である筋ジストロフィー等の理解にもつながっていく。	塩野谷　明
4	健康のためのスポーツ実践②	スポーツ実践とPWC、RPEから有酸素運動を考える。	塩野谷　明
5	集団スポーツにおけるリーダーシップおよびフォロアーシップ①	集団スポーツ実践とリーダーシップ行動またはフォロアーシップ行動の評価①	塩野谷　明

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅠ	授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷　明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	運動とモーメント①	運動を構成する骨格が動くメカニズムについて、トルク・モーメントの視点から理解していくとともに、看護師の職業病ともいえる腰痛等の原因について迫る。	塩野谷　明
7	運動とモーメント②	運動を構成する骨格が動くメカニズムについて、トルク・モーメントの視点から理解していくとともに、看護師の職業病ともいえる腰痛等の原因について迫る。	塩野谷　明
8	集団スポーツにおけるリーダーシップおよびフォロアーシップ②	集団スポーツ実践とリーダーシップ行動またはフォロアーシップ行動の評価②	塩野谷　明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	スタディスキルズ			授業科目番号	1107010
担当者氏名	渡邊　克義、田邊　要補、板山　稔			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力				

《授業の概要》

効果的な学習を進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「資料の準備」などの学習に必要な基本スキルを学ぶ。（渡邊克義/5回）ノートの取り方、事前・事後学習課題とレポートの書き方の基本について、大学生としての効果的な学習方法の基本として具体的に学ぶ。　（田邊要補/5回）ディスカッションの方法や司会・書記・発表の役割の基本などについて学ぶ。グループディスカッションにおいては、アサーティブな表現、クリティカルシンキングに関する基礎知識についても学ぶ。　（板山稔/5回）図書の利用の方法、必要な情報のとり方、探し方の実際について図書館でオリエンテーションを受ける。グループ単位でテーマを決め、図書館でテーマに沿って図書を選定し読み込む。読み取った内容を整理し、グループ内でディスカッションを行い、その内容を基に、さらに調べ学習を行い、レポートにまとめる。

《授業の到達目標》

1．大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法、課題（レポートなど）の作成ができる。
2．幅広いテーマに関心をもち、グループメンバーと協同して調べ学習を行うことができる。
3．調べ学習の成果発表を通して、他のグループのテーマに関心をもち、意見交換ができる。

《評価の方法》

学習態度10%：グループ学習への参加態度、意見等の発言を重視する。
グループ学習成果発表資料40%、個人レポート50%：字数等は授業の中で指定する。

《テキスト》

『看護学生のためのよくわかる大学での学び方』（前原澄子、遠藤俊子監修　金芳堂　2018年）

《参考図書》

1．『大学生学びのハンドブック4訂版』（世界思想社編集部編　世界思想社　2018年）　2．『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』（初年次教育テキスト編集委員会編　東京電機大学出版局　2014年）　3．その他授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

受け身ではなく、物事を探求しようとする好奇心を大切に、主体的・積極的なグループワークへの参加を望む。

《備考》

課題の提出にあたっては、締切厳守のこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	大学の授業 （高校教育と大学教育）	大学での授業は高校までの授業と大きく異なる。授業がどのように展開されるのか、その概略を知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）授業中に学んだことを整理してみる。	渡邊　克義
2	ノートの取り方 （ノートテイキング）	大学の授業では、一般に教員の板書量は多くない。学生各自でノートを取っていくことが肝要になる。ノートテイキングの技術を学ぶ。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）授業中に教員が紹介した、ノートテイキングのコツについて思い出してみる。	渡邊　克義
3	情報収集（1） （図書館）	知の宝庫である図書館の利用について知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）図書館所蔵資料を利用する際に注意すべきことは何かを考えてみる。	渡邊　克義
4	情報収集（2） （インターネット）	インターネットの利用について考える。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ネット利用の功罪についてまとめる。	渡邊　克義
5	レポート作成 （実際に書いてみる）	レポート作成のノウハウを学ぶ。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）与えられたテーマについて、実際にレポートを作成する。	渡邊　克義

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	スタディスキルズ	授業科目番号	1107010
担当者氏名	渡邊　克義、田邊　要補、板山　稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	アサーティブな表現に関する基礎知識について学ぶ。 （アサーション、自己表現）	①アサーションの基礎知識について学ぶ。 ②看護師に何故アサーションが必要なのかについて学ぶ。 （予習）アサーションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
7	アサーティブな表現に関する基礎知識について学ぶ。 （アサーション、自己表現）	①アサーディブな看護師になるための基本について学ぶ。 （予習）第6回で学んだことを十分に理解してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
8	クリティカルシンキングに関する基礎知識について学ぶ。 （批判的思考、疑問）	①クリティカルシンキングとは何かについて学ぶ。 ②クリティカルシンキングの３つの基本姿勢について学ぶ。 ③クリティカルシンキング思考過程について学ぶ。 （予習）クリティカルシンキングについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
9	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識について学ぶ。 （グループ・ディスカッション）	①グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 （予習）ディスカッションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
10	自ら考えたテーマについて、各グループで話し合う。 （討議、発表）	①各自で考えたテーマに沿って、グループで話し合う。 （予習）第6回目～第9回目の講義資料に目を通し、ディスカッションについて理解を深めておくこと。 （復習）グループでのディスカッションを振り返り、良かった点・改善点についてまとめること。	田邊　要補
11	グループ調べ学習① 「資料の調べ方、読み方、使い方」 （文献検索、文献講読）	資料の調べ方、読み方、使い方を理解し、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料に関して、グループ内で各々の疑問や関心を伝え合い、図書館で文献を検索する。 （予習）図書館の利用の仕方に関する資料等を読んでおく。 （復習）文献を読み、グループの学習テーマについて検討する。	板山　稔
12	グループ調べ学習② 「テーマを決める」 （拡散的思考、ブレインストーミング）	読んだ文献の内容をもとに、自己の関心ついてグループメンバー間で紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議（拡散的思考）し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 （予習）借りた文献を読み、各自が要点等を整理しておく。 （復習）文献を検索し、ﾃｰﾏに関連した内容についてｸﾞﾙｰﾌﾟで調べる。	板山　稔
13	グループ調べ学習③ 「議論を深める」 （ディスカッション）	各自で調べた内容を報告し合い、ディスカッションを通してテーマを明確にし、さらに掘り下げて調べながら議論を深める。 （予習）テーマについて調べた内容をグループメンバーに報告できるように各自でまとめておく。 （復習）議論の内容を整理し、文献検索・講読を継続する。	板山　稔
14	グループ調べ学習④ 「議論をまとめる」 （レジュメ）	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約（レジュメ）を作成する。 （予習）講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく。 （復習）協力して発表資料（レジュメ）を完成させ、期限までに提出する。	板山　稔
15	グループ調べ学習⑤ 「成果を伝え合う」 （成果発表）	グループでの調べ学習の成果を発表し合う。他のグループからの幅広いテーマに関心をもち、質疑応答をもとに意見交換を行う。 （予習）発表に向けて各自が練習しておく。 （復習）これまで学習した内容を確認する。	板山　稔

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学			授業科目番号	1107020
担当者氏名	野村　由紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「生物学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。具体的には、生物と遺伝子、遺伝情報とDNA、バイオテクノロジー、細胞とエネルギー、生殖と遺伝と発生、体内環境の維持、免疫、呼吸と光合成、動物の刺激の受容と神経系を介して反応する仕組み、生態系とその保全などである。

《授業の到達目標》

1．生命体の構造について概説できる。　　2．生体維持の作用について概説できる。
3．生命発生のメカニズムと遺伝について概説できる。　　4．個体の調節のメカニズムについて概説できる。
5．生命体と環境の現状について概説できる。

《評価の方法》

①定期試験90%
②学習態度10%

《テキスト》

『系統看護学講座　生物学（第10版）』（高畑雅一他著　医学書院　2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	生物学とは 生命体のつくりとはたらき	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
2	生体維持のエネルギー	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
3	細胞の増殖とからだのなりたち 生殖と発生	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
4	遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
5	個体の調節	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学	授業科目番号	1107020
担当者氏名	野村　由紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	刺激の需要と行動	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
7	生命の進化と多様性	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
8	生物と環境のかかわり 地球環境とヒトとの共存	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための化学			授業科目番号	1107030
担当者氏名	野村　由紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「化学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。科学と生活のかかわりについて、関心を高め、日常生活に科学が使用されていることから学ぶ。具体的には、物質の三態と原子の構造、電子配置と周期律、化学反応と酸・塩基、無機物質、有機化合物などの基礎知識の獲得を目指す。

《授業の到達目標》

1．身の回りの化学、元素について概説できる。　2．物質の三態について概説できる。
3．化学反応のメカニズムを概説できる。　4．原子構造、化学結合について概説できる。
5．無機物質、有機化合物について概説できる。

《評価の方法》

①定期試験90%
②学習態度10%

《テキスト》

『系統看護学講座　化学（第７版）』（奈良雅之著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	身のまわりの化学 科学の単位と元素の周期表	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
2	原子の構造と化学結合	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
3	物質の三態 気体の性質	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
4	液体・溶液の性質 化学反応	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
5	反応速度 化学平衡	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための化学	授業科目番号	1107030
担当者氏名	野村　由紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	無機化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
7	有機化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
8	高分子化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村由紀子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ			授業科目番号	2208010
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護の構成要素である人間の構造と機能の基礎を学ぶために、人体の構造と機能について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

《評価の方法》

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座　人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	形からみた人体	体表から蝕知する人体の骨格、腹部、骨盤などについて学ぶ。学生は人体の部位と器官について予習する。復習は、これら器官と機能の関連について図示し、機能を説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	素材からみた人体	人体を構成する様々な細胞について学習する。学生は細胞の種類とその機能について行う。復習は、これら様々な細胞がどのようにしてエネルギーを産生し、利用していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	機能からみた人体	生命維持システムと運動調節システムに関与する細胞とホメオスタシスについて学習する。学生は体液の種類とその構成成分について予習する。復習は生命維持と運動機能システムがどのように機能しているか説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	栄養の消化と吸収：口、咽頭、食道の構造	栄養の消化と吸収の第一段階である口から食道について学習する。学生はこれらの解剖学的位置関係について予習する。復習は咀嚼と嚥下が各部位でどのように行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
5	栄養の消化と吸収：腹部消化管	栄養の消化と吸収に大切な役割を果たす胃と小腸の構造と機能について学習する。学生はこれらの器官の基本的な構造を予習しておく。復習はこれら消化管の吸収機能が糖質、蛋白質、脂質でどのように機能していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	授業科目番号	2208010
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	栄養の消化と吸収：大腸	栄養の消化と吸収とはまた少し異なる機能をもつ大腸の構造と機能について学習する。学生は大腸の基本的構造について予習する。復習は食物が消化吸収された後、どのようにして糞便となって排泄されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	栄養の消化と吸収：膵臓の構造と機能	栄養の消化に重要な働きをする膵臓について構造と消化酵素などについて学習する。学生は膵臓と膵管の位置関係について予習する。復習は膵管と十二指腸の位置関係と分泌される消化酵素について説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	栄養の消化と吸収：肝臓と腹膜	吸収された栄養物などの分解を行う肝臓についてその形態と機能について学習する。また腹膜の構造とその役割についても学習する。学生は肝臓、膵臓、胆のう、肝管、膵管の位置関係について予習する。復習は肝臓の糖質、蛋白質、脂質などの分解メカニズムとその後の栄養分の処理について説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	呼吸器：構造	上気道、下気道、肺などの構造と機能について学習する。学生は口腔から肺までの器官の解剖名と順序を予習する。復習はこれらの構造物と機能の関係を説明できる程度まで復習する。	浅見　直
10	呼吸器：呼気、吸気とガス交換のメカニズム	呼吸器の働きとガス交換の生理について学習する。学生は肺活量、１回換気量などについて基礎的知識を予習する。復習は肺呼吸における酸素と二酸化炭素の吸収と排泄および酸塩基平衡について	浅見　直
11	呼吸器：呼吸運動の調節	肺を動かす横隔膜や胸筋などについて学習する。学生は横隔膜と肺の解剖学的関係を予習する。復習はこれらの機能の病態生理について説明できことを目標として行う。	浅見　直
12	血液：組成	血液を構成する血漿、血球などの種類について学習する。学生は血漿と血清の違い、血球の名称について予習する。復習はこれらの血球を図示できることを目標として行う。	浅見　直
13	血液：血液細胞の機能	血漿タンパク質と血球の機能について学習する。学生は各血球の働き、特に外部からの異種抗原処理を担う細胞を挙げ、そのメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	血液：血液凝固、血液型	血液はどのようにして凝固するのかを学ぶ。また血液型の種類と不適合輸血などについて学習する。学生は血液凝固成分の名称にどんなものがあるか、予習する。復習は血液凝固カスケードについて図示でき、また血液型の種類と不適合輸血について説明できることを目標とする。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。その上で担当教員の評価を受ける。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅱ			授業科目番号	2208020
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

《評価の方法》

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座　人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	血液の循環とその調節：心臓、大血管の構成	心臓と大血管の構成と解剖学について学習する。学生は心臓の位置と、心臓から出る大血管にの解剖学てき部位と名称について予習する。復習は心臓と大血管の構成を図示し、説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	血液の循環とその調節：心臓の機能	心臓の拍出機能と心電図について学習する。学生は心臓の内部構造と心電図の波形について予習する。復習は心臓の収縮、拡張と心電図の波形の関連について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	血液の循環とその調節：末梢循環系の構成	末梢動脈、静脈、毛細血管の構造について学習する。学生は末梢循環系の血管の解剖学的位置関係と主な欠陥の名称について予習する。復習は主な末梢動脈、静脈をその名称を付して図示できることを目標として行う。	浅見　直
4	血液の循環とその調節：血液の循環の調節	血圧、脈波および腎臓と循環系の機能の関連について学習する。学生は血圧が生じるメカニズムについて予習する。復習は血圧と腎臓の関連について具体的な生理物質を挙げ、説明できることを目標として行う。	浅見　直
5	体液の調節と尿の生成：腎臓の構造と機能	体液調節に関わる腎臓の解剖と機能について学習する。学生は腎臓の位置関係と割面における各部の名称について予習する。復習は腎臓の糸球体と尿細管の機能を列挙し、それらの相互関係について説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	授業科目番号	2208020
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	体液の調節と尿の生成：尿の生成メカニズム	腎臓における尿の生成メカニズムとレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系がどのようにして血圧を調節するか学習する。学生は傍糸球体装置について予習する。復習はこれらの相互作用により、血圧調節がどのようにして行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	体液の調節と尿の生成：排尿路	腎臓で生成された尿がどのようにして尿道口から排尿されるか、学習する。学生は腎臓、尿管、膀胱、尿道の位置関係について予習する。復習はこれらの経路をどのようにして尿が通過し、排尿されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	体液の調節と尿の生成：水の出納、脱水、酸塩基平衡	体液の調節に重要な水分の出納、脱水の原因、酸塩基平衡などについて学習する。学生は体内水分分布図をみて、その割合の違いを予習する。復習は水分出納の計算ができ、酸塩基平衡のメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	内臓機能の調節：自律神経の機能	交感神経と副交感神経の分布と構造およびその機能などについて学習する。学生はこれら自律神経に支配される臓器について予習する。復習は自律神経がどのようにして様々な臓器の機能を調節しているか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
10	内臓機能の調節：内分泌系による調節	内分泌物質の伝わり方と各ホルモンの作用について学習する。学生は脳下垂体から分泌されるすべてのホルモンの名称とその標的臓器について学習する。復習は各ホルモンが標的臓器に対する作用と中枢からのネガティブフィードバックのメカニズムについて説明できることを目標として行う。	浅見　直
11	内臓機能の調節：全身の内分泌腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造について予習する。復習は視床下部がどのようにして下位の標的臓器に作用するか説明できることを目標として行う。	浅見　直
12	内臓機能の調節：視床下部下垂体系と甲状腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造に加えて甲状腺への作用について予習する。復習はTSHとサイロキシンのフィードバック作用についてホルモン名を挙げて説明できることを目標として行う。	浅見　直
13	内臓機能の調節：膵臓、副腎、性腺の内分泌	膵臓、副腎、性腺の内分泌機能について学習する。学生はこれらの臓器から分泌されるホルモンの名称と作用について予習する。復習は血糖調節、電解質調節、性発達とこれらのホルモンの作用について説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	内臓機能の調節：ホルモン分泌の調節	ホルモンによる糖代謝、カルシウム代謝の調節について学び、さらにストレス、乳房の発達、血圧に及ぼす作用について学習する。学生は血糖値、カルシウム動態、二次性徴、血圧調節について予習する。復習はこれらの相互関係について模式図を使い説明できることを目標として行う。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。その上で担当教員の評価を受ける。	浅見　直

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護学概論			授業科目番号	2311010
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

学問としての看護学を学習する導入として、看護の概念、目的、および機能、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来的展望について学ぶ。これらを通して、看護実践の基盤となる人間観、生活観、健康観への理解を深める。また、看護専門職としての自己の課題を考察する。

《授業の到達目標》

1．看護の概念、目的・機能について記述できる。　2．　看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）について述べることができる。　3．看護の発展の歴史が理解できる。　4．健康の捉え方と国民の健康状態を関係づけることができる。　5．看護の対象である人間について考え討議できる。　6．医療・看護における倫理の問題と取り組みについて知り考えを深めることができる。 7．看護の提供の仕組みと看護をめぐる制度・政策について述べることができる。

《評価の方法》

定期試験80%　課題レポート20%

《テキスト》

『系統看護学講座　　看護学概論』（茂野香おる 他著　医学書院　2020年）
『看護覚え書』（Ｆ.ナイチンゲール 著、湯槙ます 他訳　現代社　2011年）
『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）

《参考図書》

患者・家族、看護師による手記

《履修上の留意点》

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	基礎看護学の科目体系 看護理論家の功績 看護覚え書 （看護の構造、ナイチンゲールの思考、看護理論家）	科目ガイダンス（学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等） 文献購読の課題の振り分け （復習）看護学概論テキストと照合し、看護理論家の功績を復習する。	倉島　幸子
2	看護の原点・本質 看護の役割と機能 （看護の定義、看護の機能）	看護とは何か：①看護の原点　②看護の定義　③保健師助産師看護師法上の定義　④学生のイメージ （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
3	看護の変遷、ナイチンゲールによる近代看護の確立、米国における看護と日本の看護 （看護の歴史、ナイチンゲールの功績、日本の看護）	看護の歴史的変遷：①歴史から学ぶ意味　②ナイチンゲール以前と以後の看護　③米国での看護学の発展と日本の看護 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
4	看護の概念枠組み 人間・環境・健康・看護の概念間の関連 （看護の目的、人間と環境、ホメオスタシス、健康とは）	看護を構成する主要な概念：①人間　②環境　③健康　④看護　　概念間の関連性について （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
5	統一体、生活者としての人間 人間の共通性と個別性 （統一体、生活者、個別性）	人間の理解：統合体としての人間、生活者、人間の共通性と個別性 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	倉島　幸子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	国民の健康の全体像 ライフサイクルと健康に関する統計 （国民の健康、健康と生活、QOL）	国民の健康の全体像、健康に関する統計 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
7	医療における倫理 看護倫理 （倫理原則、職業倫理、インフォームドコンセント、ケアリング）	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
8	看護サービスの担い手 看護制度と看護政策 （専門職、看護サービス、看護制度、チーム医療）	サービスとしての看護、制度と政策 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護援助論			授業科目番号	2311020
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニードを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。
（倉島幸子/8回）　1．看護理論と看護過程の関係を理解する。　2．看護過程の構成要素を理解する。　3．情報収集の枠組みとその実際　4．全体像の描き方とアセスメント　5．看護上の問題と援助を実践するための看護計画
（大橋洋子、大﨑美奈子/7回）事例を用いた看護過程の演習　・事例提示・グループワークのオリエンテーション　・看護過程の演習をグループワークで行う。　・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う。

《授業の到達目標》

1.看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。 2.看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。 3.看護過程の構成要素を挙げることができる。 4.情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を記述できる。 5.情報の整理と分析によってアセスメントすることが判断できる。 6.看護上の問題と看護診断の意義・目的を理解できる。 7.事例に対する看護計画を立案できる。 8.グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

《評価の方法》

定期試験50%、看護過程演習50%（事前学習準備、グループワークの取り組み、看護過程記録物）

《テキスト》

『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）
『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

『実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド』（任和子編著　照林社　2015年）
『看護診断ハンドブック（第11版）』（リンダJ.カルペニート著／黒江ゆり子監訳　医学書院　2018年）

《履修上の留意点》

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

《備考》

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 （看護実践、看護過程、看護理論）	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング （問題解決思考、批判的思考）	看護過程の基盤となる考え方を理解する。　1）問題解決過程とは何か。身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。　2）クリティカルシンキングとは何か。 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。　（予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
3	看護過程の構成要素 （アセスメント、看護上の問題、看護計画、看護の実施、看護の評価）	看護過程の構成要素 １．アセスメント　２．看護診断（看護上の問題）　３．看護計画　４．実施　５．評価 （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
4	全体像の描き方 アセスメント （全体像、情報収集と分析、主観的データ・客観的データ）	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類（主観的データ・客観的データ） データ分析の方法 （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
5	看護問題の明確化 （看護診断） 共同問題 （看護上の問題、看護診断の定義、診断指標、関連因子、看護の方向性）	看護上の問題（看護診断）とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護援助論	授業科目番号	2311020
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護計画 （期待される成果、看護計画の立案、実施、評価）	計画とは、目標を挙げて解決策（具体的な援助方法）を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標（期待される結果）を示す。達成可能であること。 援助内容の決定（OP：観察計画　CP:看護ケア　EP:指導計画） （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
7	実施 （看護援助）	計画を実際の行動に移すこと （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
8	評価 看護過程の各段階へのフィードバック （援助の評価）	評価とは実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみること。　必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的。　質の高い看護の提供ができ個別性のあるケアの提供が可能となる。 （予習）事前に提示された課題に取り組む　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
9	看護過程演習①	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
10	看護過程演習②	事例を用いた看護過程の実際について学習（情報の整理） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
11	看護過程演習③	事例を用いた看護過程の実際について学習（アセスメント） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
12	看護過程演習④	事例を用いた看護過程の実際について学習（アセスメント・全体像） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
13	看護過程演習⑤	事例を用いた看護過程の実際について学習〈看護問題の明確化（看護診断）〉 グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
14	看護過程演習⑥	事例を用いた看護過程の実際について学習（看護計画）（実施）（評価） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
15	ｸﾞﾙｰﾌﾟ発表	各グループの学習した内容の発表、まとめ （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）事例を用いた看護過程について記録にまとめる。	大橋　洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ			授業科目番号	2311030
担当者氏名	大橋　洋子、倉島　幸子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護技術の共通する考え方、コミュニケーション、安全安楽、自立への援助についてまず学習する。またボディーメカニクス、教育的関わり、運動、活動、休息、睡眠の援助とヘルスアセスメントについて学ぶ。演習を通して、看護技術の独自性について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

《授業の到達目標》

1．看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる　2．看護場面に共通する安全・安楽を守るための基本的技術を習得できる　3．看護におけるコミュニケーションについて理解し実践できる　4．日常生活の援助の基本技術を習得できる　5．ヘルスアセスメントの目的、看護の役割を説明できる　6．系統的なフィジカルアセスメントの基本的技術を理解し、正確かつ安全・安楽に実施できる

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

1.『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』メディカ出版　　2.『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学②　ヘルスアセスメント』メディカ出版　　3.『写真でわかる基礎看護技術　アドバンス』インターメディカ　　4.『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンス』インターメディカ

《参考図書》

《履修上の留意点》

授業内容に関連した教科書及び参考書を十分に読んで動画の視聴等を活用しながら演習ノートを作成して臨む。課題として演習の振り返りレポート提出。技術は授業時間外でのセルフトレーニングで習得。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護技術の概要 ガイダンス （看護技術とは）	科目ガイダンス 看護技術とは ボディメカニクス、手指消毒（講義） 実習室ガイダンス ＜予習・復習＞看護技術とは	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
2	環境を整える技術 （環境整備・環境測定）	環境とは、環境測定（講義・演習） ＜予習・復習＞環境整備	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
3	環境を整える技術 （ベッドメーキング）	リネン類の取り扱い ベッドメーキング、シーツ交換（演習） ＜予習＞ベッドメーキング ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
4	環境を整える技術 （ベッドメーキング）	ベッドメーキング、シーツ交換（演習） ＜予習＞ベッドメーキング ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
5	コミュニケーション技術 （コミュニケーション）	コミュニケーションの概念、教育的支援、コミュニケーションの実際（ 講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返り	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ	授業科目番号	2311030
担当者氏名	大橋　洋子、倉島　幸子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ヘルスアセスメント （バイタルサイン）	ヘルスアセスメントに必要な技術 ヘルスアセスメントとは何か,バイタルサインとは（講義） バイタルサインとは（演習） ＜予習＞ヘルスアセスメント ＜復習＞バイタルサイン	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
7	フィジカルアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定の方法と実際（演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
8	フィジカルアセスメント （呼吸器系）	呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
9	フィジカルアセスメント （心臓・血管系）	心臓・血管系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
10	フィジカルアセスメント （腹部　消化器系）	腹部のアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
11	フィジカルアセスメント （筋・骨格系および神経系）	筋・骨格系および神経系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
12	フィジカルアセスメント （頭頸部・感覚器系）	頭頸部・感覚器・リンパ系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
13	フィジカルアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定（演習） ＜予習・復習＞技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
14	まとめ	技術練習 ＜予習＞自己の看護技術の課題 ＜復習＞技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
15	技術習得確認	看護技術確認 ＜予習・復習＞課題の技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	チーム医療論			授業科目番号	2311090
担当者氏名	加固　正子、小山　歌子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎3-2 多職種と連携・協働する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。
（加固正子/7回）チーム医療の概念を理解し、医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と多職種との関係を学ぶ。次に、対象や家族中心の多職種連携の考え方を学ぶ。臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び多職種との協働の中で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。
（小山歌子/1回）地域におけるチーム医療においての現状と課題について学ぶ。

《授業の到達目標》

保健医療分野での他職種連携の重要性を学び看護師の役割を説明することができる。保健医療現場におけるコミュニケーション技法について説明できると共に対象者を理解し、率先して問題解決を図ることができる。また、多職種連携場面における看護師の役割について主体的に考えることができる。

《評価の方法》

①授業中の学習態度10%：授業中の発言、態度を基に評価する。　②事後課題60%（書式等は授業中に指示する）
③課題レポート30%(書式、テーマ等は授業中に説明する)

《テキスト》

随時資料を使用する

《参考図書》

『増補版チーム医療と看護 専門性と主体性への問い』（川島みどり著　看護の科学社　2016年）
『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編　看護の科学社　2018年）

《履修上の留意点》

本講義では保健医療専門職としての役割・機能・責務を理解し、医療従事者間の連携や協働によりチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんと意見交換しながら授業を進めるので、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	患者を中心としたチーム医療（患者中心の医療、チーム医療、医療専門職、役割と機能）	・患者中心の医療について ・医療の発展とチーム医療 ・医療専門職の役割と機能について 【事後学習１】学修した専門用語の中から１語を選び，200字以内で説明。	加固　正子
2	チーム医療における倫理的配慮（倫理、チーム構成員、チームとコミュニケーション、インフォームドコンセント）	チーム医療における倫理的配慮について学ぶ。 ・チーム医療の倫理性 ・チーム構成員のあり方とコミュニケーション方法 ・チームとインフォームドコンセント 【事後学習２】学修した専門用語の中から１語を選び，200字以内で説明。	加固　正子
3	チーム医療における専門職（看護師と医師、看護師と管理栄養士、看護師と薬剤師、場面、専門用語）	・チーム医療における看護職の役割を学ぶ。 ・医療関係の専門職種について学ぶ。 【事後学習３】看護師以外の医療専門職を２つ選び、役割と責務についてレポートする。	加固　正子
4	チーム医療における多職種コミュニケーション（看護師と管理栄養士、看護師と理学療法士、場面、専門用語）	異なる職種間でのコミュニケーションの重要性について学ぶ。 ・チーム医療における医療者、患者家族の役割とコミュニケーション ・看護職とその他の医療専門職者とのコミュニケーション 【事後学習４】職種間コミュニケーションの事例について，理解できたこと，さらに詳しく理解したい事柄についてレポートする。	加固　正子
5	臨床におけるチーム医療例１（実践例、栄養サポートチーム、感染対策チーム）	・チーム医療として機能している実践例について学ぶ。 　栄養サポートチーム、及び感染対策チームの実践例 ・多職種と看護職のかかわり方の事例について具体的に学ぶ。 【事後学習４】本日学んだチーム医療例で，看護師がリーダーシップを発揮すべき内容を整理する。	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	チーム医療論	授業科目番号	2311090
担当者氏名	加固　正子、小山　歌子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	臨床におけるチーム医療例２（実践例、栄養サポートチーム、感染対策チーム）	・チーム医療として機能している実践例について学ぶ。 栄養サポートチーム、及び感染対策チームの実践例 ・多職種と看護職のかかわり方の事例について具体的に学ぶ。 【事後学習５】本日学んだチーム医療例で，看護師がリーダーシップを発揮すべき内容を整理する。	加固　正子
7	臨床におけるチーム医療例３（実践例、栄養サポートチーム、感染対策チーム）	・チーム医療として機能している実践例について学ぶ。 栄養サポートチーム、及び感染対策チームの実践例 ・他職種と看護職のかかわり方の事例について具体的に学ぶ。 【事後学習６】本日学んだチーム医療例で，看護師がリーダーシップを発揮すべき内容を整理する。	加固　正子
8	地域におけるチーム医療の現状と課題 （地域、チーム医療、現状と課題、在宅医療、多職種連携、協働、人材確保）	地域におけるチーム医療の現状と課題を理解する。在宅医療の推進、多職種連携、協働、人材の確保について学ぶ。 （事前学習）在宅療養者を支援する職種を調べる。 （事後学習）関連資料や講義資料を基に理解を深める。	小山　歌子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2311070
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

病院実習において、看護業務を見学し、患者ケアや多職種との連携から看護師の役割や責務について知り、これからの看護学学習への動機付けとなる入門実習となる。実習先の実習オリエンテーションでは、実習病院の運営方針と組織・機能、病棟の構造や設備、特徴、看護体制、安全対策、感染予防対策等から患者の療養環境及び生活の場を理解する。また、診療活動や看護活動、様ざまな保健医療従事者の活動の実際を知り、看護の役割について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護活動および医療従事者の活動の実際を知り、看護師の役割や責務について述べることができる。
2．患者と関わり療養環境および入院生活による生活行動の変化を述べることができる。
3．実習病院の運営方針と組織・機能を述べることができる。
4．将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲につなげることができる。

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習態度実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

《テキスト》

『はじめての看護実習 基礎からステップアップ　看護コミュニケーション』（高橋清美編著　へるす出版　2014年）

《参考図書》

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。
常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。
実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：1週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	倉島　幸子 他
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2311070
担当者氏名	倉島　幸子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論			授業科目番号	2313010
担当者氏名	飯吉　令枝、古澤　弘美、平澤　則子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

臨床から地域まで、パーソンセンタードで対象を支援することの意義を理解し、地域包括ケアは全人的なケアを保証することであることを理解する。さらに、家族や近隣住民と触れ合い、地域で暮らす人々がどのように健康を考えて生活しているのかを知るためにフィールドワークを行い、考察する。地域包括ケアの概念を確実にし、様々な役割や機関でケアに関わる人を講師として協働の現状を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて地域包括ケアの概念が説明できる。　2．病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて説明できる。　3．継続看護と看看連携について説明できる。　4．地域包括ケアにかかわる様々な機関で働く看護職の役割がわかり、地域包括ケアの課題についての考えを述べることができる。

《評価の方法》

定期試験60%　課題レポート40%　定期試験と課題レポートにより目標達成度を最終的に評価する。試験は講義に基づく内容から出題する。課題レポートについては講義の中で提示する。

《テキスト》

適宜、資料を配布する。

《参考図書》

適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

自分の家族など身近な人をイメージし、病気になってもその人らしい生活を送るために必要なことは何かを考えながら主体的に参加されることを期待します。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	健康の概念・地域看護・地域包括ケアの概念 （地域包括ケア・健康・地域看護）	地域包括ケアの概念について学ぶ。 地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念と地域看護の特性を学ぶ。 (事前学習）「健康とは？」について調べる。 (復習）配布資料を読む。	飯吉　令枝
2	地域包括ケアとは （在宅ケア・医療政策・動向）	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 (予習）日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。 (復習）医療政策の動向と地域包括ケアを結びつけて考える。	飯吉　令枝
3	地域包括ケアとは （移行期・継続看護・看看連携）	病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 (予習）「地域包括ケアとは」を自分の言葉で説明できるよう整理する。 (復習）配布資料を読む。	平澤　則子
4	生活者主体の看護 (事例検討）	事例検討（病弱な子ども、慢性疾患と共に生きる成人、認知症の高齢者）を通して、生活者主体の看護について考える。	平澤　則子
5	地域包括ケアの実際 （地域包括ケア病棟・退院支援連携室）	地域包括ケア病棟、退院連携室での看護活動の実際について話を聞き、病院での看護職の地域包括ケアにおける役割について学ぶ。 (予習）身近な病院のホームページで、地域包括ケア病棟・退院支援連携室について調べる。 (復習）病院での看護職の地域包括ケアにおける役割について整理する。	古澤　弘美

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論	授業科目番号	2313010
担当者氏名	飯吉　令枝、古澤　弘美、平澤　則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	地域包括ケアの実際 （高齢者総合ケアセンター（こぶし園））	高齢者総合ケアセンター(こぶし園）、こぶし訪問看護ステーションでの地域包括ケアの取り組みの実際について話を聞き、地域包括ケアの現状を理解する。 （予習）高齢者総合ケアセンター(こぶし園）の活動について調べる。 (復習）高齢者総合ケアセンターの意義について整理する。	飯吉　令枝
7	地域包括ケアの実際 （地域包括支援センター）	地域包括支援センターでの看護活動の実際と地域包括ケアにおける看護職の役割について学ぶ。 （事前学習）両親、祖父母等から地域包括支援センターについて知っているか（内容、どこにあるか等）聞いてくる。 (課題）臨床から地域までつながるケアについて考えるとともに、地域包括ケアのこれからの課題について考えて、レポートを作成する。	飯吉　令枝
8	これからの地域包括ケア （臨床・地域、課題）	ディスカッションを通して臨床から地域までつながるケアについて考えるとともに、地域包括ケアのこれからの課題について考える。 (予習）事前課題レポートを作成し、持参する。	古澤　弘美 飯吉　令枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報活用法			授業科目番号	1101020
担当者氏名	張　坤			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎3-1 地域のネットワークを共有する力， ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

情報社会の倫理と法を学習し、インターネットを活用した情報メディアの特性と検索法、効率的な使い方について理解する。さらに、情報の価値とモラルや情報の収集、加工、廃棄などの情報のセキュリティ管理とリテラシーについて理解する。また、ソーシャルネットワークサービスの特徴や機能と活用の現状やリテラシーを学ぶとともに、ブログの作成のポイントと管理のポイント、ホームページの作成のポイントと管理の実際について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．情報社会の倫理や情報セキュリティ基礎を学ぶ;正しく安全に情報を運用する力を育成する。
2．情報を使いやすく整理、管理し、必要に応じて適切に活用できる力を育成する。
3．ソーシャルネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。
4．学生の情報収集・データ加工・適切な分析等の検証力をアップする。

《評価の方法》

学習態度10%；小テスト20%（1回）；グループ実習30%（2，3回程度）;パワーポイントによるグループ発表40%

《テキスト》

『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』（noa出版著　noa出版　2017年）

《参考図書》

特に指定しない

《履修上の留意点》

演習科目であるため、講義への出席率を確保しよう。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション （情報活用力と情報検索）	授業の進め方、学習の目標と概要の紹介。情報を検索・選択のポイントを把握する。インターネットを用いた情報検索の実習を行う。 （予習）教科書第2章	張　坤
2	情報運用 （情報セキュリティの基礎）	情報セキュリティとは。情報セキュリティの重要性を理解させる。情報セキュリティの対策を学ぶ。 （復習）教科書第1、2章 （予習）教科書第3章	張　坤
3	数値分析Ⅰ （数値分析の基本とデータ加工）	データ数値化についての説明。質的データと量的データの集計・加工など、数値分析の基礎演習を行う。 （復習）教科書第3章 （予習）教科書第4章	張　坤
4	数値分析Ⅱ （データ分析の演習）	目的に沿った、数値データの加工やグラフ化など、数値分析の基本的な手順の実践演習を行う。 （復習）教科書第4章 （予習）教科書第5章	張　坤
5	データベース （データベースの作成）	データベースについての説明。データの整理・蓄積、抽出を効率よく行うために、データベース作成の演習を行う。 （復習）教科書第1－5章	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	張　坤		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	復習と小テスト	第3、4、5章の総合復習と小テストを行う。 （予習）教科書第6章	張　坤
7	ファイル・データ管理 （ファイルの性質と保全）	パソコンで情報を集めや管理などのためには、作成されたファイルの整理・管理方法についての演習を行う。 （復習）教科書第6章 （予習）教科書第7章	張　坤
8	インターネットコミュニケーションⅠ （情報モラルと個人責任）	情報社会の問題点の認識と社会に及ぼす影響を理解させる。インターネットコミュニケーションの基本ルールと原則を学ぶ。 （復習）教科書第7章 （予習）教科書第8章	張　坤
9	インターネットコミュニケーションⅡ （ソーシャルメディアと情報発信）	インストールの仕組みと検索サービスの仕組みを学ぶ。インターネットの利点と活用の際の注意点を理解させる。ソーシャルメディアの仕組みと情報発信のルールを学ぶ。 （復習）教科書第8章 （予習）教科書第9章	張　坤
10	文書表現 （文章作成と体裁）	レポートやビジネス文書の様々な文章作成のポイントを学ぶ。ブログやホームページの作成のポイントと管理のポイントを学ぶ。わかりやすい文書の作成を練習する。 （復習）教科書第9章 （予習）教科書第10章	張　坤
11	ビジュアル表現 （ビジュアル表現の基本）	ビジュアル表現の基本ルールと種類を学ぶ。課題によるビジュアル表現の実習を行う。 （復習）教科書第10章 （予習）教科書第11章	張　坤
12	プレゼンテーションⅠ （基本と表現手段）	プレゼンテーションの目的を理解させる。集めた情報を整理して「分かりやすく」伝えることの基本を学ぶ。 （復習）教科書第11章 （予習）教科書第12,13章	張　坤
13	プレゼンテーションⅡ、Ⅲ （資料作成の手順と発表）	プレゼンテーションの作成手順を学ぶ。プレゼンテーションの効果を高めるポイントを学ぶ。発表のポイントを学ぶ。グループ分け、演習課題の選択と議論を行う。 （復習）教科書第12,13章	張　坤
14	総合演習 （グループ演習）	レセプト情報に関連する情報サイトを用いて、演習課題を選択し、グループ議論の上で、アウトラインを作成する。パワーポイントを用いて、分かりやすく説明資料を作成する。	張　坤
15	グループ発表・まとめ	総合演習の流れと結果を分かりやすくまとめた内容を発表する。最後、これまでの学習状況などをまとめる。	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	問題解決法			授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部　洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

問題解決法は大学生活における学習場面でも、看護の実践の場面でも、社会生活にとっても必要な科学的技法である。その、科学的技法としての問題解決能力を養う。問題とは何かを考えること、問題を発見すること、解決するための手順、解決するために必要な情報を的確に収集すること、情報を整理すること、情報を分析することなどを学ぶとともに、問題解決に必要な様々なクリエイティブな思考法と発想法を学び、活用方法を修得する。

《授業の到達目標》

論理的に考え、課題を解決するとはどのような行為をさすのか。また、その解法に一定の規則はあるのか。本科目はこうした問いに答えることを授業の目標としている。そのため、論理的な思考に関する複数の初歩的な理論を学び、それを授業の中で実地に応用することで、その効果を確認することを目指す。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	論理的思考とクリティカルシンキング （導入）	論理的な思考に関する文献を読み、導入としてその思考法の一端に触れます。また、クリティカルシンキングのやり方を実地に体験してみましょう。	渡部洋一郎
2	批判的思考の実際 （データの読み解き方）	図表やグラフに表された数値の読み解きを行い、妥当なデータの解釈とは、どのような行為をさすのかを理解します。	渡部洋一郎
3	OECDによるPISA調査 （非連続型テキスト）	2000年より、経済協力開発機構によって3年ごとに実施されている世界的規模の学力調査を対象に、その特徴を探ります。特に、日本の高校一年生が世界の学習者と比較したときに、どのような特徴を持っているのかを検討しましょう。	渡部洋一郎
4	母集団における平均値の意味 （平均が良い方が上？）	前回の学習を踏まえ、アメリカやイギリス、ドイツ、フランスなどの国の学習者の平均値と日本の高校一年生の平均値とを比較します。結果は日本の方が圧倒的に上なのですが、そこにはどんな意味が隠されているのでしょう。	渡部洋一郎
5	必要条件と十分条件 （判別の実際）	必要条件と十分条件について、簡単な識別法を使い例文を判別しましょう。簡単なコツを覚えれば、誰でも活用できます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	問題解決法	授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部　洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	演繹的思考と帰納的思考 （長所と短所）	防御に優れた論法と攻撃に利のある論法、それぞれどのような利点と欠点があるのでしょうか。ここでは、その特徴について学びます。	渡部洋一郎
7	文章題における理解と表現 （確率の文章題検討）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
8	根拠と理由の違い （両者の差異）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
9	限定と反証 （概念の理解）	限定と反証という耳慣れない言葉の意味について理解を深めます。この２つを理解することで、説得性のある主張を展開することができます。	渡部洋一郎
10	トゥルミン・モデル （英国論理学の実際）	トゥルミン・モデルとは、S.E.Toulminによって考案された議論の論証モデルのことを言います。根拠から主張に至るまで６つの要素を配列するところにその特徴がありますが、まずは同モデルについて理解しましょう。	渡部洋一郎
11	トゥルミン・モデル （諸分野への応用）	トゥルミン・モデルは、その精度や利便性の高さから、日常議論のみならず、社会学や法学、教育学への応用も盛んに行われています。この回は、その実態を学びます。	渡部洋一郎
12	日常議論への実際の応用 （限定的な主張）	この回は、一般性及び汎用性のある主張ではなく、限定的でありながら説得性を持つ主張のあり方について、トゥルミン・モデルを使った演習を通して実地に確かめてみます。	渡部洋一郎
13	日常議論への実際の応用 （反証を意識した反論）	最後に、反証を意識した反論について学びます。反証がある場合の反論とはどのようなものにならざるを得ないのか、検討してみましょう。	渡部洋一郎
14	発想法としてのKJ法 （着想を得るコツ）	川喜田二郎によるKJ法と、梅棹忠夫によるこざね法を学びます。どちらもユニークな発想法として知られています。	渡部洋一郎
15	総合的なまとめ	「問題解決法」で学んだ論理的思考や日常議論の方法、また、効果的な表現を意識した理解のあり方などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	英語Ⅱ			授業科目番号	1102020
担当者氏名	ロクティオノフ　アレクセイ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

学生生活の学習の場でも、卒業後の職業人としても必要とされる、看護や医療の場面で活用できる英語の能力を獲得する。看護や医療における専門的な英語の語彙を身につけるとともに、リーディングでは看護や医療にまつわる記事などの平易な英文が読める能力を養う。また、ライティングでは、看護や医療の場面で活用できる能力を養い、リスニングとスピーキングでは、看護や医療に関する語彙の獲得を目指すとともに、看護や医療の現場で活用できる英会話の能力を養成する。

《授業の到達目標》

看護現場において外国人患者とのコミュニケーションがとれるようになる
基礎的な医療専門用語の習得

《評価の方法》

定期試験(ライティング、オーラル）：70%　　小テスト：20%　（先回授業の確認テスト）
学習態度：10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）

《テキスト》

『クリスティーンのやさしい看護英会話』（知念クリスティーン、上瀧真紀恵著　医学書院　1995年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

学習の到達度を確認するため、授業開始時に前回の講義内容に関する小テストを実施する

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス コミュニケーション	英語Ⅱのガイダンス 授業中で使用する英会話 自身の英会話能力と到達目標の確認	アレックス
2	unit 1	急に英語で話しかけられた場合	アレックス
3	unit 2	自己紹介　質問と答え方	アレックス
4	unit 3	患者への質問	アレックス
5	unit 4	初診の患者への対応	アレックス

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	英語Ⅱ	授業科目番号	1102020
担当者氏名	ロクティオノフ　アレクセイ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	unit 5	道順の教え方	アレックス
7	unit 6	症状の尋ね方	アレックス
8	unit 7	症状の尋ね方 体の名称	アレックス
9	unit 8	病歴の尋ね方 病気の名称	アレックス
10	unit 9	薬の服用に関する表現	アレックス
11	unit 10	予約の受け方	アレックス
12	unit 11	手術に関する表現	アレックス
13	unit 12	入院患者への質問	アレックス
14	ロールプレイ	様々な医療現場での英会話	アレックス
15	全講義のまとめ	定期試験にむけて、Unit１から12の確認	アレックス

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語III			授業科目番号	1102050
担当者氏名	渡邉　有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎3-2 多職種と連携・協働する力，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

大学生活においても、社会生活においても、看護の場面においても、的確に情報を伝達し、論理的に議論を進める力が必要である。この科目では、効果的な討論を進めるために必要なポイントや姿勢を理解する。話し方のコツや聞き方のコツを学び、リーダーとして、またメンバーとして求められる役割について、心構えも併せて理解する。さらに、効率の良い討論のプロセスについて考え、実際の合意形成のプロセスを討論を通して体験する。

《授業の到達目標》

授業を通じて、自分の考えや思いを表現するための語彙・表現を磨き、議論する方法に関する知識を増やす。他者との兼ね合いの中で、制限時間内に自分の考えを伝えたり、相手に質問をしたり、みんなでまとめるという複合的な作業の実践と反省を繰り返しながら、どのような形態の議論にも対応できる技術を修得する。

《評価の方法》

定期試験（筆記試験）40%、課題（予習ワーク、ポートフォリオ）30%、学習態度（議論への参加態度等）30%

《テキスト》

『大学生からのグループ・ディスカッション入門』（中野美香著　ナカニシヤ出版　2018年）

《参考図書》

授業中に指示する。

《履修上の留意点》

授業前の予習（テキストを読みワークに記入）を必ず行ってから授業に参加すること。有意義な議論にするため、積極的な議論への参加を求める。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	・グループディスカッションのスキルと進め方 ・アイスブレイク	ガイダンス グループ・ディスカッションと普段のコミュニケーションの違いを考える。また、グループ・ディスカッションのステップを理解する。／アイスブレイクの要素を理解し、簡単なアイスブレイクの方法を練習する。	渡邉有紀恵
2	・他者から見た自己の理解	相手から見た自分を理解し、適切に自分のことを相手に知らせる手段について考える。また、グループの中での自分の位置づけを考える。 ・第１回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク２（p.44）	渡邉有紀恵
3	・相手を受け入れよう	相手が話しやすい聞き方と姿勢、自分の聞き方の癖、自分が話を聞いていることを相手に伝える行動について理解する。 ・第２回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク３（p.46）	渡邉有紀恵
4	・司会をしよう ・グランドルール	司会者の役割について理解するとともに、司会者以外のメンバーの心構えについて学ぶ。／会議や話し合いをスムーズに進めるためにあらかじめ共有するグランドルールの例や活用について学ぶ。 ・第３回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク７（p.54）	渡邉有紀恵
5	・テーマの分析	話し合いの準備のプロセスを理解するとともに、テーマの分析の方法、議論の３つの論題について理解する。 ・第４回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク８（p.56）	渡邉有紀恵

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語III	授業科目番号	1102050
担当者氏名	渡邉　有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	・アイデアを広げて絞り込む	「テーマの分析」の後に行う「論点の洗い出し、整理、絞り込み」について学び、アイディアを広げる手段について理解する。 ・第５回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク９（p.58）	渡邉有紀恵
7	・質問しよう	相互理解を深めるための質問について理解し、質疑応答の基本、回答の聞き方、回答の仕方を身につける。 ・第６回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク12（p.64）	渡邉有紀恵
8	・振り返りをしよう （議論の評価）	議論に対する評価項目について学び、自己評価と他者評価とのギャップを比較する。／授業全体の振り返りをする。 ・第７回グループ・ディスカッション	渡邉有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	コミュニケーション論			授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐　紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

自身を知ることと他者を知ることは表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

《授業の到達目標》

1．コミュニケーションの理論を理解する　　2．身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる　　3．ステレオタイプとは何かを理解し、例を挙げて説明できる　　4．自分の中にあるステレオタイプへの気づきを得る　　5．看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識することができる

《評価の方法》

授業の振り返りコメント60%、レポート40%
※レポートは授業内で示すテキスト項目の中から選択したものについて考えを述べるもの

《テキスト》

『よくわかるヘルスコミュニケーション』（池田理知子・五十嵐紀子編　ミネルヴァ書房　2016年）

《参考図書》

授業で適宜紹介します

《履修上の留意点》

ペアワーク、及びグループワークを通して学びを深めていきます。皆さんからの素朴な疑問、深い考察などをその都度適する方法にて、全体で共有したいと思います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	コミュニケーション学とは （コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション）	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義について （予習）特になし （復習）テキストⅠ－１、４、５を読む	五十嵐紀子
2	コミュニケーション能力とは何か （コミュニケーション能力）	・「コミュニケーション能力」重視の問題について ・「当たり前を疑う」視点の大切さ （予習）どんな時に「コミュニケーション能力」を意識するか具体的に考える （復習）「円滑なコミュニケーション」の問題としての具体例を考える	五十嵐紀子
3	言語メッセージ	・言語と社会的規範の関係について （予習）テキストⅠ－７を読む （復習）テキストⅠ－７に関連した身近な例を探す	五十嵐紀子
4	医療におけることば （臨床で交わされる言葉）	・「病」と自分との距離感について ・臨床における「ふさわしさ」について （予習）「病」のマインドマップを描いてくる （復習）テキストⅡ－２を読む	五十嵐紀子
5	医療におけることば （「病」の定義）	・「病」という言葉の捉え方について ・認知症、薬物依存症、水俣病を例に考える （予習）認知症、薬物依存症について調べる （復習）水俣病についてさらに調べる	五十嵐紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐　紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	非言語 （時間・空間）	・時間・空間の認識が他者理解になぜ役立つのかを考える ・時間・空間の認識のコミュニケーションに与える影響 （予習）テキストＶ－１③、④を読む （復習）授業でやった内容を想起させる「境界線」の例を探す	五十嵐紀子
7	非言語 （時間・空間）	・恣意的な境界線の身近な例について考察する （予習）身近にある「境界線」の例について写真などを用意する （復習）視覚障害者の空間の捉え方について調べる（テキストＶ－１③の側注参照）	五十嵐紀子
8	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて （予習）テキストⅥ－４を読む （復習）啓発や健康増進などのパンフレットやポスターに注目する	五十嵐紀子
9	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・グループワークで啓発や健康増進活動に用いられる表象分析を行う ・発表または共有 （予習）啓発や健康増進などのパンフレットやポスターを用意する （復習）日常に溢れるステレオタイプ化された表象について注目する	五十嵐紀子
10	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・各自が作ったステレオタイプ化されたパンフレットを共有し、自己ステレオタイプ化への気づきを確認する （予習）あえてステレオタイプ化されたパンフレットを作成してくる （復習）自己ステレオタイプにどうしたら気づくことができるか考える	五十嵐紀子
11	自己理解と他者理解 （自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ、傾聴、共感）	・傾聴と共感のあり方について ・いくつかの事例について、自己ステレオタイプ化という視点で考察する （予習）テキストＶ－７、Ⅶ－２を読む （復習）テキストⅨ－７を読む	五十嵐紀子
12	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、ジェンダー、多様性）	・ジェンダーマイノリティの問題 （予習）テキストⅣ－１、３を読む。LGBTについて調べる （復習）日常の中にあるジェンダーマイノリティの生きづらさに注目する	五十嵐紀子
13	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、対人援助、マイノリティ）	・当事者研究の取り組み （予習）統合失調症について調べる （復習）関連するWebサイトや動画を閲覧する	五十嵐紀子
14	レポート作成に向けての学習	・選んだテーマごとにグループを作り、考察する （予習）レポートでテーマとするテキスト項目を選ぶ （復習）関連事項を発展的に調べたり、他者の意見を聞いたりする	五十嵐紀子
15	レポート作成に向けての学習	・マインドマップを用い、レポートで取り上げたい視点を整理する ・グループごとに共有する ・まとめ （予習）レポートで取り上げる事例について考える （復習）レポートの構想を確認し、レポートを執筆する	五十嵐紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅡ			授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷　明			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

室内で行うスポーツを実践し、スポーツが身体的、心理的、社会的側面に及ぼす影響について体験し考察する。具体的には、エアロビクスによる有酸素運動の体験をする。また、バレーボール競技を通して、スポーツにおけるチームワークの在り方から、スポーツの社会性について体験し考察する。さらに、筋肉トレーニングを体験する。また、有酸素運動と筋肉トレーニングの特徴を理解したうえで、グループワークとして、子どものトレーニングと高齢者のトレーニングの特徴について考え、具体的な運動メニューを提案する。

《授業の到達目標》

スポーツの身体、精神、社会的影響について、生理学、生化学、バイオメカニクスや運動に関する生理学、心理学、社会学を基盤に、健康について理解する。具体的には、身体的健康としてのPWC、RPEおよび代謝推定や精神的，社会的健康としてのYGテスト、エゴグラムの評価ができるようにする。また障がい者スポーツを体験し、ハンディキャップがどのような福祉工学的サポートから克服されているかを理解する。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

与えられた課題作成を念頭にして、講義内容を入れながら実技を行っていくため、理由のない欠席は避ける。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	運動とエネルギー代謝①	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するATP-CP系、解糖系について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
2	精神的・社会的健康とスポーツ①	スポーツ実践と精神的、社会的スポーツ	塩野谷　明
3	運動とエネルギー代謝②	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するクレブス回路、電子伝達系、ATP合成酵素について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
4	精神的・社会的健康とスポーツ②	スポーツ実践と精神的、社会的スポーツ	塩野谷　明
5	VO2maxとAnaerobic Threshold①	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅡ	授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷　明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	障がい者スポーツ実践①	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット①	塩野谷　明
7	VO2maxとAnaerobic Threshold②	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明
8	障がい者スポーツ実践②	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット②	塩野谷　明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	生命倫理学			授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、パターナリズムと人権、自己決定権、遺伝子治療、出生前診断と母体保護法、不妊治療と代理母、安楽死、脳死と臓器移植、宗教上の治療拒否などのテーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

《授業の到達目標》

この授業では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的（例：日本人の死生観）・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

《評価の方法》

定期試験を60%、数回の授業内プレゼンテーション・リアクションペーパー（10行程度の小レポート）を40%とする。

《テキスト》

購入テキストはなし。

《参考図書》

『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編　丸善出版　2012年）等の参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備する。

《履修上の留意点》

学習者の主体的な学びを高めるために、ディスカッションを通してその理解を深めたいと考えるが、コロナ感染予防策を講じながら、オンラインツールを活用してアクティブラーニングを促す。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。 バイオエシックス、医の倫理、生命倫理の整理。	郷堀ヨゼフ
2	健康問題とは何か	基礎的概念を問う。健康と病気とは何か。疾病と病との違い。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。	郷堀ヨゼフ
3	生命倫理の歴史	ナチス犯罪やタスキーギ事件等を取り上げながら臨床の倫理確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領（1947）、ヘルシンキ宣言（1964）、インフォームド・コンセント(IC)などにフォーカスする。	郷堀ヨゼフ
4	看護倫理の基盤 （看護倫理綱領）	看護現場を意識しながら基本概念を押さえる。	郷堀ヨゼフ
5	治療選択権	患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセント等の概念について論じる。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	治療拒否権	同じく、患者の権利に焦点を当てながら、特に終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅：誕生（1）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖技術と遺伝子技術（優生学）について考える。	郷堀ヨゼフ
8	人生の旅：誕生（2）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。　※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
9	人生の旅：誕生（3）	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、リアクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
10	人生の旅：死（1）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。	郷堀ヨゼフ
11	人生の旅：死（2）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハーラ、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。	郷堀ヨゼフ
12	人生の旅：死（3）	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。	郷堀ヨゼフ
13	人生の旅：死（4）	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、特にその法的枠組みに重点を置いて検討する。　※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
14	プレゼンテーション	生の終わりに関する倫理的な問題を取り上げリ、アクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ、振り返り	全体の内容を振り返って専門職倫理規範（看護倫理）の土台を成す生命倫理の重要課題を整理する。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	自然環境論			授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日　良樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

《授業の到達目標》

地球環境と生命の多様性や進化、身近な自然で起こっている生態系の変化、環境問題と人間の生活について学んだり仲間と学び合あったりすることを通して、自然環境の保全や持続可能な社会の在り方について、自分なりの主張の形成を図る。

《評価の方法》

①定期試験60%　②レポート30%　③討議や学び合いへの参加態度10%

《テキスト》

講義資料を作成し（40P程度）、受講者に事前に配布する。

《参考図書》

指定図書はないが、高校の生物基礎や自然環境に関する書籍を読んだり、近隣の新潟県立歴史博物館や長岡市立科学博物館、柏崎刈羽原発サービスホール等を見学したりし、事前学習を進めておくことを奨励する。

《履修上の留意点》

校庭の草原や林などのフィールドで1回程度、生の自然を観察する機会を設定する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	生命の星地球 ・自然環境の生い立ち ・生物と生態系 ・生命の進化	地球の形成と生命の誕生について理解する。 ・カンブリア爆発と生物種の多様性 ・多様な生物種の生存を可能とした地球環境の形成 ・生物の進化と絶滅	春日　良樹
2	人類の誕生と自然環境 ・人類の進化と拡散	アフリカから世界へ分布を広げた人類の進化の道筋について理解する。 ・人類の進化を支えたもの・こと（他の霊長類と比較しながら） ・農耕の開始や家畜の飼育と文明の発達	春日　良樹
3	・縄文人の生活 ・1万年以上続いた縄文時代	日本の自然環境と縄文人の生活について理解する。 ・土器の発明と生活の変化 ・縄文人の生活と森林の変化 ＜新潟県立歴史博物館、長岡市立科学博物館、十日町市立博物館等に出かけ、土器の変遷や昔の人々の生活について事前学習を進めておくとよい＞	春日　良樹
4	弥生から近世までの自然の変化 ・稲作の広がりと国の形成 ・国の有り様と自然環境	人々の生活の拡充と森林環境の変遷について理解する。 ・稲作をはじめとした大陸文化の流入 ・中央集権国家の形成、繰り返される遷都 ・製鉄と森林（もののけ姫の世界） ・江戸時代の人々の生活と自然環境（江戸のエコ生活）	春日　良樹
5	戦後の日本の自然環境の変化 ・森林の変化 ・河川の変化	・戦後の復興と自然環境の変化について理解する。 ・林野行政の失敗 ・エネルギー革命と里山の荒廃 ・日本の近代化と河川環境の変遷 ・欧米と日本の自然景観の違いと理由	春日　良樹

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日　良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	身近な自然環境（校庭の植物） ・簡単な植生調査の体験	校庭の植物群落を調べ、植物の特徴や生育の仕方・植物同士の関係性、外来種の侵入等について自分の考えをまとめレポートを作成する。 ・植物群落など生態的な見方・考え方 ＜天候により次の8回目と入れ替える場合がある＞	春日　良樹
7	植生調査の結果の考察 ・植物同士の関わり合い ・外来植物の繁茂	はびこる外来植物、生育地を追われる在来種の実際について理解する。 ・外来種（特定外来生物）の問題 ＜仲間と学び合いながらレポートを完成させる＞ ＜天候により次の9回目と入れ替える場合がある＞	春日　良樹
8	・外来種駆除の実際	外来種の駆除オオハンゴンソウ駆除の実際や駆除の難しさについて理解し、外来種が蔓延る理由や解決策について考えを記述する。 ・駆除の目的（外来種駆除テレビ番組の流行） ・環境ボランティアの活躍	春日　良樹
9	日本の近代化と河川環境の変貌	半世紀（40～50年）前の人々の暮らしと川の関係や近代化と川の変化について理解する。 ・生活や工業の廃棄物処理の場としての河川（隅田川や多摩川の例） ・近年における新たな問題…人々の生活と水辺環境の乖離 ・深刻化するゴミ問題（近隣諸国を巻き込んだ）	春日　良樹
10	日本の経済発展と公害	日本の公害の原点（足尾銅山鉱毒事件）について調べ、田中正造の生き方や環境問題の現実について理解する。 ・カネミ油症訴訟 ・大気汚染問題	春日　良樹
11	新潟県の水質汚染問題	水俣病と第2水俣病（新潟水俣病）の原因や現在も続く訴訟について理解する。 ＜新潟立環境と人間のふれあい館～新潟水俣病資料館～などを訪れ事前学習を進めるのも良い＞	春日　良樹
12	人類の未来を左右する世界的な環境問題 ・待ったなしの地球温暖化 ・化石燃料 ・クリーンエネルギー	豊かな生活の享受と地球温暖化などの環境問題について理解する。 ・牧畜とメタン、二酸化炭素の排出 ・温暖化の進行で何が変わるのか ・オゾン層の破壊 ・原子力発電の可能性と限界	春日　良樹
13	自然の生態系 ・生態系とは	生態系について環境と生物、生物同士の関係性といった観点から理解を深める。 ・森林、河川、湖沼、海洋 ・食物連鎖 ・生物ピラミッド	春日　良樹
14	・森林の働きとその価値	森林の持つ機能について理解する。 ・緑のダム（水源涵養林） ・魚つき林 ・土砂流出防止林 ・二酸化炭素の固定 ・森林セラピー等（健康増進のための森林）	春日　良樹
15	持続可能な社会の確立のために	将来に向けて持続可能な社会の構築にむけて、自分ができることをレポートにまとめる。 ・無知からの脱却～予知科学の発展～ ・循環型社会への移行 ・SDGsは地球を救えるか	春日　良樹

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	里見　佳香			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下の平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

《授業の到達目標》

1．日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。
2．自らのもつ権利と義務について考えることができる。

《評価の方法》

定期試験（100%）により評価する。

《テキスト》

『目で見る憲法（第5版）』（初宿正典、大沢秀介他編著　有斐閣　2018年）

《参考図書》

『資料で考える憲法』（谷口真由美編・里見佳香他著　法律文化社　2018年）

《履修上の留意点》

本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

《備考》

養護教諭2種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	法とはなにか	法、社会規範、国法体系について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
2	日本国憲法の成立	大日本帝国憲法（明治憲法）から日本国憲法（予習）への変遷について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
3	日本国憲法の基本原理	基本的人権の保障、国民主権、平和主義について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
4	基本的人権１ （１）生命・自由・幸福追求権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
5	基本的人権２ （２）法の下の平等	法の下の平等について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	里見　佳香		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	基本的人権３ （３）自由権	自由権の基礎と内容について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
7	基本的人権４ （４）社会権	社会権の基礎と内容について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
8	基本的人権５ （５）参政権、国務請求権	参政権、国務請求権について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
9	統治機構１ （１）三権分立、法治国家のしくみ	三権分立について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
10	統治機構２ （２）立法（国会）	立法権（国会）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
11	統治機構３ （３）行政（内閣）	行政権（内閣）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
12	統治機構４ （４）司法（裁判所）	司法権（裁判所）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
13	財政	租税法律主義、財政民主主義について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
14	地方自治１ （１）地方自治総論	地方自治の総論について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
15	地方自治２ （２）条例、地方税	条例、地方税、住民投票について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	福祉と保障			授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤　和也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力，◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

《授業の到達目標》

1．私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解する。
2．卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解する。
3．看護職と様々な現場で協働する“ ソーシャルワーク職 ”の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解する。

《評価の方法》

・レポート　　20%
・定期試験　　80%

《テキスト》

『系統看護学講座　社会保障・社会福祉』（福田素生 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険	社会保障を学ぶ意義 予習：自分が90歳になった時の暮らしを想像する 復習：社会保障と社会保険の違いを確認する	佐藤　和也
2	社会保障制度の目的と機能	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：日本の人口の変化を確認する 復習：社会保障の全体像を確認する	佐藤　和也
3	社会福祉の法制度	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：住んでいる地区の民生委員を確認する 復習：社会福祉六法を確認する	佐藤　和也
4	現代社会の変化	（第2章）現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習：親戚の家族構成を確認する 復習：日本の2025年問題、2040年問題を確認する	佐藤　和也
5	医療保障制度Ⅰ	（第3章）医療保障 予習：自分の医療保険被扶養者証を確認する 復習：医療保障制度の種類と概要を確認する	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤　和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	医療保障制度 II	（第3章）医療保障 予習：住んでいる地域の医療機関を確認する 復習：保険診療の仕組みを確認する	佐藤　和也
7	介護保障制度 I	（第4章）介護保障 予習：（可能なら）65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう 復習：介護保険制度の概要を確認する	佐藤　和也
8	介護保障制度 II	（第4章）介護保障 予習：住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する 復習：介護保険のサービスを確認する	佐藤　和也
9	年金保険 社会手当 労働保険	（第5章）所得保障 予習：（可能なら）身内の人の「年金」の種類を教えてもらう 復習：所得補償制度の概要を確認する	佐藤　和也
10	生活保護 低所得者対策	（第6章）公的扶助 予習：「朝日訴訟」を調べる 復習：生活保護を取り巻く最近の動向を確認する	佐藤　和也
11	高齢者福祉 障害者福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習：「ノーマライゼーション」を確認する 復習：高齢者施策を確認する	佐藤　和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習：虐待（高齢・障害・児童）事件を調べる 復習：障害者へのサービス内容を確認する	佐藤　和也
13	社会福祉実践	（第8章）社会福祉実践と医療・看護　　演習 予習：社会福祉援助技術を知る 復習：自己覚知を深める	佐藤　和也
14	社会福祉実践 医療・看護・福祉の連携	（第8章）社会福祉実践と医療・看護 予習：地域包括ケアシステムを調べる 復習：連携を支えるコミュニケーションの大切さを確認する	佐藤　和也
15	社会福祉の歴史	（第9章）社会福祉の歴史 予習：テキストを読む 復習：「生存権」を考察する	佐藤　和也

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III			授業科目番号	2208030
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。解剖見学実習を行い、実習後、解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟大学医歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。また実際の人体解剖を見学し、各臓器の配置について位置関係を説明できる。

《評価の方法》

成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座　人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。
８回の講義とは別に解剖見学実習を行う。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	身体の支持と運動：骨の形態と筋肉	人体の骨格とそれを構成する骨および筋肉について総合的に学習する。学生は人体の全体図を見て、各部位の骨と筋肉についてイメージできるように予習する。復習は授業で示した主な骨、筋肉とそれらを結びつける靭帯について説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	身体の支持と運動：上下肢の骨格と筋	上肢と下肢の長管骨を中心として学習する。また筋肉の進展や屈曲の意味についても学習する。学生は上下肢の骨と関節の名称について予習する。復習はこれら総合的に結び付け、伸展と屈曲に際して働く関節と筋肉について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	情報の受容と処理：神経系の構造と機能	ヒトの中枢神経の構造と、中枢から末梢までの神経伝達について学習する。学生は大脳、脊髄の構造を理解できるように予習しておく。復習は大脳、脊髄、末梢神経の興奮伝達について図をまじえて説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	情報の受容と処理：脊髄の構造と機能	脊髄の全体構造と断面より、神経伝道路について学習する。学生は脊髄の全体図と断面図をみて、各部の名称を予習する。復習は学生は大脳運動量から発せられた興奮が末梢の筋肉までどのようにして伝わっていくのか図示できることを目標として行う。	浅見　直
5	身体機能の防御と適応：皮膚の構造と機能、代謝と運動	防御機構としての皮膚とその構造、機能などについて学習する。学生は皮膚の表面図と断面図を理解し、各部の名称を予習する。復習は皮膚のどの髄がどのようにして生体防御するのか、図も交えて説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III	授業科目番号	2208030
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感覚器（眼、耳、内耳など）	眼、耳、内耳などの構造、機能などについて学習する。学生はこれらの解剖図を理解し、各部の名称を予習する。	浅見　直
7	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(１)、月経周期	男性と女性の生殖器の構造について学習する。学生は男性と女性生殖器の外観と内部構造、さらに精巣と卵巣を予習しておく。復習は精子と卵子がどのようにして成熟していくのか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(２)、内胚葉、中胚葉、外肺葉	男性と女性の生殖器について機能について学習する。学生は男性と女性生殖器の機能と発生における胚葉を予習しておく。復習はヒトの妊娠、着床、発生などを説明できることを目標として行う。	浅見　直
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	栄養学			授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊　令子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

栄養素とその働き、食物の摂取と消化吸収を学び、生命現象の意義について生化学的側面からとらえ、生体内のエネルギー獲得の仕組みと生体の恒常性の維持に関連して、糖質・たんぱく質・脂質などの代謝を学ぶ。また、栄養評価や、栄養指導、保健指導などの方法を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養摂取課題、健康づくりについて学ぶ。看護職として臨床や地域の現場で栄養管理や栄養指導ができるための基礎的知識を得るための科目である。

《授業の到達目標》

1．生体と食べ物との関係を専門用語を用いて説明できる。
2．エネルギー産生栄養素と微量栄養素の栄養学的機能について説明できる。
3．健康の保持・増進や疾病・障害の予防に対する栄養の関わりについて説明できる。
4．ライフステージ別ならびに主な疾病に対する栄養管理の基本について理解する。

《評価の方法》

学習態度（意欲、積極性）：10%、小テスト：20%、定期試験：70%

《テキスト》

『系統看護学講座　人体の構造と機能[3]　栄養学』（小野章史 他著　医学書院　2020年）

《参考図書》

『栄養科学イラストレイテッド　基礎栄養学（第4版）』（田地陽一編　羊土社　2020年）
『健康・栄養科学シリーズ　応用栄養学（改訂第7版）』（渡邊令子 他編　南江堂　2020年）

《履修上の留意点》

・配布プリントはファイルに綴じて、授業時に持参すること。
・毎回の講義終了後、講義内容について必ず復習を行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	栄養学とは （栄養、栄養素、食べ物、食品、食事）	ガイダンス（復習や小テスト等について） 栄養の概念について理解を深めたうえで、保健医療や看護からみた食事や栄養補給の意義について学習する。 （復習）テキスト第1章を参照して、配布プリントを読み返す。	渡邊　令子
2	栄養管理（ケア・マネジメント）とは （栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアプラン、モニタリング）	健康・栄養状態の評価（栄養アセスメント）・判定の方法、それに基づいた栄養ケア計画、実施、モニタリングと評価という栄養管理の基本について学習する。 （復習）テキスト第6・7章の関連頁を参照し、配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
3	食べ物と摂食行動 （食品群と栄養素、生体リズムと食物の摂食調節）	食品には各種栄養素や水分の他に多種多様な成分が含まれ、調理加工したものを食事として経口摂取している。「なぜ、規則正しい食事が健康増進や肥満および生活習慣病予防に重要なのか」について理解する。 （復習）食品群と栄養素については、テキストp98～110を読む。	渡邊　令子
4	食べ物（栄養素）の消化・吸収 （消化酵素、管腔内消化と膜消化、栄養素の吸収機構、腸内細菌叢）	管腔内消化と膜消化・吸収の2つのステージからなる消化・吸収過程の概要、さらに栄養素別の消化・吸収過程について学習する。 （復習）テキストｐ46～58を参照して、配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
5	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅰ） （たんぱく質・アミノ酸、炭水化物と糖質と食物繊維）	たんぱく質は、糖質や脂質と基本的に異なる栄養素であることを理解し、その体内代謝について学習する。炭水化物は糖質と食物繊維に分けられ、グルコースからのエネルギー産生機構を学習し、血糖調節の重要性を理解する。 （復習）配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	栄養学	授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊　令子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅱ） （脂質・脂肪酸、リポたんぱく質）	水に不溶性の栄養素である脂質と脂肪酸の種類について学習し、脂質の臓器間輸送の役割を担っているリポたんぱく質や、エネルギー源としての脂肪酸の代謝について理解する。 （復習）配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
7	ビタミン・ミネラルの生理機能と代謝 （欠乏症、過剰症）	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ビタミン（13種類）とミネラル（13種類）の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について、学習する。 （復習）配布プリントとテキストp27～40を読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
8	エネルギー代謝 （エネルギー産生栄養素の生理的燃焼値、基礎代謝、安静時代謝、活動代謝）	栄養において、エネルギーと水の供給は第一に優先される。エネルギー摂取量とエネルギー消費量の収支が釣り合えば体重変動はみられない。エネルギー代謝の重要性について学習する。 （復習）テキストｐ82～89を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
9	ライフステージと栄養（Ⅰ） （妊娠・授乳期、乳児期）	母性栄養は胎児栄養を含むという特殊性、乳児期は乳汁栄養から離乳食移行への必要性があることを理解し、各時期の栄養ケアの重要性について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp168～p172、p152～156を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
10	ライフステージと栄養（Ⅱ） （幼児期、学童期、思春期）	幼児期及び学童期の生理的特徴と栄養ケアのあり方を学習する。また、学童期の後半から始まる第2発育急進期の特徴と栄養学的課題について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp157～164を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
11	ライフステージと栄養（Ⅲ） （成人期、高齢期）	成人期、高齢期とも非常に年齢幅が広いので、疾病や健康障害における栄養学的課題も栄養ケアのあり方も多種多様であることを理解する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp165～168、p173～186を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
12	疾病と栄養（Ⅰ） （栄養補給法、病院食）	傷病者の病態や栄養状態は、当然のことながら一人ひとり異なる。医療現場では、看護師も臨床栄養の基本を理解しておくことが必要である。栄養補給法、病院食など基本について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp188～199を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
13	疾病と栄養（Ⅱ） （代表的な疾患別食事療法）	肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病の食事療法の基本、および消化器疾患の栄養療法の基本について学習する。 （復習）テキスト第9章の講義内容に関連した頁を読む。	渡邊　令子
14	疾病と栄養（Ⅲ） （代表的な疾患別食事療法、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応）	腎臓病、肝疾患の栄養療法の基本、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応などについて、学習する。 （復習）テキスト第9章の講義内容に関連した頁を読む。	渡邊　令子
15	食事摂取基準 （日本人の食事摂取基準2020年版）	日本人の食事摂取基準は、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防を目的とし、エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を定めたものである。生活習慣病の重症化予防やフレイル予防と各栄養素との関連について、その概要を学習する。 （復習）テキスト第5章p93～98を読んで、要点をまとめる。	渡邊　令子

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健医療福祉行政論			授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐　直子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を実践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。

《授業の到達目標》

1．保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の定義を説明できる。
2．保健医療福祉行政のしくみと保健師の役割について説明できる。
3．保健医療福祉計画の経過と評価についてそのプロセスを説明できる。
4．日本の保健医療福祉行政の現状から課題と対策を考察できる。

《評価の方法》

学習態度10%、定期試験90%

《テキスト》

『標準保健師講座　別巻１　保健医療福祉行政論』（藤内修二著　医学書院　2021年）
『国民衛生の動向　2021/2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）
適宜ハンドアウト配布

《参考図書》

《履修上の留意点》

保健医療福祉行政を理解することは、地域における保健師業務のみならず臨床で看護を含めた看護職全体に必要不可欠であり、広い視野と幅広い分野で活躍出来る看護職として行政を理解することは重要である。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健医療福祉行政のめざすもの （日本国憲法第25条、健康の定義、公衆衛生）	ガイダンス 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生とはについて理解する。 （予習）教科書Ｐ２～１０を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
2	保健医療福祉行政のめざすもの （プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル）	保健医療福祉行政の役割について理解する。 健康格差の是正に向けたWHO及び日本の取り組みとしての、ヘルスプロモーション及びソーシャルキャピタルの概念について学ぶ。 （予習）教科書ｐ１０～１６を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
3	保健医療福祉制度の変遷 ー公衆衛生施策の基盤形成 （英国で始まった近代公衆衛生の歴史と日本の近代公衆衛生の歴史）	公衆衛生政策の基盤整備について3回にわたって学ぶ。 公衆衛生の歴史から公衆衛生の本質と現在の施策の連続性を学ぶ。 （予習）教科書ｐ１８～３０を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
4	保健医療福祉制度の変遷 ー政策の充実と転換 （地域保健法、健康日本21健やか21、高齢者保健）	第3回に続き地域保健の基盤となる法律や制度について理解する。 保健所法から地域保健法への改正と地域保健対策の推進に関する基本的な指針と個別施策の具体的な内容を理解する。 （予習）教科書P31～41を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
5	政策の充実と転換 （認知症対策、がん対策、障害者対策、自殺対策、感染症対策、災害時保健医療対策、難病対策）	第4回に続いて地域保健の基盤となる法律や制度について理解する。 （予習）教科書Ｐ４１～５２を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健医療福祉行政論	授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐　直子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割 行政における保健師の役割と活動 （保健行政、保健師活動指針、統括保健師）	保健行政の体系と役割の理解及び、様々な行政部門で働く保健師の業務や体制を理解する。 （予習）教科書P５４～７３を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
7	保健医療福祉の財政 公衆衛生に関する国際的な活動 （財政、予算、国際協力）	国と地方公共団体の財政のしくみについて理解する。 保健医療分野の国際協力のしくみを理解する。 （予習）教科書P７４～８６を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
8	社会保障制度の理念としくみ 医療提供体制 （社会保障の法規、医療制度、医療保険、医療計画、地域医療構想）	社会保障制度の概念・目的・制度体系について理解する。 医療提供体制の概要と医療保障（医療財政）について学ぶ。 （予習）教科書P８８～１１３を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
9	介護保険制度 （介護保険、介護保険サービス、地域包括支援センター 地域支援事業、保健師の役割）	介護保険制度の概要と介護保険サービス、介護保険分野における保健師の役割を理解する。 （予習）教科書P１１４～１２５を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
10	社会保障・社会福祉の制度 （公的年金制度、雇用保険、生活保護、児童家庭福祉、高齢者福祉、障害者福祉）	社会保障と社会福祉の制度について学ぶ。 （予習）教科書P１２６～１４８を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
11	地域保健の体系 地域保健に関する公的機関 （地域保健法、地域保健対策の推進に関する基本的な指針）	地域保健体系について2回にわたって学ぶ。 今回は、地域保健に関する公的機関として都道府県と市町村の役割分担と機能・連携の実際を理解する。また地域保健法に基づく保健所の機能強化と実際を学ぶ。 （予習）教科書P１５０～１６７を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
12	地域保健の体系 関係機関との連携 （地域・職域連携推進事業ガイドライン）	第11回に続き関係機関との連携として、地域保健と職域保健、学校保健等関係機関との連携について理解する。NPO/ボランテアの概要と行政との協働の実際について理解する。 （予習）教科書P１６９～１７３を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
13	地方公共団体の保健医療福祉計画 （市町村総合計画、保健医療福祉計画）	2回にわたり保健医療福祉の計画と評価を学ぶ。 地方公共団体の保健医療福祉計画が基本構想を柱として計画策定されていることを理解する。 （予習）教科書P１７６～１８５を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	五十嵐直子
14	地方公共団体の保健医療福祉計画 （保健計画の策定プロセス、保健事業の立案プロセス）	13回に続き保健医療福祉計画と評価を学ぶ。 保健計画の策定のプロセスと計画への住民参加の重要性及び計画の評価の方法について学ぶ。 （予習）教科書P１８６～２２３を読む。 （復習）講義内容をノートにまとめる。地方公共団体の保健医療福祉計画の実際について調べてみる。	五十嵐直子
15	保健医療福祉行政に関する統計図・表	「国民衛生の動向」に記載されている統計表・図の読み方について学び、具体的な統計資料を保健医療福祉行政に活用できることをめざす。	五十嵐直子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ			授業科目番号	2311040
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

健康障害のある人への看護技術を学ぶ。感染予防、病床環境の調整、体位と移動、栄養と食事、排泄、衣生活、身体の清潔について具体的に学ぶ。食事の援助では、経鼻カテーテル法、高カロリー輸液について、排泄では浣腸、ストーマケア、導尿を含めて学習する。演習を通して、看護技術について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

《授業の到達目標》

1．健康障害のある人に対する看護基本技術（環境調整・感染予防・体位と移動・食事・排泄・清潔と衣生活）を習得できる。　2．科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を習得できる。　3．看護技術を身につけるために必要な態度・学習方法を自ら考えて行動できる。　4．実施した看護技術を振り返り、安全性、有効性の視点からよりよい方法を探究することができる。

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』（志自岐康子編　メディカ出版　2017年）
『写真でわかる基礎看護技術　アドバンス』（吉田みつ子、本庄恵子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

『看護がみえる①　基礎看護技術』（医療情報科学研究所編　Medic Media　2018年）
『看護実践のための根拠がわかる 基礎看護技術』（角濱春美、梶谷佳子編著　メヂカルフレンド社　2020年）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確に理解できるようにする。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実践可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護実践のための技術 感染予防の技術 （日常生活援助技術、感染とは、感染源、感染経路、感受性宿主）	・科目ガイダンス（授業計画と評価） ・看護実践のための技術とは何か、健康障害による日常生活行動への影響と必要な援助技術　看護技術の科学的根拠 ・感染予防の基礎知識　感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い　（予習）事前に提示された課題に取り組む　（復習）看護技術の目的・特徴、根拠に基づいた援助技術とは何か	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
2	感染予防のための技術（手指衛生、個人防護用具、無菌操作、滅菌物の取り扱い） 効率的で安楽な動きを作り出す技術（安楽な体位、体位の種類、ポジショニング）	［演習］手指衛生（日常的手洗い、衛生学的手洗い、手指消毒） 個人防護策（マスク、エプロンの着脱、手袋の着脱）、滅菌物の取り扱い （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・安楽な体位とは、体位の種類と身体への影響、体位変換、ポジショニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
3	効率的で安楽な動きを作り出す技術（ボディメカニクス） 睡眠と休息の援助技術（睡眠とは、活動と休息、生体リズム）	・体位変化とバイタルサイン、各種体位の取り方、ボディメカニクス、安全対策 （予習）事前に提示された課題に取り組む ・睡眠と休息の意義、リラクゼーション	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
4	効率的で安楽な動きを作り出す技術（体位変換） 衣生活を援助する技術（熱産生と熱放散、被服気候）	［演習］体位変換：仰臥位→側臥位、側臥位→ファウーラー位、仰臥位→端坐位、水平移動、上下移動 ・衣服を用いることの意義、熱産生と熱放散、被服気候 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
5	衣生活を援助する技術（寝衣交換） 身体の清潔を援助する技術（清潔の意義、皮膚・粘膜の生理的メカニズム、清潔のニーズ、清潔ケア）	［演習］寝衣交換 （演習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・看護における清潔の意義、皮膚・粘膜の生理的メカニズム、清潔を保つケア（入浴、部分浴、清拭、洗髪、陰部洗浄、口腔ケア） （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ	授業科目番号	2311040
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	身体の清潔を援助する技術（清拭）	［演習］清拭 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・清潔を保つケア	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
7	身体の清潔を援助する技術（洗髪） 排泄の援助技術（排泄の意義、排尿・排便のメカニズム、排泄のニーズ）	［演習］洗髪 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・排泄の意義、排尿・排便のメカニズム、自然排泄の援助	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
8	排泄の援助技術（便器・尿器の当て方、おむつ交換）	・排尿・排便障害の種類、床上排泄、導尿、浣腸 ［演習］便器・尿器の当て方、おむつ交換 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
9	活動・運動の援助技術（活動・運動の意義、活動・運動の生理的メカニズム） 身体の清潔を援助する技術（足浴）	・活動、運動の意義、生理的メカニズム、体位変化とバイタルサイン、同一体位と血圧 ［演習］足浴 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
10	排泄の援助技術（浣腸）	［演習］浣腸 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
11	食事・栄養摂取を促す技術（食事・栄養の意義、食事の生理的メカニズム、栄養状態の査定） 身体の清潔を援助する技術（陰部洗浄）	・食事・栄養の意義、食事の生理的メカニズム、栄養状態、電解質のバランスの査定 ［演習］陰部洗浄 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
12	食事・栄養摂取を促す技術（経管栄養法、高カロリー輸液） 排泄の援助技術（導尿）	・経管栄養法、高カロリー輸液 ［演習］導尿 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
13	身体の清潔を援助する技術（口腔ケア） 食事・栄養摂取を促す技術（食事介助）	［演習］口腔ケア ［演習］食事介助 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
14	活動・運動の援助技術（移乗・移送の技術）	［演習」車椅子への移乗と移送、ストレッチャーによる移送 歩行自助具の使い方 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
15	技術確認	基礎看護技術演習Ⅱで実施した中から選び、習得できた技術を確認する。	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護学概論			授業科目番号	2313060
担当者氏名	飯吉　令枝、平澤　則子、小山　歌子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○3-2 多職種と連携・協働する力，◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。
（飯吉令枝/5回）導入の講義を行う。
（小山歌子/5回）公的ヘルスケアサービスに関する講義を行う。
（平澤則子/5回）具体的な公衆衛生看護活動についての講義を行う。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生看護の理念と基盤となる概念を説明できる。
2．公衆衛生看護の対象・場と健康課題について説明できる。
3．公衆衛生看護活動について地域診断のプロセスについて説明できる。
4．公衆衛生看護がヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察できる。

《評価の方法》

定期試験80%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、課題10%、学習態度10%（毎回のコメントシート、グループワークの参加状況をもとに評価する）

《テキスト》

『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著　医学書院　2019年）

《参考図書》

『最新　公衆衛生看護学　第3版　総論』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
その他適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康問題があるのか、それらの健康問題がどのように解決されているのかについて関心を持ちながら主体的に参加されることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　　保健師だけでなく、看護師を目指す学生も選択を推奨します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域看護と公衆衛生看護の理念 （地域看護、公衆衛生看護の定義・活動目標）	ガイダンス 地域看護と公衆衛生看護の理念を学ぶ。 （予習）地域包括ケア論で学習した内容を復習しておく。 （復習）公衆衛生看護の定義・活動目標を整理する。 （課題）公衆衛生看護の基盤となる概念（1つ）について調べる。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護の歴史的背景 （保健師活動、歴史）公衆衛生看護の基盤となる概念 （プライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーションなど）	公衆衛生看護の歴史と保健福祉制度における保健師の位置づけを学ぶ。公衆衛生看護の基盤となる概念について学ぶ。 （予習）保健医療福祉行政論のテキストで、日本の保健医療福祉施策の変遷について調べる。 （復習）保健師活動と社会の要請や住民の生活実態の変化と結びつけて整理する。自分が調べた概念以外について、資料をもとに理解を深める。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護の対象 （ライフステージ・個人・家族・集団・組織）	ライフステージ、健康レベル、地域特性に応じた公衆衛生看護活動について学ぶ。さらに個人、家族、集団、組織の特性を学ぶ。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所がどこにあるか、市町村の広報の保健に関する情報にはどのようなものがあるか調べる。 （復習）公衆衛生看護のさまざまな対象とその特徴について整理する。	飯吉　令枝
4	地区活動と地域診断 (地域h診断、地区活動)	地区活動の基本を学ぶ。人々が暮らす「地域の特性」と地域で暮らす人々の「健康課題」のアセスメントについて学ぶ。 （復習）テキストp110～116を読む。 （課題）自分の住んでいる地域の特性と健康課題について調べ、まとめる。	飯吉　令枝
5	公衆衛生看護活動の場 （看護職の就業場所・保健福祉行政機関で活動する看護職）	公衆衛生看護活動の場とそれぞれの場で活動する保健師の実際活動について、各自が課題を持ちよりグループ討議・発表を行う。 （事前学習）公衆衛生看護活動の場を1つ選び、実際活動について調べる。 （事後学習）自分が調べた公衆衛生看護活動の場や実際活動以外について、理解を深める。	小山　歌子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護学概論	授業科目番号	2313060
担当者氏名	飯吉　令枝、平澤　則子、小山　歌子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	公衆衛生看護活動の場 （保健福祉行政機関で活動する看護職）	行政の場で活動する保健師の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）自分の住んでいる市町村の健康増進計画にどのようなことが書かれているか調べる。	小山　歌子
7	公衆衛生看護活動の場 （事業所、学校で活動する看護職）	事業所、学校で活動する保健師の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）講義資料やDVD視聴の内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
8	公衆衛生看護活動の場 （訪問看護ステーション、在宅介護支援センターや地域包括支援センター）	訪問看護ステーション、在宅介護支援センターおよび地域包括支援センターで活動する看護職の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）講義資料やDVD視聴の内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
9	ヘルスケアシステムが円滑に機能するための看護職の役割	ヘルスケアシステムが円滑に機能するための看護職の役割を理解する。 （事前学習）健康危機管理の対象分野と保健師の役割の各々1つについて、各自が課題を持ちよりグループ討議・発表を行う。 （事後学習）自分が調べた健康危機管理の対象分野と保健師の役割以外について、理解を深める。	小山　歌子
10	保健指導に関する理論 （セルフケア不足理論　ヘルスリティラシー理論）	公衆衛生看護活動の基盤となる保健指導の考え方を理解する。 （予習）自分の食生活の問題を1つ取り上げ、理論を活用して問題の構造を考えてくる。 （復習）保健指導の考え方を理解する。 （課題）理論を活用して、自分の食生活の問題を解決する方法を考える。	平澤　則子
11	公衆衛生看護の活動方法 （家庭訪問　健康相談　地区組織活動）	公衆衛生看護の方法としての家庭訪問、健康相談、健康教育、地区組織活動を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所が行っている家庭訪問や健康相談などの活動を調べる。 （復習）保健指導としての家庭訪問と健康相談の違いを整理する。	平澤　則子
12	公衆衛生看護の展開方法 （地区診断　地区活動計画）	公衆衛生看護の展開方法としての地区診断と地区活動計画を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村における子どもと家族のQOL向上をめざした施策を調べる。 （復習）配布資料により健康課題と地区活動計画を考える。	平澤　則子
13	公衆衛生看護の活動方法 （地域ケアシステム　健康な地域づくり　施策化）	地域ケアシステムづくり、健康な地域づくりと施策化について理解する。 （予習）住民の声を起点とした地区活動計画を立案する。 （復習）本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護について整理する。	平澤　則子
14	公衆衛生看護の倫理 （看護者の倫理綱領　公衆衛生の倫理　法と制度　公衆衛生看護の実践における課題　4ステップモデル）	公衆衛生看護活動の基盤となる倫理と倫理的実践における原則を理解する。 （予習）配布資料により看護者の倫理綱領について学習する。 （復習）テキスト事例１の倫理的課題について4ステップモデルを活用して解決策を考える。	平澤　則子
15	地域診断 (地域の特性、健康課題)	クループワーク：各自が住んでいる地域について事前学習した地域の特性と健康課題について発表を行う。地域の特性をアセスメントする意義について話し合う。全体討議：グループワークの内容を全体で共有する。（予習）4回目で出された課題をまとめ、持参する。（復習）公衆衛生看護の対象と活動の展開方法について整理する。	飯吉　令枝

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅡ			授業科目番号	1104020
担当者氏名	田邊　要補			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働き甲斐、生き甲斐を自ら見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。それぞれの場で活躍している看護職を講師として、シリーズで講義を行う。具体的には、臨床の場、在宅の場、地域の場、福祉の場、行政の場、教育の場、その他出版社などの場で活躍する看護職から、それぞれの仕事の特徴、やり甲斐などの具体的なことの講義を受ける。さらに、講義を通して、職業人として必要なマナーに関する基礎的な知識も習得する。

《授業の到達目標》

1．その人の歩んできた道について思いをはせ、表現することができる。
2．様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
3．専門職業人として必要な要素を説明することができる。
4．看護の道を歩んでいく上での、いろいろな可能性について具体的に述べることができる。

《評価の方法》

課題（第1回）　15%、レポート 40%、毎回のコメントシート 35%（第2回～第8回）、授業参加度 10%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅡは、1年次のキャリアデザインⅠから4年次のキャリアデザインⅢへと続く中間にあたる科目である。看護職としてのキャリア形成のためにも、連続して受講することが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護職を通しての様々な道 （多様な場）	様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。 （予習）自分のなりたい看護職について調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
2	長岡西病院看護部長 （臨床）	臨床の場である、病院および病院の看護部長としての役割りを理解する。 看護部長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）病院および看護部長の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
3	長岡保健所保健師 （行政）	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割りを理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）保健所および保健師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
4	開業助産師 （助産師）	助産師、開業助産師および開業助産師としての役割りを理解する。 開業助産師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）助産師、開業助産師および開業助産師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
5	柏崎市教育委員会学校教育課 （養護教諭）	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割りを理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）養護教諭および養護教諭の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅡ	授業科目番号	1104020
担当者氏名	田邊　要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	こぶし訪問看護ステーション看護師 （在宅）	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの管理者としての役割りを理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
7	長岡療育園看護師 （施設）	施設の場のひとつである、重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護係長としての役割りを理解する。 看護係長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
8	大学教員 専門職業人としての必要な要素 （教育、心構え）	教育の場である、大学教員および大学教員としての役割りを理解する。 専門職業人として、どういうことを身に付けておかなければならないのかについて理解する。 （予習）第1回から第7回までの講義内容を振り返る。 （復習）話し合った内容を振り返り、自分なりに専門職業人として必要な要素をまとめる。	田邊　要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	感染免疫学			授業科目番号	2209010
担当者氏名	笠井　大輔			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．微生物の種類と性質について説明できる。　2．感染に対する生態の防御機構、予防について説明できる。　3．感染症の検査、診断、治療について説明できる。　4．感染症の現状と対策について説明できる。　5．主な病原微生物とその感染症について説明できる。

《評価の方法》

授業態度10%　授業中の発言、態度をもとに評価する。
定期試験90%

《テキスト》

『感染制御の基本がわかる　微生物学・免疫学』（増澤俊幸著　羊土社　2020年）

《参考図書》

『系統看護学講座　疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学』（南嶋洋一他著　医学書院　2018年）
『練成ゼミ　7．微生物学』（看護師国試対策委員会監修　メディカルレビュー社　2005年）

《履修上の留意点》

感染症に対する正しい対応を理解するために、微生物の種類や特性、生理学的性質に関する知識を習得する。さらに感染に対する生態の防御機構や治療に関する理解を深めることを希望する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴	テキスト第１章と第２章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 （予習）テキスト第１章と第２章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
2	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴	テキスト第１章と第２章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 （予習）テキスト第１章と第２章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
3	感染と感染症、感染の機構	テキスト第３章を中心に、感染源や感染の成立過程、感染経路を含む感染機構についての理解を深める。 （予習）テキスト第３章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
4	感染に対する生態防御機構 自然免疫と獲得免疫のしくみ	テキスト第４章を中心に、感染に対する生態防御機構、特に自然免疫と獲得免疫のしくみについて理解を深める。 （予習）テキスト第４章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
5	感染に対する生態防御機構 粘膜免疫のしくみと感染の徴候と症状	テキスト第４章を中心に、感染に対する生態防御機構、特に抗原特異的免疫、粘膜免疫のしくみについて理解を深める。 （予習）テキスト第４章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	笠井　大輔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症の制御 各種法令とワクチン	テキスト第５章を中心に、感染症に対する各種法令と感染症予防に必要なワクチン接種に関する知識を深める。 （予習）テキスト第５章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
7	感染症の制御 滅菌と消毒	テキスト第５章を中心に、感染症予防のための滅菌や消毒に関する理解を深める。 （予習）テキスト第５章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
8	化学療法と耐性菌 抗菌薬、抗ウイルス薬による感染症の治療	テキスト第６章を中心に、感染症の治療に用いられる代表的な抗菌薬、抗ウイルス薬等を含む化学療法に関する理解を深める。 （予習）テキスト第６章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
9	化学療法と耐性菌 薬剤耐性菌とその対策	テキスト第６章を中心に、代表的薬剤耐性菌の性質や特徴について理解を深める。 （予習）テキスト第６章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
10	感染症の検査・診断・治療	テキストの第10章を中心に病原体の検出や生体反応からの診断に関する各種手法についての理解を深める。 （予習）テキストP156～P169を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
11	感染症の治療、感染症の現状と対策	テキストの第11章と第12章を中心に感染症の治療、感染症の現状と対策に関する理解を深める。 （予習）テキストP170～P217を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
12	細菌学各論	テキスト第７章を中心に細菌感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第７章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
13	ウイルス学各論	テキスト第８章を中心にウイルス感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第８章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
14	真菌学・原虫学各論	テキスト第９章と第10章を中心に真菌感染症ならびに原虫感染症に関する主要な点をそれらの各論を通して学び、特徴を理解する。 （予習）テキスト第９章と第10章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
15	まとめ	授業全体について振り返り、内容をまとめる。	笠井　大輔

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	薬理学			授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合　絵里			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

《授業の到達目標》

薬物の体内動態を知り、主な疾患の代表的な薬剤の作用、副作用を理解する。薬剤の有害事象と適正使用が分かる。

《評価の方法》

定期試験90%　学習態度10%

《テキスト》

『はじめの一歩の薬理学（第2版）』（石井邦雄、坂本謙司著　羊土社　2020年）
『ドラッグノート2021』（医薬情報研究所編　じほう　2020年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

解剖生理学・生化学が基礎となります。これらの授業、教科書等を参考にしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	薬理学総論(薬が効くしくみ)	テキスト第1章　薬理学の基本・薬はどのように作用するのか・薬の作用の解析	佐合　絵里
2	循環器系に作用する薬（循環器の疾患・治療薬の種類）	テキスト第5章　心臓の構造と機能・血管系の構造と機能・循環系の疾患と治療薬	佐合　絵里
3	消化器系・呼吸器系に作用する薬物（機能と疾患・治療薬の種類）	テキスト第6章　消化器系の機能・疾患と治療薬　第7章　呼吸器系の機能・疾患と治療薬	佐合　絵里
4	腎臓・血液に作用する薬物（腎臓の機能と疾患・治療薬の種類、血液への作用のしくみ）	テキスト第8章　利尿薬と泌尿器・生殖器に作用する薬　第9章　血液に作用する薬	佐合　絵里
5	代謝性疾患治療薬・抗炎症薬・抗アレルギー薬（糖尿病、脂質異常症のしくみと治療薬・炎症のしくみと治療薬）	テキスト第10章　代謝性疾患とその治療薬　第11章　抗炎症薬・抗リウマチ薬・抗アレルギー薬	佐合　絵里

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	薬理学	授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合　絵里		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症治療薬・抗癌薬（菌を殺す薬のしくみ・適正使用、抗癌剤のメカニズム）	テキスト第13章　感染症治療薬　第14章抗癌薬	佐合　絵里
7	中枢神経系に作用する薬物（中枢神経系疾患・薬が効くしくみ）	テキスト4章　中枢神経系に作用する薬	佐合　絵里
8	まとめ(患者と薬の関わり・高齢者の薬の効き方)	資料プリントを使用　多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係	佐合　絵里
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)			授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤　正洋			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。
ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

《授業の到達目標》

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。
循環器疾患に関する正しい情報を、医療関係者ではない人が理解できるように説明することができる。
将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

《評価の方法》

定期試験90%、学習態度10%で評価する。

《テキスト》

スライド等を使用する。

《参考図書》

『病気がみえる vol.2 循環器』（永井利幸 他監修　Medic Media　2017年）
『系統看護学講座　成人看護学[3] 循環器』（吉田俊子 他著　医学書院　2019年）

《履修上の留意点》

予習、復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	循環器総論、検査総論（心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全）	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 （予習）循環器系（心臓、大血管）の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認を行う。	伊藤　正洋
2	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群）	心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
3	不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）	基本的な不整脈の病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図が理解できる。 （予習）心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫）	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
5	心筋疾患、心膜疾患（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ）	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)	授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤　正洋		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症）	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
7	血圧異常、身体診察法（本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法）	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 （予習）高血圧、身体診察法について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
8	先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症）	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)			授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤　和弘、富所　隆			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（佐藤和弘/4回）呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
（富所隆/4回）消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

《授業の到達目標》

〔呼吸器〕呼吸器の解剖（胸郭、気道、胸腔、肺実質）の理解及び病態生理が理解できる。代表的な呼吸器感染症、結核、びまん性肺疾患、自己免疫疾患、肺腫瘍、肺血栓塞栓症、肺血管異常、胸膜疾患を含めた胸膜疾患を習得する。呼吸器疾患の自覚症状と身体所見及び診断治療手技の知識について習得する。　〔消化器〕消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、消化器疾患の原因・症状・検査・治療についての知識を深める。

《評価の方法》

〔呼吸器〕授業時の課題30%、定期試験70%
〔消化器〕定期試験100%

《テキスト》

〔呼吸器〕『系統看護学講座　成人看護学[2] 呼吸器』（浅野浩一郎　他著　医学書院　2019年）
〔消化器〕『系統看護学講座　成人看護学[5] 消化器』（南川雅子　他著　医学書院　2019年）

《参考図書》

〔呼吸器〕『ハリソン内科学 第5版』（福井次矢、黒川清 監修　メディカルサイエンスインターナショナル　2017年）

《履修上の留意点》

〔呼吸器〕事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。

《備考》

〔呼吸器〕授業後に配布資料を復習してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	呼吸器の解剖と機能	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。	佐藤　和弘
2	呼吸器疾患をもつ患者さんの診察、検査、治療手技	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。	佐藤　和弘
3	呼吸器感染症、びまん性肺疾患、気道疾患	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。	佐藤　和弘
4	肺血栓塞栓症、胸膜疾患、肺腫瘍	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。	佐藤　和弘
5	消化器の基礎知識	①消化管の解剖について ②消化・吸収・栄養についての基礎知識 ③内視鏡検査	富所　隆

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤　和弘、富所　隆		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	消化管疾患－1	①消化性潰瘍 ②食道疾患（食道がん・逆流性食道炎） ③胃がん	富所　隆
7	消化管疾患－2	①大腸・直腸がん ②炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病） ③その他の大腸疾患	富所　隆
8	肝・担・膵疾患	①肝炎・肝硬変・肝炎ウィルス ②肝がん ③胆石 ④胆管がん・膵がん	富所　隆
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ(内分泌・腎・代謝・婦人科)			授業科目番号	2209040
担当者氏名	福居　和人、中枝　武司、須藤　寛人			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

代謝、内分泌疾患、腎疾患、および産婦人科疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（福居和人/4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などである。
（中枝武司/2回）主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学ぶ。
（須藤寛人/2回）生殖器・婦人科疾患および泌尿器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化疾患などである。なお、周産期疾患を含め女性特有の疾患について学ぶ。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔内分泌・代謝〕定期試験（選択問題）100%　　〔腎〕定期試験100%
〔婦人科〕定期試験100%　試験様式は看護国家試験に準じる

《テキスト》

〔内分泌・代謝〕『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編　Medic Media　2019年）
〔腎〕授業で使用したスライドを印刷して配ります。
〔婦人科〕『ナーシング・グラフィカEX　疾患と看護(9)女性生殖器』（苛原稔、渡邊浩子編　メディカ出版　2020年）

《参考図書》

〔内分泌・代謝〕『糖尿病治療ガイド2020-2021』（日本糖尿病学会編　文光堂　2020年）
〔婦人科〕『婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック（第２版）』（落合慈之監修　学研メディカル秀潤社　2017年）

《履修上の留意点》

別紙参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体・甲状腺・副腎など内分泌臓器の位置・形態について学び、異常を来す疾患の特徴について理解する。	福居　和人
2	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	甲状腺機能異常および副腎皮質機能異常について、機能低下した場合、機能亢進した場合の具体的な症状と検査、治療方針について学習する。	福居　和人
3	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 脂質異常症の診断 高尿酸血症の診断	糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝の仕組みを理解する。それぞれ、糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症と診断する基準、治療方針がわかる。長期的に発生する合併症を理解できる。	福居　和人
4	代謝性疾患の療養指導 食事指導、 運動指導、 服薬指導、 生活指導の実際	食事療法の意義と目的を理解し、適切な指示カロリーを計算することができる。運動療法の意義を目的を理解し、運動してはいけない場合がわかる。適切な療養を守るために、看護師として必要な役割を理解することができる。	福居　和人
5	腎臓の構造と機能、腎機能検査、急性腎障害、慢性腎臓病、血液透析など	授業スライドの復習をしてください。	中枝　武司

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ(内分泌・腎・代謝・婦人科)	授業科目番号	2209040
担当者氏名	福居　和人、中枝　武司、須藤　寛人		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	糸球体腎炎、続発性腎疾患、腎泌尿器感染症など	授業スライドの復習をしてください。	中枝　武司
7	女性生殖器の構造と機能、月経異常に関する疾患及び性感染症、不妊症、更年期症候群	1．生殖器の機能と構造を予習しておく p12-19。　2．性分化疾患、染色体異常、性周期の異常を学ぶ P241-251。　3．月経異常の各種類と月経随伴症状を学ぶ P126-143。　4．性感染症とその予防を学ぶ P150-159。5．不妊症・不育症について学ぶ P262-284。　6．更年期症候群を学ぶ P285-290。　7．周産期医療と関連する出生前診断を履修する。	須藤　寛人
8	婦人科良性腫瘍(子宮筋腫・子宮腺筋症)と子宮内膜症、婦人科悪性腫瘍（子宮頸がん・子宮体癌・卵巣/卵管がん）、乳がん	1．罹病率の高い子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症について学ぶ P170-178、P163-169。　2．子宮頸がんの原因、進行、治療を学び、がん検診の重要性と子宮頸がんワクチンの有用性を正しく理解する P179-200。　3．致死率の高い卵巣/卵管がんや高罹病率の乳がんについて履修し、新分野のゲノム解析によって診断される[遺伝性乳がん卵巣がん]（HBOC）について学ぶ P210-223。	須藤　寛人
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅲ（内分泌・腎・代謝・婦人科）　シラバス別紙

授業の到達目標

〔内分泌・代謝〕主な内分泌疾患として甲状腺疾患・副腎疾患、および糖代謝（糖尿病）・脂質代謝・尿酸代謝異常を来す疾患についての概要を理解することができる。各疾患の治療方針がわかる。糖尿病の治療目標を理解し、簡単な療養指導を行うことができる。

〔腎〕腎臓の機能や、各種検査方法、慢性腎臓病や急性腎障害、ネフローゼ症候群などの腎疾患の知識を習得すること。

〔婦人科〕女性生殖器系の構造と機能を理解し、婦人科疾患の原因・症状・検査・診断・治療の概要を学び、予防を含む看護実践において有益な基礎的知識を修得することを目標とする。具体的には、月経異常、性分化疾患、不妊症、性感染症、更年期症候群などについて自らが説明できるようになり、また、婦人科疾患で、高い罹患率を示す子宮筋腫や子宮内膜症などについて学び、子宮頸がん、卵巣がん、乳がんなどについて看護の立場より有益な知識になる事柄を学びとることを目標とする。

評価の方法

〔内分泌・代謝〕定期試験（選択問題）100％

〔腎〕定期試験100％

〔婦人科〕定期試験100%　試験様式は看護国家試験に準じる

テキスト

〔内分泌・代謝〕『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編　Medic Media 2019年）

〔腎〕授業で使用したスライドを印刷して配ります。

〔婦人科〕『ナーシング・グラフィカEX　疾患と看護(9)女性生殖器』（苛原稔、渡邊浩子編　メディカ出版　2020年）

参考図書

〔内分泌・代謝〕『糖尿病治療ガイド2020-2021』（日本糖尿病学会編　文光堂　2020年）

〔婦人科〕『婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック（第２版）』（落合慈之監修　学研メディカル秀潤社　2017年）

履修上の留意点

〔内分泌・代謝〕各回内容に応じたプリントを配布し、学習到達目標の達成を確認する。内分泌疾患や代謝異常における疾病治療は長期にわたるうえ、根本的に治癒しないことから、患者心理にも配慮した理解が求められる。

〔婦人科〕授業はテキストを参考にした講義が主体で、一部、パワーポイント＋プリントになるが、板書は必要によって行う。テキストにある重要な個所を学生に読んでもらう時は、全員でその個所に目を通してもらいたい。限られた時間で多くの疾患名や医学用語が続出するので、それらの定義やポイントを正確に把握する。

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	公衆衛生学			授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生の概念と、疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。
2．主な疾病の予防対策（生活習慣病・がん等）について説明できる。
3．環境保健、学校保健、産業保健、国際保健医療、災害保健の現状について概要を説明できる。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1～2枚程度

《テキスト》

『シンプル衛生公衆衛生学』（鈴木庄亮監修　南江堂　2021年）
『国民衛生の動向　2020/2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』（ハンス・ロスリング 他著　日経BP社　2019年）
『命の格差は止められるか』（イチロー・カワチ著　小学館　2013年）　その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

各論のうち、母子保健、小児保健、高齢者保健、精神保健に関しては各専門科目での知識と統合すること。
テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、またニュースやネット等でも公衆衛生に関連する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学序論 （健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生活動）	授業ガイダンス 衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて理解する。公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。 （予習）テキストpp1-17を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	保健統計学・疫学概論 （健康指標、人口統計、疫学調査の手順と方法、因果関係、バイアスと交絡）	保健統計学と疫学を学ぶ意義について理解する。健康水準を表す基本的な指標、人口統計、疫学調査の手順や方法について習得する。 （予習）テキストpp19-50を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	疾病予防と健康管理① （疾病の自然史と疾病予防、リスク因子、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康管理、検診と健診）	疾病のリスク要因、疾病予防の段階と段階に応じた予防手段、健康管理活動、健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキストpp51-62を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
4	疾病予防と健康管理② （ライフスタイルと健康、健康の社会的決定要因、健康日本21）	疾病のリスク要因、疾病予防の段階と段階に応じた予防手段、健康管理活動、健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキストpp62-79を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
5	感染症の予防対策 （感染症の成立条件、感染症予防の原則、主要な感染症、ワクチン）	感染症の成り立ちを概観し、予防対策について理解する。さらに、感染症が原因で起こりうる公衆衛生的な諸問題（格差やスティグマ）、また予防接種を取り巻く現状について理解する。 （予習）テキストpp81-98,164-176を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染免疫学の知識と統合すること。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	生活習慣病・がん・その他疾病の予防対策 （高血圧、心血管疾患、糖尿病の原因と合併症対策、がん、腎疾患、アレルギーの原因と対策、自殺対策）	生活習慣病（高血圧性疾患、心疾患、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム）、がん、腎疾患、アレルギーの疫学、予防対策を理解する。また自殺対策の現状と予防対策について理解する。 （予習）テキストpp98-136を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、疾病治療論の知識と統合すること。	鈴木　翼
7	環境保健① （生態系・環境の評価、生体と環境の関係、環境汚染・地球環境問題）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、地球の環境・生態系、環境汚染・地球環境問題、生体と環境の関係、環境の把握方法と評価方法について理解する。 （予習）テキストpp137-153を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
8	環境保健② （物理的環境要因、化学的環境要因、水の衛生、廃棄物）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、物理的環境要因（気温、騒音、放射線、気圧）、化学的環境要因（化学物質、空気）、水の衛生、廃棄物について理解する。 （予習）テキストpp153-189を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
9	環境保健③ （衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理について理解する。 （予習）テキストpp189-215を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
10	地域保健とコミュニティ、ソーシャルキャピタル （コミュニティ、ソーシャルキャピタル、健康格差、地域診断）	私たちの生活と健康を取り巻く環境のうち、人々の関係やコミュニティに着目して、健康的な地域のあり方について理解する。 （予習）テキストpp217-228を読む。また、1年次の保健医療福祉行政論（公衆衛生看護学概論）で学んだことを振り返っておく。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
11	学校保健 （子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育）	学校の保健対策、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 （予習）テキストpp249-273を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
12	産業保健① （働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進）	産業現場の保健対策について、特に働く人々の健康、労働災害、職業病について理解する。また、産業保健を理解する上で重要となる労働法制（働き方のルール）について概観する。 （予習）テキストpp275-304を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
13	産業保健② （働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進）	産業現場の保健対策について、健康診断と健康増進、また近年注目されている働き方改革、長時間労働者対策、メンタルヘルス対策、健康経営などについて理解する。 （予習）テキストpp275-304を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
14	国際保健医療・災害保健 （人種・民族・国・開発途上国・国際協力、災害対策と疾病予防）	国際保健の現状、発展途上国の健康問題と対策、日本の国際協力について理解する。また世界で相次ぐ自然災害・NBC災害・テロの現状と、災害やテロが原因で起こりうる疾病・健康障害の予防について理解する。 （予習）テキストpp343-357を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
15	まとめ：公衆衛生のトピックス	健康や公衆衛生にまつわる情勢は常に移り変わっている。このコマでは、近年話題になっている公衆衛生のトピックスを取り上げ、その考え方や課題に関してディスカッションを交えて解説する。また知識や情報をアップデートし続けるための方法についても述べる。 （予習）ニュースやネットで興味を持った公衆衛生課題について、問題点や疑問点をまとめておく。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	金子　史代			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な概念や理論について学ぶ。具体的には、成人期の発達課題と特性、セルフケアの主要概念とセルフケア理論、セルフヘルプ、成人学習の特徴、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップなどについて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．成人期の対象者の心理的・身体的・社会的特徴を理解できる。
2．成人期の対象者の保健と健康問題を説明できる。
3．成人期の対象者への看護を説明できる。

《評価の方法》

・定期試験60%　・レポート20%；課題は講義の中で提示する　・グループワーク参加態度20%；グループワークの発言、態度で評価する

《テキスト》

『成人看護学　成人看護学概論』（林直子他著　南江堂　2019年）

《参考図書》

『看護援助の現象学』（高崎絹子著　医学書院　1993年）　『心筋梗塞の前後』（水上勉著　文藝春秋　1997年）　『人間　この未知なるもの』（アレキシス・カレル著、渡部昇一訳　三笠書房　1981年）

《履修上の留意点》

・配布した資料を読んで自分の意見をまとめておく。
・指定したテキストや文献を読んで自分の意見をまとめておく。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	成人期の対象者の特徴（自立、セルフケア、多様な価値観、役割）	ガイダンス 成人期の対象者の特徴を自立、セルフケア、多様な価値観、役割から理解する。 (予習）テキスト；第Ⅰ章　成人とは　を読んでくる。	金子　史代
2	成人期の対象者の発達（ライフサイクルと成人期、発達課題）	成人期の対象者の発達をライフサイクルと成人期、発達課題(エリクソン）から考える。 (予習）ライフサイクルと成人期、発達課題について調べる。 (復習）レポート作成と事例検討のための事例を提示する。テキスト；第Ⅰ章 成人とは をもう一度読んで、事例の理解を深める。	金子　史代
3	成人期の対象者の健康とセルフケア（成人、健康、セルフケア不足理論）	成人期の対象者の健康の特徴、看護の役割をオレムのセルフケア不足理論から理解する。成人とその家族の健康の保持増進におけるセルフケア支援を考える。；レポート作成の説明 (予習）提示した2事例の資料を読んで、成人の健康と健康をめぐる諸活動の特徴を考えてみる。	金子　史代
4	成人期の対象者の生活と健康問題（成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境）	成人期の対象者の生活と健康問題を成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境等を通して理解する。 (予習）テキスト；第Ⅲ章　成人期にある人の健康　を読んでくる。	金子　史代
5	成人期の対象者の看護に用いられる概念と理論（ケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論）	成人期の対象者の看護に用いられる概念と理論をケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論から理解する。 (予習）テキスト；第Ⅳ章　成人期にある人を看護すための基本的な考え方　を読んでくる。	金子　史代

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	金子　史代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	成人期の対象者へのセルフケア支援（事例を通して考える）;グループワーク	成人とその家族の健康の保持/増進におけるセルフケア支援をグループに分かれて検討する；事例検討①。 (予習）自分のレポートを読み返し意見をまとめてくる。 (復習）グループワークの結果からグループの発表資料を作成する。	金子　史代
7	成人期の対象者への健康状態に応じた看護（健康の保持・増進、疾病予防、急性期看護、リハビリテーション看護、慢性的な経過をたどる人への看護）	成人期の対象者の健康状態に応じた看護を健康の保持・増進、疾病予防、急性の状態にある人、回復期にある人、慢性的な経過をたどる人への看護から理解する。 (予習）テキスト；第Ｖ章　健康状態に応じた看護　を読んでくる。	金子　史代
8	成人期の対象者へのセルフケア支援;グループワークの発表	成人とその家族の健康の保持・増進におけるセルフケア支援を各グループの発表を聞いて討議する；事例検討②。 (予習）各グループは発表資料を作成し全員に配布する。各グループの発表資料を読んでくる。	金子　史代
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井　貴子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1．急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2．周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3．救急救命処置の基本的技術を実践できる。

《評価の方法》

定期試験60%、小テスト20%、レポート10%、演習参加態度10%

《テキスト》

1.『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第3版）』（林直子、佐藤まゆみ編　南江堂　2019年）
2.『成人看護学 急性期看護Ⅱ（改訂第3版）』（佐藤まゆみ、林直子編　南江堂　2019年）

《参考図書》

『ナーシンググラフィカ成人看護学②』（吉田澄江 他編　メディカ出版）　『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1－3』（竹内登美子編　医歯薬出版）　※他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学、各疾病論の予習復習をしてください。内容は事前に伝えます。
演習を行います。主体的に参加し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 （急性期看護の概念と特徴）	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 （予習）テキスト1 p2～5を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
2	外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応について （周手術期看護）	周手術期看護にある患者の特徴について 手術前期の看護について 外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応 （予習）テキスト1を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
3	手術を受ける人の意思決定を支える看護について （周手術期看護）	事例を通して患者やその家族について理解する （予習）事例について、その状況を理解しておくこと （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
4	手術・麻酔による生体反応・合併症 （周手術期看護・手術期）	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 集学的治療について 手術中の看護について （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
5	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井　貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
7	集中治療下での看護 （クリティカルケア）	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について 手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント、ボディイメージの変化について （予習）テキスト2 第2章、第3章を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
8	ＴＢＬによる学習：チーム検討 各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
9	ＴＢＬによる学習：チーム検討 各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
10	救急医療における看護 （プレホスピタルケア）	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ （予習）テキスト2 第1章を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
11	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
12	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
13	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
14	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について （予習）テキスト2 p88～95を読む	広井　貴子
15	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について （復習）急性期看護について、考えをまとめておく	広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒　優子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第２次・３次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1．慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2．慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3．慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

《評価の方法》

定期試験：80%、演習：10%、事前・事後レポート：10%

《テキスト》

『成人看護学　慢性期看護　病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編　南江堂　2019年）

《参考図書》

『系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器』医学書院　『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』医学書院　『系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝』医学書院

《履修上の留意点》

事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・甲状腺・膵臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。
事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。
演習の際には、主体的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	慢性疾患の特徴（慢性疾患）	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 （予習）テキスト１～26 （復習）慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒　優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解（慢性期看護）	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 （予習）テキスト30～37、42～65 （復習）慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒　優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念（セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル）	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 （予習）テキスト76～81、83～93 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子
4	治療・療養を促進する支援（セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー）	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 （予習）テキスト96～110 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子
5	ＴＢＬ（Team-based-learning:チーム基盤型学習)による演習の進め方、ＳＢＡＲを活用した報告	ＴＢＬ、ＳＢＡＲについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビティ、ＳＢＡＲを活用した報告 （予習）わかりやすい報告とはどのようなことか自分の言葉でまとめておく。 （復習）ＳＢＡＲの構成要素について整理する。	目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助（慢性閉塞性肺疾患）	慢性閉塞性肺疾患 （予習）テキスト218～227、「肺の機能」についてまとめておく。 （復習）慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒　優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング （予習）口すぼめ呼吸 （復習）実施後の学びを整理する。	目黒　優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助（慢性腎臓病、人工透析）	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 （予習）テキスト357～360、「腎臓の機能」についてまとめておく。 （復習）人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒　優子
9	腎機能系の障害を有する人へのフィジカルイグザミネーション（内シャント造設、浮腫）	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション （予習）「浮腫」の評価の仕方についてまとめておく。 （復習）フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒　優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助（潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法）	潰瘍性大腸炎、クローン病 （予習）テキスト315～321　「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
11	免疫系の障害を有する人とその家族への援助（全身性エリテマトーデス、ステロイド療法）	全身性エリテマトーデス （予習）テキスト160～164、410～412　「免疫系の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の副作用についてまとめておく。 （復習）ステロイド療法を受ける患者のポイントを整理する。	目黒　優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（甲状腺機能障害）	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 （予習）テキスト350～355、「甲状腺の機能」についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 （予習）テキスト328～332、「膵臓の機能」についてまとめておく。 （復習）2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒　優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の薬物療法 （予習）テキスト328～332 （復習）2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒　優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術：自己血糖測定、自己注射（インスリン療法）	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア （予習）テキスト130～134 （復習）自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	袖山　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の成立背景を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性について理解する。

《授業の到達目標》

1．加齢変化を身体的側面・心理的側面から述べることができる。　　2．老年期の発達課題を述べることができる。
3．高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の動向から今日的課題をディスカッションできる。
4．高齢者支援における多職種連携の必要性が述べられる。
5．老いを生きる高齢者の看護の役割が述べられる。

《評価の方法》

授業内で実施する小テストの合計(10%）、レポート(10%)、定期試験（80%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）

《参考図書》

『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）
授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

《履修上の留意点》

・シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布された資料及び授業で紹介された参考文献等を参照しながら、事後学習をする。レポートや小テストについては事前に説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 1．老年看護学の概要 2．老年期を生きる高齢者の理解①	・老年看護講義ガイダンス ・老年看護学の成立背景 ・高齢者・高齢社会の定義 ・加齢と老化の概念 【事前学習：テキストの第1章を読んで授業に臨む】【事後学習：授業で学んだ内容の整理】	袖山　悦子
2	老年期を生きる高齢者の理解②	・加齢に伴うの身体的側面の変化 ・高齢者の疾患の特徴 ・老年症候群とは ・加齢に伴う心理的・社会的側面の変化 【事前学習：テキストを読む】【事後学習：授業で学んだ内容の整理】	袖山　悦子
3	老年期を生きる高齢者の理解③	・発達とは ・高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 【事前学習：自分が75歳になった時を想像して自分への手紙を書いて授業に臨む】【事後学習：高齢者の発達について復習をする】	袖山　悦子
4	3．高齢社会の統計的輪郭	・老年人口の動態、健康指標からみた高齢者　　・家族形態と高齢者 ・高齢者の暮らし、高齢者の社会活動 【事前学習：国民衛生の動向及びテキストを参照し、超高齢社会を生き抜く高齢者を取り巻く環境について統計的データを基に理解が得られるように事前学習して臨む】【事後学習：高齢社会の課題を見出せるように復習をする】	袖山　悦子
5	4．高齢者と社会制度①	小テスト（これまでの授業から、配点10点） ・高齢者を取り巻く保健制度と福祉制度 ・高齢者を取り巻く医療制度 【事前学習：高齢者の社会制度がどのように変化してきたのかテキストを中心に学習する】【事後学習：事前学習と授業から高齢社会の課題に視点を置き復習する】	袖山　悦子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学概論	授業科目番号	2312080
担当者氏名	袖山　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	高齢者と社会制度②	・介護保険制度の成立背景と介護保険制度の概要 【事前学習：介護保険制度についてテキストを読んで臨む】 【事後学習：提示する国家試験過去問に回答しながら解説できるように復習をする】	袖山　悦子
7	5．高齢者を取り巻く社会環境と今日的課題	・高齢者の権利擁護（成年後見制度、日常生活自立支援事業、地域包括支援センターの役割）　　・高齢者虐待と身体拘束 【事前学習：なぜ、高齢者虐待法や権利擁護の制度が必要なのかについて自己の考えをまとめて授業に臨む】【身体拘束の場面から高齢者の権利擁護について看護者としての考えをレポート提出する。提出日：次の授業日、配点10点】	袖山　悦子
8	老年看護学の理念とまとめ	・老年看護学の理念、目的　　・高齢者を支える多職種と看護活動の多様化　　・グループディスカッション「グループが考える人生100年時代をどう生きるか」 【事前学習：超高齢社会となり、老年看護学の役割が質・量ともに拡大していることを自覚して、多職種連携の中で看護職の果たす役割について表現できるようにこれまでの資料やテキストを整理し授業に臨む】	袖山　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論			授業科目番号	2312130
担当者氏名	加固　正子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

子どもとその家族に対する看護援助について健康―健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．小児看護の対象と目的および小児看護の役割について述べることができる。
2．子どもの権利を擁護する視点から、小児の健やかな成長･発達を支援する看護について述べることができる。
3．小児期の成長と発達にそった看護について説明することができる。

《評価の方法》

事前・事後学習課題の提出６回（50%）、定期試験（50%）を総合して評価する。

《テキスト》

『新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論／小児保健』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

授業中に適宜紹介

《履修上の留意点》

小児看護学概論は、小児期の成長発達の理解を基礎にその健康問題についての知識を幅広く学ぶことが求められます。発達心理学（選択科目）の知識を復習し、子どもへの興味と関心をもって学ぶことが大切です。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	小児看護の対象と目的・役割 （子ども中心のケア） 小児看護の場と特徴 （域包括医療、小児看護）	・小児看護の変遷、小児のとらえかたを理解する ・小児看護の目標ー子ども中心のケアを理解する ・小児看護の場の広がりについて理解する 【事後学習】自分自身又は身近な人の小児期の受診や入院の経験について200字内で述べ、自分が考える小児看護の役割について考察する。	加固　正子
2	小児看護・医療における諸統計とその変遷・展望 （小児の医療の変遷、小児専門病院、小児医療福祉関連法律、子どもの権利）	・小児看護・医療における歴史と諸統計を理解する ・小児看護・医療の国際的動向、および課題と展望を思考する ・小児看護・医療関係の法と倫理を理解する 　母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止等法、学校保健安全法等 ・医療における子どもの権利と倫理的配慮について思考する	加固　正子
3	小児保健 （小児期の保健統計、小児保健関連法律、予防接種法、子育て支援）	・小児保健関連法律を理解する ・子育てを保健医療的に支援する法律・制度を理解する 【事前学習】自分自身の予防接種の記録や感染症罹患の記録について、母子手帳や家族からの聞き取りを行い、授業終了時に提出する。	加固　正子
4	小児の特徴と成長・発達 （成長・発達の定義、評価法）	・成長・発達の概念と定義、評価について理解する 【事前学習】テキストを参考に自分の就学前までの成長と発達について（母子手帳などから）調べて、成長と発達の評価について復習し、授業終了時に提出する。	加固　正子
5	胎児期、新生児期、乳児期における成長・発達への看護 （乳児期の養育、生理的社会的発達、発達理論）	・新生児から1歳（乳児期）までの成長・発達の特徴を理解する ・乳児期の看養育方法と看護について理解する 【事後学習】授乳、おむつ交換、抱っこなど乳児の育児体験について200字程度でレポートを提出し、自己の課題を見出す。	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論	授業科目番号	2312130
担当者氏名	加固　正子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	幼児期における成長・発達に応じた看護 (幼児期の生活習慣、自立、幼児と家庭、幼児期の集団生活）	・幼児期成長・発達の特徴について理解する ・幼児期の養育方法と看護について理解する ・集団への適応と準備について理解する 【事後学習】セルフケア理論を参考に、自分またはきょうだいの基本的生活習慣の確立についての振り返りをレポートする。	加固　正子
7	学童期における成長・発達に応じた看護 （学童期のセルフケア、ヘルスプロモーション）	＊幼児期の成長・発達と看護の理解(つづき） ・学童期の成長・発達の特徴を理解する ・学童期のセルフケアの重要性について思考する ・学童期のヘルスプロモーションの重要性について思考する	加固　正子
8	思春期・青年期における成長・発達に応じた看護 （思春期、心理社会的成長・発達）	・思春期・青年期の特成長発達の特徴を理解する ・思春期・青年期の保健医療と看護の役割について理解する ・健康障害と心のケアについて思考する 【事前学習】学童期から青年期に健康障害を経験した闘病記を１冊選んで小児看護の視点から感想文(400字以内）を授業開始時に提出する。	加固　正子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学概論			授業科目番号	2312170
担当者氏名	柳原　眞知子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の地域包括の意義などを学修し、女性へのサポートができるための知識を修得する。

《授業の到達目標》

1．リプロダクティブヘルスの概念や関連した用語が理解し説明できる
2．女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる
3．母子保健の統計や法律から地域包括の意義や役割を説明できる
4．リプロダクティブヘルス/ライツに関連した倫理を説明できる

《評価の方法》

定期試験60%、事前事後学習25%、ミニテスト15%

《テキスト》

1.『母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護』（板倉敦夫 他編　メヂカルフレンド社　2019年）
2.『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修　Medic Media　2018年）

《参考図書》

『系統看護学講座　解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）
『女性の健康と看護』（立岡弓子編著　サイオ出版　2017年）

《履修上の留意点》

・事前学習（ワークブック）を提示するので、授業前に課題を行ってから授業に参加する（自己学習時間は1時間程度）。事前学習は、授業で課題発表で共有する。授業の展開は、授業開始時に提示する
・授業のリフレクション（振り返り）により、不明確なところを復習する

《備考》

事前学習を済ませていなければ、授業の参加は難しい。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	リプロダクティブ・ヘルスと母性看護（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、性と生殖の倫理）	（授業内容）贈る言葉、授業ガイダンス、女性の健康を考える、性と生殖に倫理がなぜ必要か、リプロダクティブ・ヘルスをめぐる概念と用語の定義、性の分化、性の多様性とＬＧＢＴについて理解できる （授業方法）事前学習・春課題のテスト・授業でのまとめ、リフレクション　　事前学習テキスト：17～19，104～218、227～249　＊テキストとは１のテキストを示す	柳原眞知子
2	ウィメンズヘルス１：思春期の特徴（思春期の変化、初経・精通、月経サイクルと月経異常）	（授業内容）思春期の心身の特徴（第二次性徴）とサポート、初経と月経のメカニズム、PMSはじめとする月経異常とケアについて理解できる （授業方法）事前学習・講義、リフレクション。事前学習テキスト：140～147ｐ	柳原眞知子
3	ウィメンズヘルス２：思春期の健康課題（性感染症、摂食障害、若年妊娠と中絶、ＳＴＩ）	（授業内容）性感染症、性感染症の予防と治療の原則、思春期の性感染症の罹患、若年妊娠率と中絶、ＳＴＩ、摂食障害について理解し説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義、リフレクション　事前学習テキスト：147～154ｐ	柳原眞知子
4	ウィメンズヘルス３：成熟期	（授業内容）成熟期の心身の特徴、結婚・子育て・親性の獲得とプロセス、家族計画・避妊について理解し、説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・リフレクション・ミニテスト。事前学習テキスト：158～167ｐ	柳原眞知子
5	ウィメンズヘルス４：成熟期の健康課題（不妊、家庭内暴力、児童虐待）	（授業内容）　成熟期の健康課題：出世前診断、不妊症、生殖器の疾患、家庭内暴力、児童虐待について理解し説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・リフレクション　事前学習テキスト：　169～174ｐ、276～285ｐ	柳原眞知子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学概論	授業科目番号	2312170
担当者氏名	柳原　眞知子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ウィメンズヘルス５：更年期（更年期、閉経、更年期障害）	（授業内容）更年期の心身の特徴と健康課題：閉経のメカニズム、　閉経による心身の変化、更年期障害、更年期女性のサポートについて理解し説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義、授業のまとめ、リフレクション　事前学習テキスト：176～200ｐ	柳原眞知子
7	周産期医療システムと母子保健施策１（母子に関する法律）	（授業内容）周産期医療の現状を理解し、女性を養護する法律の種類と内容を説明できる （授業方法）事例検討をグループで行い発表する、ミニテスト、リフレクション　　事前学習テキスト：88～121ｐ	柳原眞知子
8	周産期医療システムと母子保健施策２（母子保健統計）	（授業内容）前授業に引き続き、母子の法律とのし保健統計を行う。援助論に向けて周産期の女性と家族形成について理解を深める （授業方法）講義・リフレクション・ミニテスト　　事前学習テキスト：88～121ｐ	柳原眞知子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	斎藤　まさ子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1．現代社会と精神看護の役割について説明できる
2．心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる
3．精神医療の歴史や看護の倫理について説明できる。
4．地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《評価の方法》

定期試験70%、学習態度20%（授業中の発言や参加度をもとに評価する）、提出物10%（事前配布の課題・各回配布の課題）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

『看護のための精神医学』（中井久夫、山口直彦著　医学書院　2004年）
『看護における危機理論・危機介入』（小島操子著　金方堂　2018年）

《履修上の留意点》

①提示した事前学習に関する知識があるものとして授業を進めます。
②創造性、疑問を持つこと、活発な意見交換を大切にします。
③精神医療や心の健康に注目して新聞やニュース等をみましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神看護学の役割（現代社会とメンタルヘルス、精神医療の現状、精神障がい）	精神医療の現状と課題、精神障がい者の生きにくさを知り、看護の役割についてグループワークで討議する。 （予習）精神看護学①p2-23を読み、概要をノートにまとめる。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
2	精神の健康、障がいのとらえ方（精神の健康と障がい、ICF）	WHOの精神の健康の基準や国際生活機能分類ICFをもとに、精神の健康と障がいを事例をとおして考える。 （予習）精神看護学①p26-38を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
3	ストレスと危機・適応（ストレス、コーピング、心的外傷、リカバリー、レジリエンス）	ストレスと健康の危機、心的外傷が精神の健康に及ぼす影響や回復を支える力についてグループで考える。 （予習）精神看護学①p38-53を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
4	心のしくみと人格の発達(1)（心の諸活動：意識と認知、感情、学習、心の理論等）	看護にとって重要な人間の様々な心のはたらきについて学習する。 （予習）精神看護学①p54-68を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
5	心のしくみと人格の発達(2)（人格と気質、ライフサイクル、フロイトの精神力動論等）	フロイト、エリクソンなどが提唱した諸理論を理解し、心のしくみと人格の発達について学習する。 （予習）精神看護学①p70-102を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	斎藤　まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	関係の中の個人、全体としての家族（コミュニケーションのゆがみ、IP,システム）	家族システムの考え方、家族の精神の健康と諸問題について学び、グループ討議をとおして理解を深める。 （予習）精神看護学①p108-128を読み事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
7	精神医療の歴史（わが国と欧米諸国、人権、看護の倫理綱領）	わが国、欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、精神医療の現状、人権、倫理、これからの課題を考え発表する。 （予習）精神看護学①p282-304を読み事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
8	①地域における精神保健（学校、職場のメンタルヘルス） ②リエゾン精神看護	学校や職場における精神保健と看護を学び、事例をとおして深く理解する。また、リエゾン精神看護の概要を学ぶ。 （予習）精神看護学②p323-351を読み事前課題を提出する。 （復習）授業中に提示する課題を提出する。	斎藤まさ子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学概論			授業科目番号	2313020
担当者氏名	飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

《授業の到達目標》

1．在宅看護の歴史と社会的背景をふまえ、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2．在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3．在宅ケアシステムと在宅看護の役割を考え述べることができる

《評価の方法》

定期試験90%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度10%（毎回のコメントシート、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する）

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ　在宅看護論①』（臺有桂 他編　メディカ出版　2019年）　　他、適宜紹介する

《履修上の留意点》

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。
2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	在宅看護の背景 在宅看護の目的・特徴 （地域、社会的背景、QOL、権利擁護）	ガイダンス 在宅看護の歴史と社会的背景を学び、在宅看護の意義を考える。 在宅看護の目的と特徴を学ぶ。 (予習）テキストp2～6を読む。 (復習）1年次で学んだ地域包括ケア論の資料と合わせて、在宅看護の意義を整理する。	飯吉　令枝
2	在宅看護の対象と看護支援１ （小児、在宅療養、家族、養育医療）	小児の在宅療養を支える法・制度と、小児への在宅看護の特徴を学ぶ。 在宅看護における家族への支援について、小児の事例を通して学ぶ。 (予習）「在宅療養」「小児」について調べる。 (復習）テキストp39～50を読む。	飯吉　令枝
3	在宅看護の対象と看護支援２ （難病患者、障害者、精神障害者、倫理、障害者総合支援法、難病法）	難病患者、障害者、精神障害者の在宅療養を支える法・制度と、難病患者、障害者、精神障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。 在宅看護における倫理的対応について学ぶ。 (予習）難病について調べる。 (復習）在宅療養をしている対象者に必要な倫理的配慮についてまとめる。	飯吉　令枝
4	在宅看護の対象と看護支援３ （高齢者、脳血管障害、移行支援、退院支援、継続看護、多職種連携）	高齢者、脳血管障害者の在宅療養を支える法・制度と、高齢者、脳血管障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。高齢者の事例を通して、病院から在宅への継続した看護と多職種連携について考える。 (予習）テキストp28～33を読む。 (復習）移行期支援、多職種連携の意義について整理する。	飯吉　令枝
5	在宅看護の対象と看護支援４ （認知症、権利擁護、在宅ケアシステム）	認知症高齢者への在宅看護の特徴について学ぶ。また、在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源、在宅ケアシステムについて学ぶ。 (予習）「認知症」について、症状とケアについて調べる。 (復習）テキストp100～109を読む。	飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学概論	授業科目番号	2313020
担当者氏名	飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	在宅看護の対象と看護支援５（終末期、看取り、グリーフケア、意思決定支援）	終末期の療養者を支える法・制度と、終末期の療養者への在宅看護の特徴について学ぶ。 (予習）テキストp35～36、p56を読む。 (復習）講義、映像を通して、終末期の在宅看護の課題を考える。 (課題）自分が住んでいる地域にある訪問看護ステーションをHPで調べて次回提出する。	飯吉　令枝
7	在宅看護の概要（訪問看護ステーション、介護保険制度、医療保険制度）	訪問看護の制度や訪問看護ステーションの概要について学ぶ。 (予習）6回目に出した課題について調べる。 (復習）訪問看護と、介護保険制度・医療保険制度について整理する。	飯吉　令枝
8	在宅における看護過程の展開と特徴（看護過程、生活環境、家族、社会資源）	在宅看護における看護過程の特徴を学ぶ。 (予習）テキストp112～137を読む。 (復習）講義を振り返り、在宅看護における看護過程の特徴を整理する。	飯吉　令枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、平澤　則子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。

（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。

（駒形三和子/6回）（平澤則子/6回）対象別の具体的展開方法について講義を行う。

《授業の到達目標》

1．母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
2．母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
3．障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
4．難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　　90%　（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。）

《テキスト》

(1)『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著　医学書院　2018年）
(2)『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論1』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに関心を持って、主体的に学習することを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目　地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母子保健活動① （母子保健法、児童福祉法、健やか親子21、保健指導）	ガイダンス 社会情勢や健康課題をふまえ、母子保健活動の基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 （予習）国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる。 （復習）テキスト(1)p2～13を読む。	飯吉　令枝
2	母子保健活動② （乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査）	乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。また、問診場面の一部を学生同士で演習する。 （予習）乳幼児の成長・発達（4か月児、1歳6か月児、3歳児）について調べてくる。 （復習）テキスト(1)p28-36を読む。乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。	飯吉　令枝
3	母子保健活動③ （未熟児、多胎児、養育医療、育成医療、子どもの虐待）	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 （予習）子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。 （復習）テキスト(1)p42～55を読む。	飯吉　令枝
4	成人・高齢者の健康づくり （健康日本21、健康増進法、高齢者医療確保法、歯科口腔保健法）	成人・高齢者の特徴と社会情勢や健康課題を踏まえ、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業と保健師の役割について学ぶ。 （予習）①自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。 ②レヴェルとクラークの予防の三段階を確認する。 （復習）テキスト(2)p95～105（健康増進対策）を読む。	駒形三和子
5	生活習慣病予防の保健活動 （メタボリックシンドローム、特定健康診査・特定保健指導、がん対策基本法、がん検診、健診(検診)精度管理）	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を再認識し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p60～69（死因の概要）を読み、p404～407（死因順位：年次別、性・年齢階級別）を見る。 （復習）テキスト(2)p90～95（生活習慣病）を読む。	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、平澤　則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法 （特定保健指導対象者の選定と階層化、変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ）	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 （予習）公衆衛生看護学概論の保健指導に関する理論の資料を確認。 （復習）テキスト(1)p78～81を読む。	駒形三和子
7	生活習慣病予防のための保健指導の演習 （生活習慣病予防における保健指導の展開(情報収集,アセスメント,生活指導,事後評価)）	事例をもとに特定保健指導の初回面接を学生同士で演習し、生活習慣病予防における保健師の役割について考察する。 （予習）特定保健指導初回面接の事例を読み、保健師役の時と対象者役の時の具体的なイメージづくりをする。 （課題）演習ワークシートを提出（次回授業開始時に回収）	駒形三和子
8	高齢者の介護予防① （介護保険制度、地域支援事業、認知症予防、介護予防事業の企画・実施・評価）	要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 （予習）自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。 （復習）テキスト(1)p88～91を読む。	駒形三和子
9	高齢者の介護予防② （介護予防事業の実際、認知症の1次予防・2次予防・3次予防）	地域で実際に行われている介護予防事業について、映像や実技をとおして介護予防事業の効果と課題について学び、保健師の役割を考える。 （予習）自分の出身市町村で行われている介護予防事業（認知症予防を含む）についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。 （復習）テキスト(1)p99～112を読む。	駒形三和子
10	障害児者保健福祉活動① （障害児者，ノーマライゼーション，行政施策）	講義で提示する事例をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障害を持つ人の健康・生活上の課題を理解する。 （予習）テキスト(1)(2)を読み、障害の分類、障害児者の定義と障害者数をまとめ資料を準備する。 （復習）テキスト(1)を読み、講義で考えた障害児者の健康・生活上の課題を解決するための行政施策を考える。	平澤　則子
11	障害児者保健福祉活動② （地域支援体制）	事例をもとに、障害児者への支援における地域体制づくりを理解する。 （予習）事例を読み、障害のある個人や家族、集団、組織、地域に対する公衆衛生看護の展開方法を確認し、疑問点を明らかにする。 （復習）テキスト(1)の障害児者保健活動の概念、障害児者を支援する基本をよく読み、講義で考えた事例の支援との類似点、適用性を確認する。	平澤　則子
12	精神保健福祉活動① （精神障害者，地域支援体制，行政施策）	事例をもとに、精神障害者への支援における地域体制づくりを理解する。　（予習）テキスト(1)の精神保健医療福祉の歴史的変遷、精神保健福祉施策と保健活動を読み、人権の視点から我が国の精神保健福祉の特徴を考える。　（復習）テキスト(1)の精神障害者の生活と支援をよく読み、講義で考えた事例の支援との類似性、適用性を考え、精神障害者への支援の考え方を確認する。	平澤　則子
13	精神保健福祉活動② （心の健康づくり，自殺予防）	テキストをもとに、心の健康づくり対策及び関連する施策と、心の健康づくりにおける保健師の役割と活動の展開を理解する。 （予習）厚生労働省ホームページ、自殺対策白書を読み、我が国の若年層の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と公衆衛生看護の課題を考える。 （復習）若年層の自殺予防を目的とした公衆衛生看護の展開を考える。	平澤　則子
14	難病保健福祉活動① （難病，QOL，行政施策）	事前配布事例をもとに、QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を理解する。難病に関連する施策・制度・事業を理解する。　（予習）テキスト(1)の難病の定義と事前配布資料（事例：パーキンソン病を持つ人の生活）をよく読み、難病を持つ人の健康・生活上の課題を考える。 （復習）事前配布事例にとってのQOL、最善の利益とは何かを考える。	平澤　則子
15	難病保健福祉活動② （難病法，地域支援体制）	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、課題を考える。 （予習）事前配布資料（「難病ケア」にみる保健師活動の源泉）をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。 （復習）出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。また、様々な障害を持つ人が安心して暮らすことのできる地域づくりにおいて、当事者から期待される保健師の役割を考える。	平澤　則子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護論			授業科目番号	2313140
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いとを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．災害発生後の看護職の役割が理解でき、述べることができる。
2．災害発生後の心身に受ける影響について具体的な配慮について理解し述べることができる。
3．多職種との連携の必要性が理解でき、述べることができる。

《評価の方法》

定期試験100%

《テキスト》

『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

・新潟県内に発生した主な自然災害について、自分の生まれ育った地域にどのような災害が発生したのか調べておくこと
・授業開始前までに「災害現場でのトリアージと応急処置」を読み付録のDVDも学習し理解して授業に望むこと
・災害が発生した時、関心をもち情報収集すること

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	日本災害史・自然災害 （新潟県　災害史）	（講義）過去の災害について調べ災害多発国日本の歴史を知る。 （予習）特に中越地方で発生した自然災害について調べレポートする。 （復習）予習で不足した部分、授業で学んだ部分を追記する。 リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
2	自然災害の種類 （発生するメカニズムの違い、特徴的疾患、災害医療、災害サイクル）	（講義）災害の種類と特徴的な疾患について学ぶ。自然災害・人的災害・特殊災害の特徴と疾患について理解する。 救急医療と災害医療の相違点、災害サイクルについて理解する。 （予習）テキストから災害時に多い疾患を知る。 （復習）講義配布資料、テキスト内容を整理し理解する。 リフレクションシートで理解したことや不明な点を明確にする。	山﨑　達枝
3	災害看護　① （災害サイクル　急性期）	（講義）災害看護とは、災害看護の定義と特殊性 病院での備えと役割　マニュアル・アクションカードとは 急性期の看護職の役割 （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
4	災害看護　② （避難所・福祉避難所、被災者の健康問題）	（講義）避難所・福祉避難所、被災者に対する安全な環境とは 災害関連死について （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
5	災害看護　③ DVD鑑賞 （要配慮者）	（講義）要配慮者について理解する （DVD鑑賞）いのちのことづけ （予習）要配慮者とはどのような人を言うのか調べてくる。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護論	授業科目番号	2313140
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	講義　精神衛生　① （心的外傷後ストレス障害、心のケア）	（講義）被災者・救援者・遺族へのこころのケア 心身の健康　PTSD・惨事ストレスなど災害後に発生しやすい精神的疾患について （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
7	講義　精神衛生　② （惨事ストレス、地域外からの支援活動）	（講義）被災者・救援者・遺族へのこころのケア 心身の健康　PTSD・惨事ストレスなど災害後に発生しやすい精神的疾患について （講義）多職種・支援グループの紹介 （予習）コロナの期間に大切な人を亡くした方へ　配布資料を読む （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
8	まとめ （被災者のいのちと暮らしを守る）	（グループ討議）災害看護を学ぶことから「生活と生命、看護の本質」に繋げる。 平時にできる減災、地域市民に伝えられるよう企画ができる。 （予習）これ迄学んだことを基本に、看護学生として出来ることを整理しグループ討議に参加する。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑　達枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	歴史と文化			授業科目番号	1105050
担当者氏名	渡邊　克義			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

《授業の到達目標》

1．新潟（長岡）の歴史について説明できる
2．新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3．様々な地域の文化を理解できる

《評価の方法》

定期試験60%、レポート30%、ワーク参加態度（授業中の発言など）10%

《テキスト》

『新潟県の歴史』（中村義隆 他著　山川出版社　2009年）

《参考図書》

授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に紹介する文献（史料）を精読すること。
課題の提出を怠らないこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	郷土史概説① （史料の解読と分析）	縄文時代・弥生時代・古墳時代の郷土の様子を調べる。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
2	郷土史概説② （史料の解読と分析）	在地勢力の成長について調べる。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
3	郷土史概説③ （史料の解読と分析）	郷土の御家人について知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
4	郷土史概説④ （史料の解読と分析）	長尾氏・上杉氏について知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
5	郷土史概説⑤ （史料の解読と分析）	幕藩政治の成立について考える。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	渡邊　克義		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	郷土史概説⑥ （史料の解読と分析）	幕藩政治の展開を知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
7	郷土史概説⑦ （史料の解読と分析）	明治期の郷土について考える。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
8	郷土史概説⑧ （史料の解読と分析）	郷土における大正デモクラシーについて知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
9	郷土史概説⑨ （史料の解読と分析）	太平洋戦争への道程を調べる。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
10	郷土史概説⑩ （史料の解読と分析）	戦後改革について知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
11	郷土概説⑪ （史料の解読と分析）	平成～令和の文化を考える。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
12	郷土の地名 （史料の解読と分析）	地名に潜むメッセージについて分析する。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
13	郷土文化① （史料の解読と分析）	伝統芸能・文化について知る。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
14	郷土文化② （史料の解読と分析）	新潟県文学について考える。 （予習）テキストの該当箇所を読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義
15	新潟県歴史博物館訪問 （史料の解読と分析）	郷土の歴史について遺物・遺産から知る。 （予習）配布プリントを読んでおく。 （復習）ノート整理を行う。	渡邊　克義

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)			授業科目番号	2209050
担当者氏名	伊藤　正一、星野　正			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》
運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（伊藤正一/4回）白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（星野正/4回）骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

《授業の到達目標》
別紙参照

《評価の方法》
〔造血器〕定期試験60%　レポート20%　授業時間内小テスト20%
〔運動器〕定期試験100%

《テキスト》
〔造血器〕『系統看護学講座　成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著　医学書院　2019年）
〔運動器〕『系統看護学講座　成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著　医学書院　2019年）
『系統看護学講座別巻　臨床外科看護総論』（矢永勝彦、高橋則子編　医学書院　2017年）

《参考図書》
〔造血器〕『血液のがん』（木崎昌弘監修　主婦の友社　2020年）

《履修上の留意点》
別紙参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	造血のしくみ 血液の成分と形態・機能 血液疾患の症状と検査 貧血の分類・赤血球指数 貧血の鑑別診断	骨髄と造血幹細胞　　血球の分化 末梢血液検査と正常値 血漿と血清　　血球の増多と減少　汎血球減少症 血液型と輸血　血液製剤 鉄欠乏性貧血の診断と治療　再生不良性貧血　巨赤芽球性貧血　溶血性貧血	伊藤　正一
2	造血器腫瘍 抗がん剤(化学療法）と副作用 造血幹細胞移植（骨髄移植） 支持療法（無菌室）	造血器腫瘍の分類と診断・治療　　治療理念と治療計画 急性白血病：骨髄性、リンパ性　　FAB分類　WHO分類 骨髄異形成症候群	伊藤　正一
3	造血器腫瘍 造血器腫瘍の診断と治療 分化誘導療法と分子標的療法	慢性白血病：骨髄性、リンパ性 骨髄増殖性腫瘍：多血症　血小板血症　骨髄線維症 悪性リンパ腫の分類と診断治療 骨髄腫とマクログロブリン血症	伊藤　正一
4	出血性素因 止血機構 血管性出血性疾患 血小板減少症 血液凝固異常症 血管内凝固症候群（DIC）	止血・血栓形成の機序　　出血性素因の検査 アレルギー性紫斑病 特発性血小板減少性紫斑病（ITP）と血栓性血小板減少性紫斑病（TTP） 血友病ＡとＢ、フォンーヴィルブランド病、その他の先天性凝固異常症 血管内凝固症候群（DIC）の基礎疾患、診断、治療	伊藤　正一
5	運動器の構成 （運動器の異常、ロコモーティブシンドローム）	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 （予習）運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	授業科目番号	2209050
担当者氏名	伊藤　正一、星野　正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	運動器の診断、検査、治療（画像診断、保存的治療、手術療法）	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 （予習）運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
7	骨粗鬆症と関連疾患（診断、骨脆弱性骨折診断、治療）	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 （予習）骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
8	麻酔法（麻酔の目的、麻酔法の種類）骨折と治療法	整形外科領域の麻酔と骨折について講義形式で学習する。 （予習）麻酔法、骨折についてテキストを読み、理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅳ（造血器・運動器）　シラバス別紙

授業の到達目標

〔造血器〕造血のメカニズムとその異常を学ぶ。鉄欠乏性貧血など日常的な血液疾患から、急性白血病など専門性の高い疾患までの病態を理解する。血液疾患の診療は、医学の進歩が導入され易く、輸血や骨髄移植、抗がん剤化学療法、感染症治療のほか、分子標的治療・免疫療法など、最新の知識と理解が必要である。

〔運動器〕1. 運動器の構成を理解し、運動器疾患の検査、診断、治療を理解し説明できる。　2. 骨粗鬆症とそれに関連する障害について理解し、説明できる。　3. 麻酔法の種類について理解し説明できる。

評価の方法

〔造血器〕定期試験60％　レポート20％　授業時間内小テスト20％

〔運動器〕定期試験100％

テキスト

〔造血器〕『系統看護学講座　成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著　医学書院　2019年）

〔運動器〕『系統看護学講座　成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著　医学書院　2019年）

『系統看護学講座別巻　臨床外科看護総論』（矢永勝彦、高橋則子編　医学書院　2017年）

参考図書

〔造血器〕『血液のがん』（木崎昌弘監修　主婦の友社　2020年）

履修上の留意点

〔造血器〕多くの血液疾患のエッセンスをまとめた「血液・造血器講義ノート」を配布予定です。限られた時間数の講義では、主要疾患に絞りますので、その他の疾患はノートとテキストを用いての予習・復習を充分に行ってください。造血器腫瘍では、治療法選択の意思決定支援や多職種連携の必要性についても学びましょう。

〔運動器〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)			授業科目番号	2209060
担当者氏名	三木　健司、渡部　和成			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（三木健司/4回）様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。
（渡部和成/4回）精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

《授業の到達目標》

〔脳神経〕将来チーム医療の一員として、診断／治療方針について討論が出来る。そのためには、医学における共通言語の認知と理解が必須である。暗記を要することが多くなると思われる。しかし、英単語を知らずして英語で討論出来ないのと同様に、最低限の医学知識なしに討論は不可能である。奮闘を期待します。
〔精神〕精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

《評価の方法》

〔脳神経〕定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価）　100%
〔精神〕定期試験100%

《テキスト》

〔脳神経〕『系統看護学講座　成人看護学[7] 脳・神経』（井手隆文 他著　医学書院　2019年）
〔精神〕『系統看護学講座　精神看護学[1]精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

〔脳神経〕指定しない
〔精神〕『わかった！統合失調症のベスト治療』（渡部和成著　星和書店　2018年）

《履修上の留意点》

〔脳神経〕網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。
〔精神〕科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	１．脳／神経の構造と機能 ２．症状と病態生理	１．神経系の解剖（中枢神経／末梢神経／自律神経）を理解し、その構造と役割を理解する。２．神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。	三木　健司
2	３．検査／診断と治療／処置	３．神経疾患患者の診察に置いて、問診／病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。　神経疾患の治療法を内科的治療法／外科的治療法について理解する。	三木　健司
3	４．疾患の理解１（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。　（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	三木　健司
4	５．疾患の理解２（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。　（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	三木　健司
5	精神医療・精神看護心得（精神医療総論）	①精神の病と社会、②精神医学の歴史、③精神医療とは、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	授業科目番号	2209060
担当者氏名	三木　健司、渡部　和成		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	統合失調症及び近縁疾患（知覚と思考の病気）	①統合失調症とは、②近縁疾患について、の２テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。参考図書を読み最先端の臨床に触れることもして欲しい。	渡部　和成
7	気分障害及び神経症性障害（気分と不安の病気）	①うつ病、②双極性障害、③神経症、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
8	パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、依存症、認知症BPSD（注意すべき病気）	①パーソナリティ障害の種類、②BPD、③発達障害、④摂食障害、⑤依存症、⑥認知症の種類とBPSD、の６テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健統計学			授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○4-1 看護学を探究する意欲，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1．保健医療の現場での問題解決力を養うために、基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈の仕方を習得する。
2．保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1〜2枚程度

《テキスト》

『標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学』（牧本清子 他著　医学書院　2015年）
『国民衛生の動向　2020/2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『統計学が最強の学問である』（西内啓著　ダイヤモンド社　2013年）
その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際にデータを触って知識を定着させること、またニュースやネット等でも統計に関する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健統計学概論 （医療情報の利活用、健康情報の見極め方）	授業ガイダンス 統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼できる健康情報の見極め方を習得する。 （予習）テキストpp107-108を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	基本的な統計データの読み方 （尺度、基本統計量、相関と回帰、母集団、疫学的因果関係）	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計データを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 （予習）テキストpp109-123、138-141を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	人口統計① （人口ピラミッド、将来推計人口、国勢調査）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
4	人口統計② （出生率、死亡率、死因統計、生命表、平均寿命、健康寿命）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
5	保健医療に関わる基幹統計① （国民生活基礎調査、社会生活基本調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp85-91を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	保健医療に関わる基幹統計② （患者調査、医療施設調査、学校保健統計調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp205-209、219-225、380-381を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
7	厚生労働統計 （国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告、全国在宅障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告）	保健医療に関わる基礎的な統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp160-163を読む。事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
8	疾病・障害の定義と分類／医療経済統計 （国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費）	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp164-168を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
9	医療情報に関する法令・指針・原則／活用可能なデータベースの基本 （個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画）	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 （予習）テキストpp170-182を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読、また講義で紹介するウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。	鈴木　翼
10	保健医療分野での地理情報システム(GIS)の活用 （地理情報システム(GIS)、空間的思考）	保健医療はじめ各分野で急速に利活用が進む地理情報システムについて、その概要や利点を学び、データを空間的に捉える考え方を理解する。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・資料を再読、また講義で紹介するウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。	鈴木　翼
11	保健統計各論① （地域保健と統計、災害・救急医療と統計）	地域保健（生活習慣病、高齢者保健、介護保険等）や、災害・救急医療に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	保健統計各論② （がんと統計、感染症と統計、学校保健と統計）	がん、感染症、学校保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	保健統計各論③ （精神保健と統計、母子保健と統計、産業保健と統計）	精神保健、母子保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	グループワーク （医療情報の利活用）	小グループに分かれ、提示する課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行い、学生間のディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習）1～13回までの資料を読み返す。	鈴木　翼
15	発表会・まとめ （医療情報の利活用）	グループワークの結果を全員の前で発表し、その内容をもとに全体でのディスカッションを行う。 一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に統計をどのように活用するか考えを深める。 (予習）保健医療現場での統計の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	疫学			授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学の概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学の概念と考え方を習得する。
2．疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
3．各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1～2枚程度

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学』（日本疫学会監修　南江堂　2018年）

《参考図書》

『基礎から学ぶ楽しい疫学』（中村好一著　医学書院　2020年）
『疫学 医学的研究と実践のサイエンス』（木原正博ら訳　メディカルサイエンスインターナショナル　2010年）

《履修上の留意点》

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことを期待します。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	疫学概論 （疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係）	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方について理解する。 （予習）テキストpp1-12を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	疾病と曝露の指標① （割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比）	疫学で頻用する用語（割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp13-22を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	疾病と曝露の指標③ （相対危険と寄与危険、オッズ比）	疫学で頻用する用語（相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp23-38を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
4	疫学調査法① （集団の設定、記述疫学、生態学的研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp39-53を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
5	疫学調査法② （症例対照研究、コホート研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp54-66を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	疫学調査法③ （介入研究、システマティックレビュー）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp67-82を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
7	疫学調査法④ （バイアス、交絡因子）	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp83-94を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
8	スクリーニング （感度、特異度、検査の信頼性）	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp95-100を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
9	疫学調査の実際 （調査法の種類、質問紙の作成）	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp101-105を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
10	各論① （生活習慣病の疫学、難病の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
11	各論② （がんの疫学、母子保健の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	各論③ （感染症疫学、栄養疫学、運動疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	各論④ （社会疫学・政策疫学、臨床疫学、災害の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	計算問題演習	第1～13回までに扱った各種疫学指標について、計算問題演習を通じて理解を深める。 （予習）第1～13回の講義資料等を振り返って置く。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 (予習）保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅲ			授業科目番号	2311050
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、罨法、創傷管理、危篤・死亡時の看護について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

《授業の到達目標》

1．対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、安全に実施するために必要な基本的知識を述べることができる。
2．診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を実施できる。

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

1.『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』（志自岐康子編　メディカ出版　2017年）
2.『写真でわかる臨床看護技術①　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）
3.『写真でわかる臨床看護技術②　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実施可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	診療に伴う看護技術（検査、治療・処置） 症状・生体機能管理技術（検体検査、生体情報、モニタリング）	・科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 ・検査の種類・検査時の援助 ・検体検査、静脈血採血 ・生体情報のモニタリング ・採血用ホルダー・真空管採血針のセット・ME機器の取り扱い （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
2	検体の採取（静脈血採血） 与薬の技術（薬物療法、薬物動態、薬剤の種類、注射法、皮下注射）	【演習】静脈血採血　尿試験紙検査　動脈血酸素飽和度（SpO_2）モニターによる測定 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・与薬のための基礎知識 ・注射の技術：注射の準備、皮下注射	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
3	与薬の技術（筋肉注射、静脈注射）	・注射の技術：筋肉注射、静脈注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
4	注射の実際（皮下注射）	【演習】注射の準備、皮下注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
5	注射の実際（筋肉注射、点滴静脈注射）	【演習】筋肉注射、点滴静脈注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習III	授業科目番号	2311050
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	輸液ポンプ・シリンジポンプによる輸液管理（輸液管理、輸液ポンプ、シリンジポンプ） 安全を守る技術（医療安全、安全管理対策）	・輸液ポンプ、シリンジポンプによる輸液管理　　・輸血 （予習）事前に提示された課題に取り組む 【演習】輸液ポンプ、シリンジポンプ （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・医療安全の概念、安全を脅かす要因、安全管理対策 ・主な医療事故と予防対策	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
7	安全を守る技術（医療事故、事故対策）	【演習】 ・医療事故、対策の調べ学習 ・転倒、転落、誤嚥、誤薬、チューブ類抜去の事故対策 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
8	呼吸を整える援助技術（呼吸の生理的メカニズム、呼吸のニーズ）	・呼吸を整える援助の基礎知識、効果的な呼吸方法 【演習】酸素吸入療法一時的吸引、吸入 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
9	呼吸を整える技術（酸素吸入療法、一時的吸引、吸入） 皮膚・創傷を管理する技術（皮膚の構造と機能、創傷の分類）	【演習】酸素吸入療法、一時的吸引、吸入 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・皮膚・創傷を管理するための基礎知識、褥瘡の管理 （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
10	皮膚・創傷を管理する技術（創傷処置） 体温を調節する技術（体温調節の生理的メカニズム、罨法）	【演習】創傷処置、包帯法 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・体温調節の生理的メカニズム・罨法の種類と適応	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
11	体温を調節する技術（温罨法、冷罨法）	【演習】温罨法、冷罨法 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
12	安楽を確保する技術（安楽の意義、指圧、マッサージ）	・安楽の意義、指圧、マッサージ 【演習】指圧、マッサージ （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
13	死の看取りの看護（危篤・終末期の定義、死の受容プロセス） 看護過程状況設定演習	・死にゆく人と周囲の人々へのケア ・死亡の動向と場所 ・危篤、終末時の生理的変化とケア、死後の処置 ・事例に対する看護過程の展開を行う	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
14	看護過程状況設定演習	事例に対する看護過程の展開を行う	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
15	技術確認	演習で行った看護技術の中から選び技術習得度を評価する	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2311080
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

疾病や障害を持ち、生きることとはどういうことかといった問いを対象者の立場になって学ぶ実習である。療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。共感や寄り添った看護を科学的根拠を持って実践することで看護を実感し、看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を修得する。

《授業の到達目標》

1．受け持ち患者と援助的人間関係を築くことができる。　2．健康上の問題が日常生活行動に与える影響を述べることができる。　3．日常生活行動に関するニーズに沿った援助が計画できる。　4．計画に基づき、安全・安楽・自立性に配慮した援助を実施することができる。　5．実施した看護援助を評価し、看護計画の追加・修正の必要性を考えることができる。　6．実習を通して責任ある行動・態度を修得できる。

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習態度、実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

《テキスト》

《参考図書》

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。　常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。　実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：２週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	倉島　幸子 他
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2311080
担当者氏名	倉島　幸子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅲ			授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。
成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について理解する。
2．事例をとおして機能障害における看護実践を学ぶ。

《評価の方法》

定期試験60%、レポート20%、演習参加態度20%

《テキスト》

1.『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編　ヌーヴェルヒロカワ　2011年）
2.『ＮＡＮＤＡ-I看護診断 定義と分類 2021- 』（Ｔ．ヘザー・ハードマン、上鶴重美著　医学書院　2021年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み （看護過程）	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 （予習）看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 （復習）パターンの枠組みの内容について	広井　貴子 目黒　優子
2	看護診断の特徴と看護過程 （看護診断）	看護診断の特徴と看護過程 （予習）看護過程の構成要素についてまとめておく （復習）看護診断の特徴について整理する	目黒　優子 広井　貴子
3	ＮＡＮＤＡ－I看護診断 （ＮＡＮＤＡ－I看護診断、共同問題）	ＮＡＮＤＡ－I看護診断、共同問題 （復習）ＮＡＮＤＡ－Ｉの領域（ドメイン）と類（クラス）について整理する	目黒　優子 広井　貴子
4	ＴＢＬ【Team-Bssed-learning:チーム基盤型学習】：個人事前テスト・チーム事前テスト、チーム検討 （糖尿病）	個人・チーム事前テストを行う：糖尿病に関する基礎的知識 チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーションの実施計画を立てる （予習）フィジカルイグザミネーションについてまとめておく （復習）個人・チーム事前テストで間違えた個所を調べておく	目黒　優子 広井　貴子
5	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論III	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子
7	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
8	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
9	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	事例（変形性股関節症　人工股関節置換術を受けた人）の説明 術後の看護を事例を通して考える （予習）変形性股関節症　人工股関節置換術 （復習）術後の身体的・精神的変化	広井　貴子 目黒　優子
10	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
11	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
12	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
13	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
14	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子
15	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312090
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びと、加齢に伴う心身機能の変化と老年期のアセスメントの特徴、加齢と健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。高齢者に特徴的な健康問題の事例から高齢者の身体的・精神的・社会的特徴をふまえたアセスメントを行い、高齢者のＱＯＬ向上に向けた看護の方向性を考える力を養う。また、高齢者の家族や配偶者との関係や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、倫理的課題について考察する。

《授業の到達目標》

1．高齢者の生活機能・日常生活行動のアセスメント方法が述べられる。　2．高齢者に特徴的な疾患と看護が説明できる。
3．高齢者の倫理上の課題について討議し自己の意見が述べられる。　4．高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。　5．高齢者の日常生活を支える看護が説明できる。　6．治療・介護を必要とする高齢者の家族への看護の必要性が述べられる。

《評価の方法》

レポート(20%)、定期試験（80%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）【前期購入済】
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）【前期購入済】

《参考図書》

『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著　メディカ出版　2017年）
ほか授業で資料配布、参考図書紹介

《履修上の留意点》

シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をし、配布されたプリント及び授業時に提示された参考文献等を参照して事後学習する。なお、レポートについては、形式・提出期限等、別途説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 1．老年看護の基本技術 ヘルスアセスメント	授業概要、評価方法 ①ヘルスアセスメントの枠組み ②高齢者総合機能評価 ③感覚器系の加齢変化とアセスメント 【事前学習：高齢者のヘルスアセスメント、視覚・聴覚・皮膚の解剖生理】　【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
2	2．老年者に特徴的な疾患と看護①　（脳神経・循環器系）	①脳・神経系の老化、循環器系の老化 ②老年期の脳血管疾患（脳卒中）と看護 ③老年期の循環器系疾患（高血圧・心不全）と看護 【事前学習：脳神経・循環器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	角山裕美子
3	老年者に特徴的な疾患と看護②（認知症）	①認知症増加の背景、認知症の診断と治療、認知症の評価と看護 ②BPSD、うつ、せん妄など、高齢者に起こりやすい心理状態 【事前学習：テキスト1. p282～316を読む】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
4	老年者に特徴的な疾患と看護③（歯口腔器・消化器系）	①歯口腔器・消化器系の老化 ②老年期の歯口腔（う蝕・歯周病）・消化器（逆流性食道炎・腸疾患）と看護 【事前学習：歯口腔系・消化器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	角山裕美子
5	老年者に特徴的な疾患と看護④（呼吸器、腎泌尿器系）	①呼吸器系の老化、泌尿器系の老化 ②老年期に起こりやすい呼吸器疾患（肺炎・慢性閉塞性肺疾患）と看護 ③老年期に起こりやすい腎・泌尿器疾患（尿路感染症・前立腺疾患）と看護 【事前学習：呼吸器系・腎泌尿器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312090
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	老年者に特徴的な疾患と看護⑤（運動器）	①運動器系の老化 ②高齢者に起こりやすい運動器疾患（骨粗しょう症・大腿骨頸部骨折・変形性膝関節症）と看護 【事前学習：運動器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	角山裕美子
7	老年者に特徴的な疾患と看護⑥（皮膚疾患）	①老年期に起こりやすい皮膚疾患（褥瘡・疥癬）と看護 ②老年期の感染症(MRSA・ノロウイルス・インフルエンザ）と看護 【事前学習：感覚器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
8	老年者に特徴的な疾患と看護⑦（低栄養） 3．高齢者の倫理上の課題①人工的水分・栄養	①老化よる栄養・食事の変化と栄養障害 ②低栄養(嚥下障害含む）、脱水、窒息 ③高齢者の人工的・水分栄養についての倫理的課題 【事前学習：栄養に関する倫理的課題について調べる】 【事後学習：本日の授業の要点をまとめる】	袖山悦子
9	②抑制における倫理的課題(身体拘束体験）	①抑制体験について演習を実施する。方法については授業で提示する。 【事前学習:1年次の高齢者虐待と身体拘束の復習】 【事後学習：人工栄養および身体拘束の学びをレポートにまとめる】配点10点	袖山悦子 角山裕美子
10	4．高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。	①検査における留意点と看護 ②検査・手術時の看護 ③薬物療法と看護 ④高齢者の入院時の看護 【事前学習：テキスト1．p318～333を読む】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
11	5．日常生活を支える看護 ①活動と休息	①高齢者に特徴的な生活リズムの変化と看護 ②高齢者と生活リズム、睡眠と覚醒の変化、生活リズムのアセスメント 生活リズムを整える看護（事例から、高齢者の生活リズムを整える看護について意見交換をし、共有する。） 【事前学習：自分の生活リズムと高齢者の生活リズム】 【事後学習：本日の復習】	袖山悦子
12	②起立・歩行	①老年症候群と看護 ②事例の起立・歩行障害のアセスメントと看護(講義後にグループ学習をして発表する） 【事前学習：高齢者の起立・歩行障害について事前学習して臨む】 【事後学習：意見交換で自己の不足を補足する】	袖山悦子
13	6．高齢者を支える高齢者の家族の看護	①家族とは　　②高齢者と家族の関係の変化 ③高齢者・高齢者家族を取り巻く社会資源（多職種連携含む） 【事前学習：家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成、テキスト1．p373～382を読む】 【事後学習：復習】高齢者の生きてきた時代背景についてグループワークの説明	袖山悦子
14	高齢者の生きてきた時代背景（グループワーク）	65歳～100歳までの高齢者が生きてきた時代について調べ学習をし、年表を作成する。グループごとに年代を分け、グループ内で役割分担し、協力して完成させる。方法等の詳細については1回目授業時に提示する。	袖山悦子
15	高齢者の生きてきた時代背景の発表 まとめ	・資料はA４用紙に、年代、社会情勢などを記載し、学生人数分作成する。 ・発表はパワーポイントを用いて行う。 ・配点10点とする。	袖山悦子 角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312140
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

小児期に特徴的な疾患や障害に対する看護について学ぶ。特に、小児期の発病や障害の発症が小児の成長・発達や日常生活にどのような影響を及ぼすのかについて、具体的な事例を交えながら学ぶ。
（加固正子/7回）慢性的な疾患のために長年にわたり治療を受け続けなければならない場合、そして身体的変化や限りある命と向き合いながら治療を受ける子どもとその家族に対する看護などを具体的事例をとおして学ぶ。また、手術を受ける子どもの看護について学ぶ。
（沼野博子/4回）急激な発病、診断にともない侵襲的な検査や治療を受ける子どもとその家族の看護について学ぶ。
（伊藤文子/4回）先天的な障がいをもって生まれた子どもとその家族の看護について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．子どもの健康問題の病態生理、症状、検査、治療を成長・発達的特徴と関連させ理解できる。
2．健康問題が子ども・家族の心身・社会・発達に及ぼす影響を理解できる。
3．目標1・2を踏まえ、適切な看護援助を説明できる。

《評価の方法》

小テスト20%、事前・事後課題20%、定期試験60%

《テキスト》

『新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

『系統看護学講座　小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（奈良間美穂 他著　医学書院　2020年）
『ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護』（中野綾美編　メディカ出版　2019年）

《履修上の留意点》

事前学習課題に取り組み受講すること。講義に対応するテキストを熟読し理解しておく。疑問点は講義中・後に確認し明確にすること。事後学習課題は講義内で説明する。講義内容の理解を確認するために、講義開始前に小テストを行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	子どもにみられる主な症状と看護（発熱・不機嫌・啼泣・発疹・小児感染症）	子ども（乳幼児）に見られる主な症状と看護について理解する 感染隔離状況にある子どもとその家族の看護について理解する 【事後課題】小児感染症と症状などについての表を作成する	加固　正子
2	急性期の子どもと家族の看護（呼吸困難、チアノーゼ・ショック、川崎病、ファロー四徴症）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（ファロー四徴症、川崎病）	伊藤　文子
3	急性期の子どもと家族の看護（嘔吐・下痢・脱水症状、ホームケア）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（腸重積、ヒルシュスプルング病、ウイルス性胃腸炎、幽門狭窄症）	沼野　博子
4	子どもの意思決定のための心理的支援（プリパレーション、子どもの医療体験と理解、子どもの権利擁護）	病気・治療・検査に関する子どもの理解や医療体験を踏まえ、プリパレーションの必要性・方法を理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（子どもの権利条約、インフォームドアセント）	加固　正子
5	周術期における子どもと家族の看護（苦痛緩和、術後合併症予防、機能獲得に向けたセルフケア支援）	手術を受ける子どもと家族の術前・術後看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（口唇口蓋裂、鎖肛、食道閉鎖）	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312140
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	慢性疾患のある子どもと家族の看護（化学療法、副作用に対する症状マネジメント、セルフケア支援、復学支援）	小児がんの子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（小児がん、小児白血病、骨髄穿刺、化学療法）	沼野　博子
7	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護（ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、浮腫、ステロイド副作用、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎臓病）	伊藤　文子
8	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護（糖尿病、低血糖,ケトーシス、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（1型・2型糖尿病）	伊藤　文子
9	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護（気管支喘息、食物アレルギー、呼吸困難、アナフィラキシーショック、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（気管支喘息、食物アレルギー）	伊藤　文子
10	救急処置が必要な子どもと家族への看護（けいれん、意識障害、ショック、髄膜炎）	救急処置を必要とする子どもトリアージについて理解する 髄膜炎疑いの小児の事例をとおして、救急受診から治療中の看護までを理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（頭部解剖図の名称、脳脊髄液の生成と流れ）	加固　正子
11	不適切な養育と子どもの健康障害（児童虐待の分類とリスク因子、熱傷、頭部外傷、揺さぶられっこ症候群）	不適切な養育と子どもの健康障害について理解する 【事後学習】児童虐待事例の状況設定問題について調べ学習を行う	加固　正子
12	心身障がいのある子どもと家族の看護（発達障がい、重症心身障がい児、医療的ケア、育児支援、家族支援）	心身障がいのある子どもと家族の看護とそれにかかわる多職種連携と看護職の役割について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（重症心身障害、発達障害）	加固　正子
13	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護（障害受容、意思決定、発達支援）	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う(遺伝子異常、染色体異常、ダウン症候群)	沼野　博子
14	ハイリスク新生児と家族の看護（低出生体重児　NICU　ディベロップメンタルケア　退院支援　医療的ケア児)	低出生体重児の成長・発達を支える看護について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う(新生児・ハイリスク新生児の生理的特徴、NICUについて)	沼野　博子
15	小児外来における子どもと家族の看護（外来におけるトリアージ、感染症対策、初期対応、受診時の緊張と不安に対する援助、健診、育児相談）	外来受診する子どもと家族の援助と外来看護の果たす役割について理解する 【事前学習】配布された事前学習を行う（外来トリアージ）	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312180
担当者氏名	髙島　葉子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的変化を理解できる。
2．周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる。
3．周産期にある女性および新生児の生理的変化に対する看護援助の方法を述べることができる。
4．周産期各期および新生児の正常逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる。

《評価の方法》

事前学習・事後学習などの提出物20%（提出50%、内容50%）、小テスト40%（妊娠期1回、分娩期1回）、定期試験40%（産褥・新生児期）の総合点で評価する。総合点が60点未満は再試験の対象とする。詳細は授業開始日に説明する。

《テキスト》

1.『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2021年）
2.『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患（改訂2版）』メディカ出版　　『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理（改訂2版）』メディカ出版　　『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』メディックメディア

《履修上の留意点》

・事前学習（ワークブック周産期編）を提示するので、授業前に課題を行ってから授業に参加する（自己学習時間は1時間から1時間半）。事前学習は、授業で課題発表等で共有する。
・前期で学んだ母性看護学概論の既習知識と関連づけながら積極的に学んでほしい。また、不明確なところは復習する。

《備考》

・リアクションペーパーへの記入への返答や直接的な疑問・質問などは時間の許す限りお答えします。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	妊娠期の看護① (妊娠の成立，胎児の発育)	授業ガイダンス 妊娠の定義，女性生殖器を踏まえた妊娠の成立過程，妊娠の診断検査，胎児の心身の発育と特徴 グループワーク（妊娠期の健康を保つための援助）の説明 ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ	髙島　葉子
2	妊娠期の看護② (妊婦の身体的・心理的・社会的特性)	妊娠による母体の変化，妊婦・家族の心理社会的特徴，妊娠の経過に伴う胎児の変化，妊娠と薬と放射線と環境汚染物質 グループワーク（妊娠期の健康を保つための援助）の発表（前半） ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
3	妊娠期の看護③ (妊婦・胎児，家族のアセスメントと看護)	妊婦と胎児のアセスメント，基礎的情報のアセスメント，妊婦の健康診査，母子健康手帳，日常生活に関するアセスメント，胎児の発育と健康状態の診断 グループワーク（妊娠期の健康を保つための援助）の発表（後半） ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
4	妊娠期の看護④ (妊婦の異常と看護)	妊娠期の異常（ハイリスク妊娠，感染症，妊娠高血圧症候群，妊娠糖尿病等），ハイリスク妊娠（甲状腺機能亢進症，SLE，てんかんなど），妊娠期の感染症，高血圧症候群，糖尿病と妊娠糖尿病，切迫粒早産，常位胎盤早期剥離，前置胎盤，双胎，精神障害 ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
5	小テスト（妊娠期） 分娩期の看護① (分娩の経過)	小テスト（妊娠期）30分 正常分娩の経過：分娩期の定義，分娩の経過 バースプランについて ＊視聴覚教材によってイメージしながら学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312180
担当者氏名	髙島　葉子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	分娩期の看護② (産婦と胎児の健康状態)	分娩の３要素（娩出力：陣痛・腹圧，産道：軟産道・骨産道，娩出物：胎児・胎児付属物） 分娩経過（分娩第１期～第４期） ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
7	分娩期の看護③ (産婦・胎児，家族のアセスメントと看護)	分娩が母体・胎児に及ぼす影響，胎児モニタリング 産婦と家族の看護（産婦のニード，分娩第１期の看護の実際，分娩第２期の看護の実際，分娩第３期，４期の看護の実際），産痛の緩和に対応した看護，産婦と家族の心理への看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
8	分娩期の看護④ (産婦の異常と看護)	分娩期のハイリスクおよび異常（狭骨盤，CPD，子宮破裂，微弱陣痛・過強陣痛，胎児の異常，前置胎盤，常位胎盤早期剥離，臍帯の異常，胎児機能不全，前期破水）の状態にある産婦の看護，産科処置・産科手術（帝王切開）と看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
9	小テスト（分娩期） 産褥期の看護① (産褥期の身体的・心理的・社会的特性)	小テスト（分娩期）30分 産褥期の定義，産褥期の身体的変化（退行性変化：全身の変化，生殖器の変化，分娩による損傷，進行性変化：乳房の変化，褥婦と家族の心理・社会的変化），産褥期の身体的・心理社会的変化 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト	髙島　葉子
10	産褥期の看護② (褥婦のアセスメント)	産婦のアセスメント項目，退行性変化（生殖器の復古，全身状態の回復，退行性変化に影響する因子）のアセスメント，進行性変化と母乳育児に関するアセスメント，心理的変化と母親への適応過程のアセスメント，家族の適応過程のアセスメント，退位後の生活・社会環境のアセスメント ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
11	産褥期の看護③ (褥婦と家族の看護)	退行性変化を促すための看護(褥婦の日常生活とセルフケア，食生活の教育)，進行性変化と母乳育児への看護，母親になることへの看護(育児技術獲得への支援，母親役割獲得への支援，母乳育児支援，バースレビュー)，家族関係再構築への看護，母子の愛着形成の支援，家族の再調整 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
12	産褥期の看護④ (産褥の異常と看護)	退行性変化に関連する異常（子宮復古不全，産褥熱，尿路感染症），進行性変化に関連する異常（乳房・乳頭トラブル，乳腺炎等），妊娠・分娩に関連する異常（産褥血栓症，感染症褥婦），心理・社会的側面に関する異常（産後の精神障害：マタニティブルーズ，産後うつ病），帝王切開を受けた褥婦，特別な支援を要する褥婦の看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ	髙島　葉子
13	新生児期の看護① (新生児の生理)	新生児の定義，新生児の分類，新生児の適応生理（子宮外への適応，呼吸器系，循環器系，体温調節，ビリルビン代謝，糖代謝，消化器系，腎機能，免疫系，神経系，感覚器，皮膚） ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
14	新生児期の看護② (新生児のアセスメントと看護)	新生児の診断（ハイリスク児の要因，出生直後の評価，発育，黄疸，意識レベル，スクリーニング検査）の評価，健康状態（基礎的情報収集，子宮外生活への適応，生活）のアセスメント，出生直後から生後24時間以内（移行期）の看護～出生直後のケア，出生後24時間以内のケア，24時間以降から退院に向けたケア　＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ　最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
15	新生児期の看護③ (新生児の異常と看護)	ハイリスク新生児の特徴，呼吸不全，循環不全，体温調節の異常，消化器の異常，代謝の適応不全，神経学的異常，分娩との関連，母体疾患と新生児の異常（糖尿病母体からの出生，GBS感染症），早産児・低出生体重児の特徴，先天異常がある新生児と看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山　稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を教授し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種の役割と連携を教授し、看護の役割について学習する。

《授業の到達目標》

1．精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法について理解できる。
2．代表的な精神疾患の病態とそれに応じた看護について理解できる。
3．精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について理解できる。
4．精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割について理解できる。

《評価の方法》

授業内で実施する3回の小テストの合計（20%）、定期試験（70%）、授業中の発言や参加態度（10%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

『精神看護学 学生‐患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著　医歯薬出版　2015年）
その他、授業で配付するプリント

《履修上の留意点》

予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と記載されているテキストの該当ページの内容を確認しておくこと。
復習（事後学習）として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。
間違った問題については、プリントやテキストを参考にして必ず確認しておくこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神障害者の理解 （精神症状、統合失調症、気分障害）	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。自分がもつ精神疾患や精神症状に対するイメージについて考えるとともに、精神症状がもつその人にとっての意味を理解する。 （予習）精神看護学概論で学習した内容について復習しておく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
2	精神看護におけるアセスメント方法 （セルフケア、ストレングス、リカバリー、対人関係）	セルフケア理論、対人関係理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする方法を学ぶ。対象者のストレングス（強み）に着目したアセスメント方法を理解する。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
3	精神看護における基本的技法 （コミュニケーション技法、アクティブリスニング、リスクアセスメント）	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクアセスメントの特徴を学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
4	精神看護における治療的人間関係 （ペプロウ、治療的人間関係、プロセスレコード）	患者－看護師間の人間関係が生み出す治療的意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者－看護師の治療的援助関係の発展過程、プロセスレコード等について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
5	病の体験を聴く （病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス）	社会福祉施設を利用しているゲストスピーカーから病気や生活の体験を聴く。精神疾患をもつことでの生きづらさとともに、生活における希望を理解し、看護の役割等を考える。 （予習）これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく （復習）体験を聴いて思ったこと、考えたことをまとめる	板山　稔

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山　稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	精神医療・保健福祉制度の法律 （精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法）	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系と精神科看護における重要点を理解する。日本の精神科医療施策の問題点・課題について考える。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
7	精神疾患の治療① （薬物療法、有害事象、電気けいれん療法）	精神疾患に対して、身体に働きかける治療（薬物療法、電気けいれん療法など）を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
8	精神疾患の治療② （精神療法、作業慮法、認知行動療法、社会生活技能訓練）	精神疾患に対して、精神や心理、活動に働きかける治療（精神療法、認知行動療法、作業療法など）を理解し、看護のあり方について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
9	地域精神保健福祉と看護 （精神科訪問看護、精神科デイケア、障害者総合支援法、多職種協働）	精神障害者の社会復帰および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護、デイケア、多職種協働の実践例、障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
10	統合失調症患者の看護① （幻覚妄想、精神運動興奮、無為・自閉）	統合失調症の発症から寛解までの回復過程を理解し、事例を通して精神症状についてアセスメントする。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
11	統合失調症患者の看護② （薬物療法、セルフマネジメント、服薬アドヒアランス、行動制限）	統合失調症の急性期から慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
12	気分障害患者の看護 （うつ病、躁病、双極性障害、薬物療法、認知行動療法）	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
13	不安性障害、パーソナリティ障害、発達障害の患者の看護 （パニック障害、強迫性障害、境界性パーソナリティ障害、発達障害）	不安性障害（不安障害、パニック障害、強迫性障害）、パーソナリティ障害、発達障害（ADHD,自閉スペクトラム症、LD）の病態の特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
14	依存症、アディクションの患者の看護 （アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害、アディクション）	アルコール依存症、摂食障害を中心に、依存症・アディクションの特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等を確認する	板山　稔
15	精神医療における倫理 （倫理原則、人権、倫理カンファレンス）	精神科医療における倫理的問題について理解し、倫理的問題に気づく視点を養うとともに、事例検討を通して倫理的問題に対する意思決定のプロセスを学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2313030
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを含め支援するケアについて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．健康上の問題を抱えて在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる。
2．在宅療養をする対象に応じた、生活の場で提供される看護援助の方法を説明できる。
3．在宅療養者に関わる医療、福祉の制度や社会資源に関して説明できる。
4．生活の場で提供される在宅看護の特徴、訪問看護の役割について考察することができる。

《評価の方法》

定期試験70%、グループワーク参加態度10%、技術演習20%

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ　在宅看護論①』（臺有桂 他編　メディカ出版　2019年）　『退院支援ガイドブック』（宇都宮宏子監修、坂井志麻編　学研プラス　2015年）　その他必要な資料を講義時に配布します。

《履修上の留意点》

各疾病治療論、各看護学概論、援助論等の既習内容と結び付けて学習を進めて下さい。
授業に関しては、訪問看護の実践者、ケアマネジャーによる講義もあります。学生の皆さんとディスカッションしながら進めていきます。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	在宅看護の目的、意義、対象者の特徴 （在宅看護、訪問看護、療養者、家族支援,日常生活自立度、要介護度、介護力）	ガイダンス 在宅看護の目的、意義、対象について、在宅看護と病院の看護の違いについて概論を復習しながら学ぶ。 予習：在宅看護概論の学習内容、テキストP10～49、P52～56。 復習：在宅看護と病院の看護の違い、対象の特徴を表にしてみる。	古澤　弘美
2	在宅看護における訪問看護と多職種との連携、協働 （訪問看護、訪問看護ステーション、訪問診療、社会資源、多職種連携、協働、地域包括ケアシステム）	訪問看護の目的、意義、訪問看護の実際、訪問看護ステーションの特徴・機能・地域における役割、在宅看護における多職種・諸機関との連携・協働について学ぶ。 予習：テキストP90-103、P104-109を読んでくる。 復習：地域における在宅看護に関わる職種に関して役割をまとめる。	古澤　弘美
3	継続看護と退院調整 療養の場の移行 （退院支援、退院調整、継続看護、看看連携）	入院・退院時における医療機関との連携、地域包括ケアシステムにおける多職種連携と在宅看護の役割について学ぶ。 予習：テキストP56-72を読んでくる。 復習：病院のホームページから退院調整部門を調べ役割をまとめる。	古澤　弘美
4	在宅ケアの社会資源とケアマネジメント(介護保険制度、ケアマネジメント、社会資源、保健・医療・福祉サービス)	在宅看護をめぐる法制度及び、フォーマル、インフォーマルな社会資源の概要をを理解し、ケアマネジメントの意義とプロセスについて事例をとおして学ぶ。 予習：テキストP76-90を読む、保健医療福祉行政論、老年看護（社会保障）について復習する。 復習：訪問看護利用までの流れを図式化してみる。	古澤　弘美
5	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術① 初回訪問、基本的な技術（初回訪問、コミュニケーション、信頼関係、情報収集、アセスメント、看護過程）	訪問看護における初回訪問の目的と基本的看護技術、配慮すべき点、訪問のプロセス、在宅療養を支える看護過程の展開におけるポイントを学ぶ。 予習：テキストP174-225、P410-413を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2313030
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術② 排泄管理（排泄管理、ストーマ、膀胱留置カテーテル、家族支援、）	在宅療養における排泄の管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、自立支援について学ぶ。 予習：テキストP195-200、P240-245を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
7	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術③ 呼吸管理（呼吸管理、在宅酸素療法、在宅人工呼吸器療法、吸引、家族支援）	在宅療養における呼吸管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、家族支援について学ぶ。 予習：テキストP181-187、P271-289を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
8	在宅療養者の医療管理を要する人の看護（褥瘡ケア、在宅経管栄養、自己注射、疼痛管理、服薬管理、家族支援）	在宅療養における様々な医療管理について対象の特徴と自立支援、トラブルや合併症の予防、家族支援、多職種との連携、社会資源について学ぶ。 予習：テキストP232-240、P289-303を読んでくる。 復習：学んだことをまとめる。	古澤　弘美
9	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、医療管理）	認知症、難病、脳血管障害後遺症がある在宅療養者に対して在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP314～343、P356～368を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
10	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、医療管理、重症心身障害児、精神障害者）	地域で生活する重症心身障害児、精神障害者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP344-355、P400-408を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
11	在宅における終末期患者とその家族への支援（緩和ケア、看取り、グリーフケア、疼痛コントロール、危機的状況、ACP、自己決定支援）	終末期のがん療養者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP391-399を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
12	訪問看護とケアマネジメントの実際 (訪問の準備、ケアマネジメント、ケア会議、他職種との連携、心がけていること）	訪問看護ステーションの看護師とケアマネジャーより実際の在宅支援の活動について学ぶ。 予習：在宅看護に関する今までの学習内容を復習する。 復習：実際の活動報告から感じたこと、考えたことをまとめる	古澤　弘美
13	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）① （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	対象者・家族との信頼関係の構築目指した初回訪問時の対応をロールプレイで学ぶ 予習：事例を読み込んでくる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
14	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）② （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	演習続き 課題：ワークシートに基づきロールプレイの観察内容、訪問看護師としての対応を記入し、提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
15	まとめ	在宅看護の対象となる人々、在宅看護の特徴と看護の役割等についての学びをグループワーク・発表をとおして明確にする。 予習：前回までの授業内容と在宅看護学概論を復習 復習：学びを振り返り自己の課題を明確にする。	古澤　弘美

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313080
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。また、感染症対策における保健師の役割と保健指導を学ぶ。そして、地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。
（駒形三和子/12回）具体的な行政看護職の機能、役割等の講義を行う。

《授業の到達目標》

1．学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
2．学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。
3．感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
4．行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　　90%

《テキスト》

(1)『標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著　医学書院　2019年）
(2)『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著　医学書院　2018年）
(3)『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論2』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	健康危機管理 （健康危機管理、災害、感染症）	ガイダンス 健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活動と役割について学ぶ。 （予習）災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その理由が述べられるように準備する。 （復習）テキスト(2)p322～364を読む。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護管理① （事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）	公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動にみられる管理機能について学ぶ。 （予習）テキスト(1)p166～168を読む。 （復習）公衆衛生看護管理（事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）について整理する。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護管理② （行政分野、看護管理、キャリアラダー、公衆衛生看護倫理）	保健師に求められる能力と管理機能について事例をを通して学び、これからの保健師に求められる看護管理機能について考える。 （予習）先回の講義内容を確認する。 （復習）テキスト(1)p184～187を読む。	飯吉　令枝
4	感染症予防の原則 （感染症成立の３要因、感染症予防の３原則、感染症法、新興感染症、再興感染症、感染症類型）	感染症保健① 感染症成立の要因と予防の原則を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背景と予防対策のポイントを学ぶ。 （予習）テキスト(3)p135～136を読む。 （復習）テキスト(2)p195～196、p188～192を読む。	駒形三和子
5	感染症の特徴に応じた予防対策 （感染症の性格、全数把握、定点把握、HIV/AIDS、新型インフルエンザ、結核）	感染症保健② 感染症をその感染力や重篤性から分類した感染症類型の特徴を理解し、最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を学ぶ。 （予習）テキスト(3)p136～142を読む。 （復習）テキスト(2)p203～217を読む。	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313080
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症拡大防止対策と予防接種 （感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種）	感染症保健③ 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 （予習）テキスト(3)p155～158を読む。 （復習）テキスト(3)p158～165を読む。	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 （感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症）	感染症保健④ 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 （予習）演習ワークシート（事前学習）を各自学習し演習に臨む。 （復習）演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。	駒形三和子
8	学校保健の対象と関係職員の役割 （学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師）	学校保健① 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 （予習）自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。 （復習）テキスト(3)p370～373（学校保健行政の動向）を読む。	駒形三和子
9	養護教諭の活動内容 （養護教諭の歴史、職務内容(学校保健計画、保健教育、保健管理、保健室経営)）	学校保健② 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p232～237を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p252～261を読む。	駒形三和子
10	学齢期の健康課題に応じた支援内容 （いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒、発達障害、LGBT）	学校保健③ 学齢期の子どもの健康課題とその支援活動を学び、養護教諭の役割を考える。 保健師国試の過去問から学校保健活動のポイントを整理する。 （予習）テキスト(2)p243～252を読んでくる。 （復習）授業で使用した過去問の振り返り	駒形三和子
11	産業保健の目的と労働衛生管理体制 （産業保健の目的(ILO)、労働基準法、労働安全衛生法、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者）	産業保健① 事例を通して、産業保健の目的、産業保健の基盤となる根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 （予習）会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。 （復習）テキスト(2)p264～266、p273～281を読む。	駒形三和子
12	産業保健師の活動 （産業保健師の歴史、産業保健の５管理、衛生委員会、職場巡視、OSHMS）	産業保健② 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p266～272を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p281～282を読む。	駒形三和子
13	職業性疾病と特殊健康診断 （職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等）	産業保健③ 職業性疾病とその対応および、様々な特殊健康診断について学ぶ。 （予習）テキスト(2)p283～286を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p286～290を読む。	駒形三和子
14	メンタルヘルスと長時間労働 （ラインによるケア、ストレスチェック制度、産業医面接、中小企業、地域産業保健センター）	産業保健④ 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 （予習）テキスト(2)p291～293を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p300～302を読む。	駒形三和子
15	産業保健の実際 （事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること）	産業保健⑤ 事業所の健康管理を実際に行っている産業保健師を招き、産業保健の実際について学ぶ。 （予習）テキスト(2)p296～299を読んでくる。 （復習）テキスト(3)p323～330に目を通し、講義内容と合わせて学びを整理する。	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術			授業科目番号	2313090
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、古澤　弘美			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、援助提供の場に応じた保健師の役割、機能を考える。保健指導、家庭訪問の方法と技術、対象の主体的学習を支援する健康学習・健康教育の方法と技術、地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

《授業の到達目標》

1．個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
2．集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
3．家庭訪問・健康教育の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
4．地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習　40%、定期試験　40%、レポート　10%

《テキスト》

(1)『標準保健師講座2 公衆衛生看護技術』（中村由美子 他著　医学書院　2020年）
(2)『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『最新　公衆衛生看護学　第3版　2020年版　総論』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

家庭訪問・健康教育の演習は楽しい演習になると思いますが、準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できる様、協力して課題に向かうことを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることにもつながります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健指導 （保健師、保健指導）	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 （予習）1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。 （復習）保健指導で活用できる理論について整理する。	飯吉　令枝
2	健康相談・家庭訪問 （個人、家族、保健指導）	健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p10～21（個人の理解と支援、家族の理解と支援）を読む。 （復習）健康相談・家庭訪問の対象と支援の特徴についてポイントを整理する。	飯吉　令枝
3	家庭訪問 （家庭訪問計画、記録）	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p134～142を読む。 （復習）テキスト(1)p143～165を読む。	飯吉　令枝
4	家庭訪問演習①	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 （事前課題）次回の演習までに「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで訪問計画を立てる。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
5	家庭訪問演習②	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 （課題）訪問記録の提出。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術	授業科目番号	2313090
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、古澤　弘美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	健康教育① （健康教育と健康学習、KAPモデル、保健信念モデル、プリシード・プロシードモデル、ニーズ把握、目標設定）	保健師の行う健康教育のねらいを理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 （予習）テキスト(1)p168～172を読む （復習）テキスト(1)p173～180を読む （課題）生活習慣アンケートを記入し提出。	駒形三和子
7	健康教育② （テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備）	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。 また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点についてディスカッションしながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p181～193および配布された事例を読む。 （復習）健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。	駒形三和子
8	健康教育③ （ニーズの把握、絞り込み、企画書の作成）	健康教育演習① 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の企画 （予習）各自のグループが実施するテーマに関する事前学習 （復習）企画書を担当教員に確認してもらい、修正。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
9	健康教育④ （指導案・シナリオ・媒体の作成、デモンストレーション）	健康教育演習② 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育のシナリオ、媒体作成 （予習）企画書を元に指導案を作成。 （復習）シナリオ、媒体を担当教員に確認してもらい修正。実施に向けたデモンストレーション（１回は担当教員に入ってもらう）	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
10	健康教育⑤ （健康教育の実施①）	健康教育演習③ 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の実施 （予習）各グループ代表で相談し、実施の順番を決める。各グループ内の役割（進行・タイムキーパー、記録係等）を決め、必要物品を準備。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
11	健康教育⑥ （健康教育の実施②）	健康教育演習④ 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の実施・評価 （課題）評価表と実施後の振り返りシート提出	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
12	グループ支援、地区組織活動① （グループの定義、グループの発展過程、グループダイナミクス）	保健師が関わるグループの種類と特性を理解し、グループの発展過程における支援者の役割および、地区活動への発展について事例を通して学ぶ。 （予習）グループワーク等、グループで話し合ったり活動した場合のメリットを5つ考えてくる。 （復習）配布資料およびテキスト(1)p210～227を読み、学びを整理する。	駒形三和子
13	グループ支援、地区組織活動② （セルフヘルプグループ、住民組織・地区組織、グループ支援における保健師の役割）	セルフヘルプグループおよび地区組織の特徴を踏まえ、グループおよび地区組織の支援のあり方について映像資料や保健師国試過去問を活用しながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p228～233を読んでくる。 （課題）グループ支援における保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	駒形三和子
14	地域ケアシステム① （チームづくり、ネットワーク化、コーディネート、地域ケアシステムの発展過程）	地域ケアシステムの概念、理念・目的、地域ケアシステムづくり、地域ケアシステムの発展過程、について事例を通して学ぶ。 （予習）今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。 （復習）テキスト(1)p238～243を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。	古澤　弘美
15	地域ケアシステム② （ノーマライゼーション、地域づくり・まちづくり、共生社会）	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p244、249～259を読んでくる。 （課題）地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	古澤　弘美

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	統計分析法			授業科目番号	1101030
担当者氏名	北島　宗雄			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

統計学の基本的概念や考え方を学ぶとともに、尺度の種類、母集団と標本、データの要約、統計的処理、仮説検定などについてその考え方を学び、医療の場面でその知識を応用できるように学修する。また、既存の統計解析ソフトの使い方を学び、関数計算、度数分布表の作成、t検定などの実際の操作手順について、データ分析ツールの活用法を学習し、実際に使用する体験を通して、学部での学習や卒業後の医療場面で使用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1．統計学の基本的概念について、理解できる。
2．統計学の医療場面での利用方法について、理解できる。
3．統計解析ソフトを利用した統計分析について、方法を理解し実行できる。

《評価の方法》

学習態度10%；演習 60%（6回（3，5，9，11，13，15））；理解度確認テスト30%

《テキスト》

1.『Excelで学ぶ医療・看護のための統計入門』（石村友二郎、今福恵子著　石村貞夫監修　東京図書　2020年）
2.『看護師のための統計入門』（安川文朗編著　日本医療企画　2018年）

《参考図書》

『はじめての統計学』（鳥居泰彦著　日本経済新聞出版　1994年）

《履修上の留意点》

授業は、講義形式と演習形式で行います。講義形式の授業については、資料を配布します。資料は、参考図書を基に作成しています（14回目を除く）。各回の内容を理解しやすくするために、各回に対応する部分を、テキスト2で予習しておくことを勧めます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス ／医療と統計データの関係性／確率と確率分布（講義）	授業の進め方について説明します。続けて，医療と統計データの関係性，統計的センスを身につけることの重要性を学びます。また，統計学の考え方の基礎にある分析概念の一つ目として，確率と確率分布を学びます。 予習：テキスト2 第1章 pp.14-50，第2章 pp.52-55 復習：第1回講義資料	北島　宗雄
2	母集団と標本／標本抽出（講義）	統計学の考え方の基礎にある分析概念の二つ目として，母集団と標本について学びます。また，標本抽出が必要な理由，および，標本抽出の方法として，乱数表を利用した無作為抽出，単純抽出法，層化抽出法を学びます。 予習：テキスト2 pp.72-79 復習：第2回講義資料	北島　宗雄
3	度数分布表作成／ヒストグラム作成（演習）	1回目，2回目の授業で学んだ度数分布表とヒストグラムを，統計解析ソフトを利用して作成する方法を学びます。テキスト1の第5章「度数分布表とヒストグラムの作り方」に示された手順に従って度数分布表を作成し，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第5章	北島　宗雄
4	標本分布の特性値／確率と確率分布（講義）	標本分布の特性値として，分布の位置を表す，平均値・中央値・最頻値，分布の広がりを表す，分散・標準偏差・変動係数について，定義と特徴，計算手順を学びます。 予習：テキスト2 pp.56-63 復習：第4回講義資料	北島　宗雄
5	平均値・分散・標準偏差の計算（演習）	4回目の授業で学んだ標本分布の特性値を，統計解析ソフトを利用して計算する方法を学びます。テキスト1の第6章「平均値・分散・標準偏差の求め方」に示された手順に従って，平均値・分散・標準偏差を求める方法を学び，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第6章	北島　宗雄

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	北島　宗雄		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	確率と確率分布／二項分布（講義）	統計学は確率を基にして考える分析方法です。そこで，今回は，その重要な概念である「確率と確率分布」に焦点を当て，確率の測り方，離散的・連続的確率変数，確率分布の性質，二項分布を学びます。 予習：テキスト2 pp.68-71 復習：第6回講義資料	北島　宗雄
7	一様分布と正規分布／標本平均の分布／母平均μの推定（講義）	一様分布・正規分布の形，確率密度関数，平均・分散・標準偏差を学びます。また，正規分布の標準化，標準正規分布と元の正規分布の対応関係，正規分布表の読み方，標本平均の分布，母平均 μの区間推定・点推定を学びます。 予習：テキスト2 pp.64-67 復習：第7回講義資料	北島　宗雄
8	ｔ分布／母平均の推定／カイ二乗分布／母標準偏差の推定（講義）	母標準偏差σが未知のときに母平均μを推定する際に使われるt分布を学びます。小標本／大標本の場合に母平均μを推定する方法を学びます。母標準偏差σが未知のときにそれを推定する際に使われるカイ二乗分布を学びます。 予習：テキスト2 pp.83-92 復習：第8回講義資料	北島　宗雄
9	母平均の区間推定／母比率の区間推定（演習）	母平均μの区間推定を，統計解析ソフトを利用して行う方法を学びます。テキスト1の第8章「平均値や比率の区間推定の求め方」に示された手順に従って，母平均の区間推定の求め方，母比率の区間推定の求め方を学び，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第8章	北島　宗雄
10	仮説検定／母平均μに関する仮説検定／母標準偏差σに関する仮説検定（講義）	統計的仮説検定の考え方，基本ステップ，母平均μに関する仮説検定（母標準偏差σが既知の場合，母標準偏差σが未知で小標本の場合・大標本の場合）の方法を学びます。母標準偏差σに関する仮説検定の方法を学びます。 予習：テキスト2 pp.107-110 復習：第10回講義資料	北島　宗雄
11	二つの母平均の差の検定／対応のある二つの母平均の差の検定／二つの母比率の差の検定（演習）	平均値や比率の差の検定を，統計解析ソフトを利用して行う方法を学びます。テキスト1の第10章「平均値や比率の差の求め方」に示された手順に従って，二つの母平均の差の検定，対応のある二つの母平均の差の検定，二つの母比率の差の検定の求め方を学び，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第10章	北島　宗雄
12	相関分析／回帰分析（講義）	二つの現象がペアになって変化する関係である相関関係と，その分析の仕方を学びます。相関分析として，相関係数の求め方，有意性について学びます。また，原因と結果の関係を分析する方法として回帰分析を学びます。 予習：テキスト2 pp.111-113 復習：第12回講義資料	北島　宗雄
13	散布図作成／相関係数導出／回帰直線導出（演習）	相関分析・回帰分析を，統計解析ソフトを利用して行う方法を学びます。テキスト1の第7章「散布図，相関係数，回帰直線の求め方」に示された手順に従って，散布図の描き方，相関係数の求め方，回帰直線の求め方を学び，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第7章	北島　宗雄
14	アンケート調査（講義）	統計学の知識を応用する場として，アンケート調査の結果の分析があります。アンケート調査の立案，調査票の作成，調査の実施，回収データのデータベース化，基本統計量と検定の実施の方法を学びます。 予習：テキスト2 第4章 pp.116-156	北島　宗雄
15	クロス集計表の作成／独立性検定（演習）	アンケート結果の基礎的な分析を，統計解析ソフトを利用して行う方法を学びます。テキスト1の第1章「アンケート調査票の入力手順」，第2章「クロス集計表の作り方」「独立性の検定の手順」に示された手順に従って，クロス集計表の作成，独立性の検定の仕方を学び，例題と演習を行います。 復習：テキスト1 第1,2章	北島　宗雄

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護倫理			授業科目番号	2311060
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

看護倫理の歴史的変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。

《授業の到達目標》

1．「倫理とは」について理解し、看護倫理を学ぶ意義について述べることができる。
2．徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理について説明できる。
3．看護場面における倫理的問題を明らかにし、問題解決のための意思決定について、その根拠を述べることができる。

《評価の方法》

学習参加度 5%：発問に対する態度で評価する。　　グループワーク参加度 5%：グループ発表のまとめの内容、態度で評価する。　　レポート課題 90%：課題は講義の最終日に提示する。A4用紙2000字以内。

《テキスト》

『看護倫理』（小西恵美子編　南江堂　2021年）

《参考図書》

1.『看護倫理』（宮坂道夫 他著　医学書院　2018年）
2.『看護実践のための倫理と責任』（宮脇美保子著　中央法規出版　2014年）

《履修上の留意点》

思考を深める授業である。他者との討議に主体的に参加してください。自分の意見を述べることが大事です。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （倫理、倫理学）	本授業の学習内容、学び方について概説する。倫理とは何か、倫理学とは何か、について学ぶ。 （予習）テキストp2～9を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
2	倫理的探究の基礎（１） （倫理理論、倫理の歴史、徳の倫理）	倫理学の学問的位置づけ、倫理理論について学ぶ。倫理の歴史的推移を振り返り、「徳の倫理」について学ぶ。 （予習）テキストp17～19、p26～33を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
3	倫理的探究の基礎（２） （原則の倫理、ケアの倫理、倫理的課題のアプローチの特徴）	「原則の倫理」「ケアの倫理」について学ぶ。倫理の歴史的推移の中で生まれた、それぞれの倫理的課題へのアプローチの方法について、その特徴と問題点を学ぶ。 （予習）テキストp35～48を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
4	看護職の専門性と倫理（１） （看護倫理の位置づけ、看護職の基本的責任、倫理的責任、法的責任）	専門職がもつ責任の意味を理解し、看護倫理の基礎となる位置づけと看護職のもつ倫理的責任、法的責任について学ぶ。 （予習）テキストp11～16、p76～78、p109～113を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
5	看護職の専門性と倫理（２） （実践上の倫理的概念、倫理綱領）	看護職の実践上の倫理的概念について学ぶ。日本看護協会の「看護者の倫理綱領」の前文、条文について倫理原則とてらしながら理解を深める。 （予習）テキストp19～21、p254を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護倫理	授業科目番号	2311060
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	倫理的意思決定 （倫理的意思決定方法論）	倫理的問題を解決する様々な意思決定方法論について学ぶ。 （予習）テキストp135 ～142を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
7	事例検討 （倫理的意思決定方法論）	意思決定方法論をとおして、問題の明確化・分析・行動の選択についてグループで討議し発表する。 （予習）6回目の配布資料に目を通しておく。	中村　悦子
8	まとめ （看護倫理を学ぶ意義）	事例検討の発表。看護倫理を学ぶ意義について、講義内容を振り返りまとめる。 （復習）発表内容から自分で理解したことをまとめる。	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312100
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

高齢者の健康問題発生のプロセスとその変化を理解するためのヘルスケア・アセスメント技法を習得する。事例を用いて、加齢に伴う諸機能の低下、様ざまな疾患や薬剤による影響、環境から起こる変化が日常生活に及ぼす影響を考え、老年者の看護に必要な移動、排泄、食事援助、介護予防や老化防止につながる健康教育、コミュニケーション技法について体験型の演習で学ぶ。

《授業の到達目標》

1．高齢者の状態をアセスメントし、日常生活援助を実施・評価できる。　2．高齢者の生活機能を整える看護が述べられる。
3．治療を受ける高齢者の看護の留意点が述べられる。　4．災害時の高齢者特有の健康問題、日常生活の課題が述べられる。
5．高齢者の終末期における意思決定を尊重した看護を表現できる。　6．高齢者を介護する家族への支援及び高齢者と家族のQOLを尊重した看護が述べられる。

《評価の方法》

課題レポート(50%)、定期試験(50%)

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）【2年次購入済】
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）【2年次購入済】

《参考図書》

その他：授業で配布するプリント、授業中に紹介する。

《履修上の留意点》

シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布されたプリント及び授業時に提示された参考文献等を参照しながら提示された事前・事後学習の提示を読み、学習して臨むこと。なお、レポートについては、提出期限や提出場所については、授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	・授業ガイダンス ・高齢者の看護技術 ・高齢者のヘルスアセスメント	授業ガイダンス ・ヘルスアセスメントの枠組み　・高齢者総合機能評価　・感覚器系の加齢変化とアセスメント　・演習事例における看護過程の展開 【事前学習：高齢者のヘルスアセスメント、視覚・聴覚・皮膚の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子
2	高齢者の生活機能を整える看護①活動と休息	・高齢者の活動と休息の特徴 ・高齢者の活動・休息のアセスメントと看護 ・本科目での演習事例の紹介 【事前学習：高齢者の活動・休息】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子
3	②老年症候群、廃用症候群演習	・廃用症候群のアセスメントと看護 ・老年症候群と看護 ・高齢者の排泄の特徴、排泄援助のアセスメントと看護 【事前学習：運動機能の査定方法について】	袖山悦子 角山裕美子
4	演習	≪事例に基づく演習≫ ・半身麻痺のある老年者の排泄援助時の移送・移動の介助 ・体圧測定と体位変換 【事前学習：事例の看護計画実施のために必要な物品を準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 角山裕美子
5	③コミュニケーション	・認知機能に配慮したコミュニケーション ・言語障害のある高齢者とのコミュニケーション 【事前学習：コミュニケーションの基本】 【事後学習：自己の傾向について振り返る】	袖山悦子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312100
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	④食事 演習	・高齢者の栄養と看護 ・高齢者の食事の特徴 ・低栄養 ・高齢者の食事のアセスメントと看護 【事前学習：高齢者の運動器・消化器系の特徴】	袖山悦子 角山裕美子
7	演習	≪事例に基づく演習≫ ・食事の援助 ・義歯の着脱と洗浄、口腔ケア、アイスマッサージ、嚥下訓練 【事前学習：事例の看護計画実施のために必要な物品を準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 角山裕美子
8	高齢者のがん看護（CNS）	・高齢者に多い癌疾患 ・痛みの看護 ・高齢者のQOLを支える看護 【事前学習:テキスト1.ｐ265～267.ｐ356～358を中心に読む、疑問点等を質問ができるように学習する】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子
9	高齢者疑似体験 演習	・高齢者体験グッズを装着した高齢者疑似体験 【事前学習：既習の知識の復習】 【事後学習：演習後、高齢者への配慮についてレポートにまとめる】	袖山悦子 角山裕美子
10	高齢者の清潔の援助 演習(身体の清潔)	≪事例に基づく演習≫ ・足浴、おむつ交換、陰部洗浄 【事前学習：事例の看護計画実施のために必要物品の準備をして臨む】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 角山裕美子
11	高齢者施設入所者の看護	・高齢者施設での高齢者の看護 ・特別養護老人ホーム入所者の看護 ・介護老人保健施設入所者の看護 ・グループホーム入所者の看護 【事前学習：テキスト1.ｐ365～373を読む】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	角山裕美子
12	治療を受ける高齢者の看護	・高齢者の薬物療法 ・高齢者の手術療法 ・高齢者の検査時の看護 ・入院時の看護 【事前学習：テキスト1.ｐ318～333を読む】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子
13	高齢者のリスクマネジメント	・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 【事前学習：テキスト1.ｐ388～406を読む】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	角山裕美子
14	穏やかな死を迎えるための看護	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定と援助、高齢者の終末期医療 ・多職種連携による生を支える援助 ・高齢者医療と倫理的な課題をテーマにグループワーク、発表／総評 【事前学習：テキスト1.ｐ348～358を読む】 【事前学習：高齢者倫理で学んだことをレポートにまとめる】	袖山悦子 角山裕美子
15	高齢者を支える家族の看護 まとめ	・家族とは ・高齢者と家族の関係の変化 ・高齢者、高齢者家族を取り巻く社会資源 【事前学習：家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成、テキスト1.ｐ373～382を読む】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312150
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

基礎看護学で学んだ技術を基盤として、乳幼児を想定した子どものフィジカルアセスメントや小児看護技術項目について小グループに分かれて演習室にて技術演習を行う。特に、検査・処置を受ける子どもに対する説明と不安軽減、個別性を考えながら適確な技術を提供するためのポイントについてＤＶＤやデモンストレーションを参考に実践的に学ぶ。

《授業の到達目標》

1．小児看護の特徴をとらえ、根拠に基づいたアセスメント、患者・家族に適した看護を導き出すことができる
2．グループ活動を通して、他者の意見を尊重し、自己の役割を果たすことができる
3．他者との意見交換を通して、自己の考えを発展させることができる
4．小児看護に必要な看護援助技術を根拠に基づき実践できる

《評価の方法》

提出物（技術演習の事前課題・演習用紙・事後学習）（60%）
看護過程展開におけるグループワークの参加度、役割達成度（40%）

《テキスト》

1.『写真でわかる小児看護技術 アドバンス』（山元恵子監修　インターメディカ　2020年）
2.『新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

『発達段階からみた小児看護過程』（浅野みどり 他編　医学書院　2017年）
『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編　ヌーヴェルヒロカワ　2011年）

《履修上の留意点》

小児看護学概論・小児看護援助論Ⅰの教科書・講義資料を精読し、事前学習課題に取り組んだ上で受講すること。疑問点は演習中に質問し、理解を深めること。小児看護技術や看護過程の演習を含む授業であり、実際に参加することが重要です。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	小児看護学援助論Ⅱのオリエンテーション 看護過程・演習の概要と進め方（講義）	テーマ学習と演習の目的・進め方 主要な看護理論の概要説明 自己・他者評価の方法 各記録用紙、ゴードンアセスメント、RUMBAの法則、POS記録について説明 事例とテーマ学習の提示	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
2	病児の事例に基づく看護過程（情報分析結果の意見交換） 看護技術の演習①（フィジカルアセスメント、身体計測、採尿）	◆Aグループ【演習】バイタルサイン測定、身体測定、一般的採尿、オムツ交換、更衣、抱っこ (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】自己学習してきた情報分析結果について意見交換＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
3	病児の事例に基づく看護過程（情報分析結果の意見交換） 看護技術の演習①（フィジカルアセスメント、身体計測、採尿）	◆Aグループ【演習】バイタルサイン測定、身体測定、一般的採尿、オムツ交換、更衣、抱っこ (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】自己学習してきた情報分析結果について意見交換＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
4	病児の事例に基づく看護過程（情報分析結果の意見交換） 看護技術の演習①（フィジカルアセスメント、身体計測、採尿）	◆Aグループ【看護過程】自己学習してきた情報分析結果について意見交換＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】バイタルサイン測定、身体測定、一般的採尿、オムツ交換、更衣、抱っこ (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
5	病児の事例に基づく看護過程（情報分析結果の意見交換） 看護技術の演習①（フィジカルアセスメント、身体計測、採尿）	◆Aグループ【看護過程】自己学習してきた情報分析結果について意見交換＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】バイタルサイン測定、身体測定、一般的採尿、オムツ交換、更衣、抱っこ (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312150
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	病児の事例に基づく看護過程（看護理論に基づく事例の解釈とアセスメント） 看護技術の演習②（採血、プリパレーション）	◆Aグループ【演習】採血、プリパレーション (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】テーマ学習、看護援助に必要な理論・概念の討議＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
7	病児の事例に基づく看護過程（看護理論に基づく事例の解釈とアセスメント） 看護技術の演習②（採血、プリパレーション）	◆Aグループ【演習】採血、プリパレーション (事前学習)事前に提示された課題に取り組む、（事後学習）演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】テーマ学習、看護援助に必要な理論・概念の討議＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
8	病児の事例に基づく看護過程（看護理論に基づく事例の解釈とアセスメント） 看護技術の演習②（採血、プリパレーション）	◆Aグループ【看護過程】テーマ学習、看護援助に必要な理論・概念の討議＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】採血、プリパレーション (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
9	病児の事例に基づく看護過程（看護理論に基づく事例の解釈とアセスメント） 看護技術の演習②（採血、プリパレーション）	◆Aグループ【看護過程】テーマ学習、看護援助に必要な理論・概念の討議＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】採血、プリパレーション (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
10	病児の事例に基づく看護過程（援助計画・到達目標の立案の検討） 看護技術の演習③（経口与薬、輸液管理、吸入）	◆Aグループ【演習】経口与薬、輸液管理、吸入 (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】援助計画・到達目標の立案＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
11	病児の事例に基づく看護過程（援助計画・到達目標の立案の検討） 看護技術の演習③（経口与薬、輸液管理、吸入）	◆Aグループ【演習】経口与薬、輸液管理、吸入 (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む ◆Bグループ【看護過程】援助計画・到達目標の立案＜グループワーク＞	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
12	病児の事例に基づく看護過程（援助計画・到達目標の立案の検討） 看護技術の演習③（経口与薬、輸液管理、吸入）	◆Aグループ【看護過程】援助計画・到達目標の立案＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】経口与薬、輸液管理、吸入 (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
13	病児の事例に基づく看護過程（援助計画・到達目標の立案の検討） 看護技術の演習③（経口与薬、輸液管理、吸入）	◆Aグループ【看護過程】援助計画・到達目標の立案＜グループワーク＞ ◆Bグループ【演習】経口与薬、輸液管理、吸入 (事前学習)事前に提示された課題に取り組む (事後学習)演習を振り返り課題に取り組む	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
14	病児の事例に基づく看護過程(全体発表準備)	【看護過程】グループ毎の看護計画発表準備	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
15	病児の事例に基づく看護過程(全体発表) まとめ	【看護過程】グループ毎の看護計画発表、質疑応答、講評	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312190
担当者氏名	柳原　眞知子、髙島　葉子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身、生殖器の復古と回復を助ける看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助、出生直後から移行期、退院までの新生児のウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に関する看護援助について学ぶ。

《授業の到達目標》

母性看護実習に向けて、
1．看護過程（臨床推論）を修得し、臨地実習で看護判断でき、必要なケア目標やケア計画を立てることができる。
2．臨地実習で求められるケア技術を演習により習得できる。

《評価の方法》

看護過程（臨床推論）50%：事前学習10%、展開レポート35%、授業参加度5%
技術演習50%：事前・事後レポート10%、授業態度15%、技術試験25%

《テキスト》

1.『新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ』（前原澄子著　中央法規出版　2011年）
2.『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2016年）
臨床推論については、資料を配布する。

《参考図書》

1.『パーフェクト臨床実習ガイド　母性看護』（堀内成子編　照林社　2017年）　2.『看護の臨床推論』（石松伸一監修　学研メディカル秀潤社　2014年）　3.『アセスメントに自信がつく臨床推論入門』（小澤知子編著　メディカ出版　2019年）

《履修上の留意点》

・援助論Ⅱで母性看護学の知識を理解し習得し臨地実習に臨める
・提示された事前学習をした上で授業に参加すること
・記録の提出は期日を厳守すること

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護過程（臨床推論）１	母性看護学実習に必要な看護診断力を育成するため、〝臨床推論〞の理解を図る。最初に臨床推論とは何かを学習し、実習でのアセスメントに活用できるようになる。春課題の発表により褥婦・新生児の分析・解釈力を養う。 技術演習のオリエンテーション	柳原眞知子 髙島　葉子
2	看護過程（臨床推論）２	産後の母体の全身状態・母体疲労・心理の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子
3	看護過程（臨床推論）３	生殖器の復古の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	髙島　葉子 柳原眞知子
4	技術演習１（妊娠期および分娩期）	A：妊婦健康診査（レオポルド触診・子宮底長測定・腹囲測定・浮腫・胎児心拍数）に関する技術　（１，２，３，４）G B：分娩期の支援：分娩監視装置の装着と読み取り，産痛緩和，呼吸法などDVD視聴と支援の実際　（５，６，７，８）G	髙島　葉子 柳原眞知子
5	技術演習２（妊娠期および分娩期）	A：分娩期の支援：分娩監視装置の装着と読み取り，産痛緩和，呼吸法などDVD視聴と支援の実際　（１，２，３，４）G B：妊婦健康診査（レオポルド触診・子宮底長測定・腹囲測定・浮腫・胎児心拍数）に関する技術　（５，６，７，８）G	柳原眞知子 髙島　葉子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312190
担当者氏名	柳原　眞知子、髙島　葉子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護過程（臨床推論）４	母乳育児支援のための看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子
7	看護過程（臨床推論）５	新生児の成長・発達の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	髙島　葉子 柳原眞知子
8	技術演習３（産褥期退行性変化・進行性変化１）	A：子宮復古への支援：子宮底・硬度の観察・アセスメントなど　（１，２，３，４）G B：母乳育児支援：DVD視聴：ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際　（５，６，７，８）G	髙島　葉子 柳原眞知子
9	技術演習４（産褥期退行性変化・進行性変化２）	A：子宮復古への支援：子宮底・硬度の観察・アセスメントなど　（５，６，７，８）G B：母乳育児支援：DVD視聴：ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際　（１，２，３，４）G	髙島　葉子 柳原眞知子
10	技術演習５（新生児１）	A：（バイタル）・体重測定⇒沐浴の判断・実施　（１，２，３，４）G タスクトレーニング B：着替え，おむつ交換，抱き方，バイタル測定　（５，６，７，８）G タスクトレーニング	髙島　葉子 柳原眞知子
11	技術演習６（新生児２）	A：（バイタル）・体重測定⇒沐浴の判断・実施　（５，６，７，８）G タスクトレーニング B：着替え，おむつ交換，抱き方，バイタル測定　（１，２，３，４）G タスクトレーニング	髙島　葉子 柳原眞知子
12	技術演習７（技術のまとめ）	これまで行ってきた技術演習の発表を行う。 発表、意見交換、今後の課題、講評	髙島　葉子 柳原眞知子
13	看護過程（臨床推論）６	女性・パートナーの親性の形成、子育て支援の体制について事例を用いて行いて看護診断を行い分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子
14	看護過程（臨床推論）７	これまで行ってきた臨床推論の看護過程の発表を行う。	柳原眞知子 髙島　葉子
15	看護過程（臨床推論）８	これまで行ってきた臨床推論の看護過程の発表を行う。	柳原眞知子 髙島　葉子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊　要補、板山　稔、藤田　勇			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。

《授業の到達目標》

1．精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。
2．精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。
3．精神に障がいのある方の理解を深める。

《評価の方法》

定期試験50%、事例展開（個人）30%、事例展開（グループ）20%で算出し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子　他著　医学書院　2017年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子　他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

参考書：『精神科リハビリテーション看護（精神看護エクスペール）』（坂田三允　総編集　中山書店　2009年）　『これからの精神看護学』（森千鶴著　ピラールプレス　2016年）　配布資料：授業に関連したDVD

《履修上の留意点》

シラバスをふまえ、授業で取り上げるテーマについて、テキストを中心に予習して授業に臨むこと。
配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	統合失調症患者の症状アセスメント うつ病患者の症状アセスメント （統合失調症、うつ病、アセスメント）	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 （予習）統合失調症、うつ病およびアセスメントの視点について予習してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
2	双極性障害の患者の症状アセスメント アルコール依存症患者の症状アセスメント （双極性障害、アルコール依存症、アセスメント）	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 （予習）双極性障害、アルコール依存症およびアセスメントの視点について予習してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田　勇
3	事例を用いた看護過程の展開① 個人作業による情報の整理 （統合失調症、うつ病、情報の整理）	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、看護過程の展開において必要となる対象者の情報を整理する。 実習で用いる記録用紙を使用し、説明（講義）と個人作業による演習を交互に行う。 （予習）事例を読み、分からない用語等を調べておく （復習）記録用紙に沿って、情報の整理を完成させる	板山　稔
4	事例を用いた看護過程の展開② 個人作業によるアセスメント （アセスメント、セルフケアモデル）	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、得られた情報をもとに、個人でアセスメント記録用紙にそって分析・解釈を行う。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第2回「精神看護におけるアセスメント方法」の資料を読んでおく （復習）記録用紙にそって記入を進め、期限までに提出する（提出内容と方法については講義内で別途指示する）	板山　稔
5	精神科臨床に用いられる尺度など （GAF、PANNSS、ハミルトンうつ病評価尺度、CP換算値など）	精神科臨床で用いられる代表的な尺度について理解する。また、CP換算値についても理解する。 （予習）精神科臨床で用いられる代表的な尺度について各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊　要補、板山　稔、藤田　勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	プロセスレコードを用いたカンファレンスの体験 （プロセスレコード、カンファレンス、グループリフレクション）	各自が記載したプロセスレコードを用いてグループメンバーと振り返り、自己の感情・思考と言動との不一致に気づき、対象との対人関係で生じている事象や自己の対人関係の特徴などについて理解を深める。 （予習）プロセスレコードを作成し、事前に提出しておく（提出方法については別途指示する） （復習）プロセスレコードの振り返りシートを記入する	板山　稔
7	精神科における治療的技法の体験① 元気回復行動プラン （自分自身の取り扱い説明書）	各自のストレス解消法を基に元気回復行動プランを理解する。 （予習）自分自身のストレス解消法をまとめてくる。 （復習）自分自身の元気回復行動プランを作成する。	田邊　要補
8	事例を用いた看護過程の展開③ グループワークによるアセスメント （アセスメント、セルフケアモデル）	統合失調症、うつ病の患者の事例について、個人作業でアセスメントしたそれぞれの結果をもとにグループワーク行う。より多面的にアセスメントし、看護上の課題を検討する。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく （復習）グループワークの結果を記録用紙にそってまとめる	板山　稔
9	事例を用いた看護過程の展開④ グループワークによる看護ケアの立案 （ケアプラン）	統合失調症、うつ病の患者の事例について、グループワークを通して看護ケアプランを作成する。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく （復習）グループワークの結果を記録用紙にそってまとめ、期限までに提出する（提出方法については講義内で別途指示する）	板山　稔
10	事例を用いた看護過程の展開⑤ グループワークによる看護過程の発表・統合失調症事例 （統合失調症、アセスメント、ケアプラン）	統合失調症事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、統合失調症患者の看護について理解を深める。　（予習）発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。　（復習）他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する。	板山　稔
11	事例を用いた看護過程の展開⑥ グループワークによる看護過程の発表・うつ病事例 （うつ病、アセスメント、ケアプラン）	うつ病事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、うつ病患者の看護について理解を深める。　（予習）発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。　（復習）他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する。	板山　稔
12	精神科における治療的技法の体験② 認知行動療法 （柔軟な思考、問題解決能力）	認知行動療法について理解する。 （予習）自分なりに認知行動療法を調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
13	精神科における治療的技法の体験③ SST （社会生活技能訓練）	SSTの目的、方法、看護師の役割を理解する。 （予習）援助論Ⅰで学修したＳＳＴについて調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田　勇
14	精神症状の観察と援助　シミュレーション演習① （事前テスト、オリエンテーション）	幻聴のある統合失調症患者のアセスメントをし、援助方法を提案する。 （予習）入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境。 （復習）事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する 。	藤田　勇
15	精神症状の観察と援助　シミュレーション演習② （ブリーフィング、シミュレーション、デブリーフィング）	幻聴のある統合失調症患者のアセスメントをし援助方法を提案する。 （予習）入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境。 （復習）授業中に提示する課題を提出する。	藤田　勇

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2313040
担当者氏名	古澤　弘美、駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

対象別の在宅看護の実際に基づき、在宅看護に必要な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について修得する。そして、在宅看護における紙上事例を展開し、在宅療養者とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法を学習する。

《授業の到達目標》

1．在宅療養者と家族の生活の質を高めるための看護援助を考え、述べることができる。
2．在宅療養者とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開することができる。
3．在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術を実施することができる。
4．在宅療養者と家族の生活の質を高めるための社会資源の活用を対象者の状況にあわせて考え、述べることができる。

《評価の方法》

演習評価60%（紙上事例１：40%、足浴：20%）、事例の看護計画内容20%、グループワーク等授業への取り組み状況20%

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ　在宅看護論②』（臺有桂 他編　メディカ出版　2019年）
『在宅看護過程演習』（上田泉著　クオリティケア　2015年）

《履修上の留意点》

・事前に提示する課題に真摯に取り組むこと。
・講義で使用した資料および教科書の復習をする。
・講義内容と関連する科目の復習をする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 在宅看護過程 （情報収集、看護アセスメント、看護計画）	在宅看護過程の展開について学び、事例の看護過程を考える。 (予習）成人看護援助論Ⅲで学んだゴードンの機能的健康パターンについて確認する。 (復習）紙上事例（看護過程展開の事例）について、疾患、治療、看護援助について調べる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
2	在宅療養者と家族への看護援助①（情報収集、バイタルサイン測定、在宅看護過程）	[演習①]Aグループ：紙上事例１への訪問時の情報収集とバイタルサインの測定を実施する。 Bグループ：紙上事例１の病態関連図の作成と看護計画を立案する。 (予習）事例を訪問した際に在宅療養者と家族から聞き取る内容と観察事項についてまとめておく。 (復習）紙上事例１から訪問時に収集した情報を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
3	在宅療養者と家族への看護援助①（情報収集、バイタルサイン測定、在宅看護過程）	[演習①]Aグループ：紙上事例１の病態関連図の作成と看護計画を立案する。　Bグループ：紙上事例１への訪問時の情報収集とバイタルサインの測定を実施する。 (予習）事例を訪問した際に在宅療養者と家族から聞き取る内容と観察事項についてまとめておく。 (復習）紙上事例１から訪問時に収集した情報を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
4	在宅療養者と家族への看護援助②（胃ろうの管理、本人・家族への指導）	[演習②]Aグループ：紙上事例１の胃ろう管理を実施する。 Bグループ：紙上事例１の看護計画を立案する。 (予習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントを調べてくる。 (復習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントと指導内容を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
5	在宅療養者と家族への看護援助②（胃ろうの管理、本人・家族への指導）	[演習②]Aグループ：紙上事例１の看護計画を立案する。 Bグループ：紙上事例１の胃ろう管理を実施する。 (予習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントを調べてくる。 (復習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントと指導内容を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2313040
担当者氏名	古澤　弘美、駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	紙上事例の看護計画 (在宅看護過程)	[グループワーク]個々に作成した紙上事例１の看護計画についてグループで共有する。 (予習）各自、情報収集から看護計画の立案まで作成してくる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
7	紙上事例の看護計画 (在宅看護過程)	[全体討議]グループで作成した看護計画を発表し、学びを共有する。 (復習）各自の看護計画を修正し、指定の期日までに提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
8	在宅療養での医療機器 （HOT、ポート等）	在宅で使用する医療機器について学ぶ。 （予習）在宅での医療管理について在宅看護援助論Ⅰの資料とテキストを読んでくる。 (復習）在宅での医療管理について、観察ポイントと療養者と家族への指導内容について整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
9	在宅療養における医療管理 （在宅酸素療法、本人・家族への指導）	[グループワーク]紙上事例2の看護計画を立案する。 (予習）在宅酸素療法（対象、症状、治療、看護等）について確認しておく。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
10	宅療養における医療管理 （在宅酸素療法、本人・家族への指導）	[全体討議]在宅酸素療法を行う上での観察ポイントと、紙上事例２の療養者と家族への指導内容について発表し、学びを共有する。 (復習）紙上事例２の観察ポイントと、紙上事例２の療養者と家族への指導内容についてまとめ、指定の期日までに提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
11	在宅療養者とその家族の状況 に応じた看護技術 （足浴、移動と肢位の保持、 家庭用物品の活用）	[グループワーク]2事例についてそれぞれ足浴を実施するための手順書を作成する。 (予習）基礎看護学背学んだ清潔の援助について復習する。在宅で行う日常生活援助についてテキスト等で確認してくる。 （復習）次回の実施に向け、作成した手引書で足浴の練習を行う。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
12	在宅療養者とその家族の状況 に応じた看護技術	[技術演習]足浴の実施 (予習）作成した手順書で足浴の練習を行う。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
13	在宅療養者とその家族の状況 に応じた看護技術	[技術演習]足浴の実施 (復習）実施してみての反省をふまえ、手順書を修正して提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
14	在宅看護の対象に応じた社会 資源の活用 （制度、社会資源）	[グループワーク]　在宅療養を支える法・制度と利用可能な社会資源について各事例を通して学ぶ。 (予習）在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
15	在宅看護の対象に応じた社会 資源の活用 （制度、社会資源）	14回目の続き　[全体討議]　在宅療養を支える法・制度と利用可能な社会資源について各事例を通して学ぶ。 (復習）生活の質を高めるための社会資源の活用について事例ごとに整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域診断論			授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。

《授業の到達目標》

1．地域における地域診断の意義と技法を理解し活用することができる。
2．地域診断に必要な情報（データ）の種類を知り、データ分析してアセスメントできる。
3．地域の健康課題の抽出及び健康課題の優先順位の決定方法を説明できる。
4．地域の健康課題・健康問題に添った活動計画を立案する際のポイントを説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習　40%、定期試験　40%、レポート　10%

《テキスト》

『地域看護診断 第2版』（金川克子・田高悦子編　東京大学出版会　2011年）
『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著　医歯薬出版　2018年）
『コミュニティ アズ パートナー 地域看護学の理論と実際 第2版』（ｴﾘｻﾞﾍﾞｽ T．ｱﾝﾀﾞｰｿﾝ他編　医学書院　2007年）

《履修上の留意点》

2年次までの公衆衛生看護学概論および援助論ⅠⅡ、公衆衛生学、保健統計学、疫学の学びを統合して理解を深めるとともに、既習の学びを活用してデータ分析・アセスメントすることを心がけてください。技術演習は個人ワークとグループワークを織り交ぜて展開する予定です。担当教員との積極的な意見交換で、有意義な講義・演習となることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　病院での看護診断と保健師の行う地域看護診断との共通点と相違点を学ぶことができる科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域診断の意義 （地域診断の目的、地域特性、鳥の目、虫の目、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、エスノグラフィ）	ガイダンス　　保健師の行う地域診断の目的と特徴および地域診断の技法について、活用できる理論やモデルと関連させながら学ぶ （予習）自分の出身地（または居住地）の市町村のホームページを閲覧し、①地域の特徴②強み③改善した方が良いところについて200文字程度でまとめる （復習）テキスト(1) p 9～ p 19を読む	駒形三和子
2	地域診断の展開過程① （地区視診、地区踏査、既存資料、マッピング、資料の読み取り、分類、比較、分析）	地域診断に必要な情報（データ：地域の特性、環境、地域で活用できる資源等）の種類とその入手方法、地域特性を掴むためのデータ分析・アセスメントの技法を事例をもとにしたミニ演習をとおして理解する （予習）テキスト(1) p 21～ p 36を読む （復習）テキスト(1) p 101～ p 120（高齢者）、p 120～ p 136（母子）、p 136～ p 153（成人）のいずれか1つを選択し読む	駒形三和子
3	地域診断の展開過程② （データの記述、推論、要約、看護問題、健康課題、要因、背景、優先順位、地域ケア実践の方向性）	アセスメントした資料の取捨選択・整理・統合、健康課題の抽出、優先順位付けの考え方と資料化のポイントを学ぶ （予習）前回のミニ演習の事例の分析から考えられる健康課題を1つあげる （復習）講義で解いた保健師国家試験問題の振り返り 【次回ノートPC持参】	駒形三和子
4	地域診断演習①【個人】 （地域特性の把握）	演習ガイダンス 対象地域の情報収集と分析 （予習）前回までの講義資料の振り返り （復習）収集したデータの読み取りと整理	駒形三和子 飯吉令枝
5	地域診断演習②【個人】 （データ分析・アセスメント）	データの比較・分析・推論 （予習）整理したデータの分類、比較データの収集、不明な点を担当教員に確認 （復習）分析したデータの整理	駒形三和子 飯吉令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域診断論	授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	地域診断演習③【個人】 （健康課題の抽出）	分析・推論したデータの取捨選択と加工、健康課題の抽出 （予習）分析したデータを担当教員に提出し、意見交換 （復習）資料の整理、抽出した健康課題の要因・背景を考え記述	駒形三和子 飯吉令枝
7	地域診断演習④【グループ】 （健康課題の優先順位、地域ケアの方向性）	グループ内発表 グループ毎に各自が捉えた地域特性と健康課題の発表を行い、それぞれの共通点、相違点を話し合う。グループとしての地域特性と健康課題をまとめ、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を検討 （予習）グループ内発表準備（発表資料の印刷、プレゼン準備） （復習）グループで話し合った内容を整理	駒形三和子 飯吉令枝
8	地域診断から地域看護活動へ （地域看護活動計画、目標設定、事業評価）	全体発表、質疑 地域診断にもとづいた地域看護活動計画の立案、評価 （予習）全体発表準備（パワーポイント資料、プレゼン準備） （復習）課題レポート「保健師活動における地域診断の意義について考えたこと」演習自己評価表と共に提出期限までに提出	駒形三和子 飯吉令枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	健康教育論			授業科目番号	2313110
担当者氏名	丸山　敬子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◯2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◯2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

人々が地域において健康な生活を送るうえで、個人・家族・集団に対して、看護専門職が教育的役割を果たすことが求められていることから、教育指導力の基礎となる知識や方法を習得することを目的とする。クライアントが主体的にできる望ましい行動変容を目指すためや、自己管理力を高めるための健康教育の根拠となる理論やモデルを学ぶとともに、健康教育の対象、場、方法を理解し、また、活用される方法と媒体についてその特性を学習する。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生看護における健康教育の位置づけについて述べることができる。
2．健康教育に関連する理論やモデルについて述べることができる。
3．健康教育の技術について述べることができる。
4．健康教育の展開過程について述べることができる。

《評価の方法》

定期試験80%
学習態度（授業中の発言・態度）20%

《テキスト》

『標準保健師講座[2]公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著　医学書院　2020年）

《参考図書》

適宜、ハンドアウトを配布する。
適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

看護職にとって、健康教育の概念は重要である。保健師だけでなく、看護師を目指す学生も選択することを推奨する科目である。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 公衆衛生看護における健康教育（健康教育・疾病モデル・ライフモデル・対象・目的・目標・場）	ガイダンス 健康教育の展開のパラダイムシフトを理解し、健康教育の定義を理解する。また、健康教育は対象と目的、目標、場を明確にすることにより展開されることを理解する。 （予習）テキスト6章 健康教育の展開　A地域における健康教育の位置づけを読む。	丸山　敬子
2	健康教育に関連する理論・モデル （健康教育の基礎となる理論・健康教育理論・健康教育モデル）	健康教育に関連する、場の理論・変化の3段階理論・KAPモデル・ヘルスビリーフモデル・プリシード・プロシードモデル・変化のステージ理論・社会学習理論ついて既習の内容を確認し、理解する。 (予習)テキスト3章 公衆衛生看護の基盤となる理論　A④⑤　C⑤を読む。 (復習)自己の理解が不十分だと思う理論やモデルについて確実に理解する。	丸山　敬子
3	健康教育の技術と教育媒体 （学習方法・個別健康教育・集団健康教育・教材）	ピアエデュケーションを含む学習方法のタイプや、個別・小集団・大集団・不特定多数などの対象への健康教育の方法を理解する。また、健康教育の媒体の種類と特徴、選定について理解する。 （予習）テキスト6章　BとCを読む。 （復習）実際に、どのような健康教育が行われているか。インターネットで調べる。	丸山　敬子
4	健康教育の展開過程① （地域のニーズ・指導案）	地域のニーズの把握とアセスメント、健康教育の企画の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D①健康教育の準備を読む。 （復習）企画の過程を確認する。	丸山　敬子
5	健康教育の展開過程② （指導案・プログラム）	健康教育の指導案作成の技術と実施の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D②健康教育の実施を読む。 （復習）指導案の作成技術を確認する。	丸山　敬子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	健康教育論	授業科目番号	2313110
担当者氏名	丸山　敬子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	健康教育の展開過程③ （評価・フォロー・自立支援）	健康教育の評価、終了後のフォロー、自立支援・組織化の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D③④⑤健康教育の評価・フォロー・自立支援を読む。 （復習）健康教育の一連の展開過程について確認する。	丸山　敬子
7	健康教育の実際	健康教育の過程を具体的に理解する。 （予習）テキスト6章 E健康教育の実際を読む。 （復習）テキスト6章 Eの内容とDの内容を対応させて、統合して理解する。	丸山　敬子
8	まとめ	授業全体を振り返り、内容をまとめる。 （復習）健康教育に関連する過去の国家試験問題を調べて解いてみる。	丸山　敬子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313150
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

災害看護論を基盤に実際に県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震の被災地、および県外の被災地に出向き、被災地の復興の流れや、防災・減災対策などを実際に学ぶ。同時に、フィールドワークを通して、被災者の理解を深め、看護職および地域住民双方の視点から防災、被災に対する自己の考えを深める。事例によるロールプレイイングを行い災害で親しい人を失った遺族への言葉かけ、コミュニケーションスキル（傾聴）を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護の知識と技術を活用し、基本的な支援活動が理解でき述べることができる。
2．シミュレーション学習を通して、災害時の看護師の役割と被災者の気持ちに寄り添うことの重要性について述べることができる。
3．支援活動時に多職種と連携・協同の理解ができ,活動計画が立案でき述べることができる。

《評価の方法》

1．実技確認：30%　期限内にレポート提出30%
2．授業態度：グループワーク参加態度：40%

《テキスト》

1.『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）
2.『避難所の立ち上げから管理運営_HAPPY』（山﨑達枝監修　荘道社　2016年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習が多いです、そこで様々な疾患について病態生理をしっかりと勉強して授業に出席してください。例えばトリアージ実施する際、なぜそのような判断をしたのか？生理学的・解剖学的に説明を求めます。質問に答えられると授業は面白くなると思いますが、答えられないと辛い時間になるかと思います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	災害時のトリアージについて （多数傷病者、トリアージ）	（講義）トリアージについて （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）テキストを読み、DVDを再視聴し再学習する。	山﨑　達枝
2	机上・映像シミュレーション （トリアージ、シミュレーション）	（演習）トリアージタグの書き方 （傷病者映像）傷病者の1次・2次トリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する。	山﨑　達枝
3	演習（A・Bチーム） （トリアージ、外傷メイク）	（演習）外傷メイク（ムラージュ）後、模擬患者によるトリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する。	山﨑　達枝
4	演習（A・Bチーム） （トリアージ、外傷メイク）	（演習）外傷メイク（ムラージュ）後、模擬患者によるトリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する	山﨑　達枝
5	演習：応急処置 （三角巾、本結び、被覆）	（演習）三角巾を使用した被覆応急処置 （予習）正しい本結びの結び方を覚える。 （復習）三角巾を使い、何度も繰り返し練習する。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313150
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	演習：グループディスカッション （要配慮者トリアージ）	（講義）災害時の要配慮者とは （演習）机上シミュレーション：災害時、要配慮者のトリアージ （予習）テキスト2の55頁～68頁まで読む。 （復習）グループ内での要配慮者トリアージでの意見をまとめる。	山﨑　達枝
7	模擬体験 中間実技確認（三角巾）	（演習）模擬体験：避難所 （実技確認）三角巾を利用した被覆応急処置 （予習）三角巾を使い、何度も繰り返し練習する。 （復習）三角巾を使い、正しい方法で何度も繰り返し練習する。	山﨑　達枝
8	演習 （エマルゴトレーニングシステム）	（演習）現場救護所から医療施設での受け入れと入院治療まで （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）実際に行ってできなかったことなどグループ内で振り返り、次の授業に繋げられるようにする。	山﨑　達枝
9	演習 （エマルゴトレーニングシステム）	（演習）現場救護所から医療施設での受け入れと入院治療まで （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）実際に行ってできなかったことなどグループ内で振り返り、傷病者が入院治療できるようにする。	山﨑　達枝
10	講演 （体験報告、復興とは）	（講演）中越地震被災体験から復興とは 現在までの活動体験を語る	山﨑　達枝
11	講義　災害と法律	（講義）災害に関する法律について （予習）災害に関する法律を調べる。 （復習）予習で不足した部分を授業や情報収集・検索を行い補う。	山﨑　達枝
12	DVD鑑賞 （遺族ケア、グリーフ）	（DVD鑑賞）「遺体」 （予習）配布資料「コロナの期間に大切な人を亡くした方へ」を読む。 （復習）感想レポート提出　字数は定めない	山﨑　達枝
13	シミュレーション（ロールプレイング）・グループ発表	（演習）看護職ができる遺体・遺族への支援とは （グループ発表）シナリオ作成からロールプレイング （予習）シナリオ作成にむけ、過去の関連した学びを復習する。 （復習）感想レポート提出　字数は定めない	山﨑　達枝
14	演習：避難所運営（HUG） Hinanzyo　Unei　Game （避難所運営）	（演習）避難所の管理運営（災害医療体系に基づいたシミュレーション） 事例から学ぶ、被災者・救援者への関わり （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）グループ内で振り返り、検討・軌道修正し次の授業に備える。	山﨑　達枝
15	演習：避難所運営（HUG） Hinanzyo　Unei　Game （避難所運営）	（演習）避難所の管理運営（災害医療体系に基づいたシミュレーション）、実施後は振り返りを行い、看護職の役割を再確認する。 （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）学んだことについてレポート提出　字数は定めない。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護学研究法			授業科目番号	2314070
担当者氏名	金子　史代、柳原　眞知子、板山　稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

看護研究における研究意識の涵養と基本的な調査方法や分析手法、文献購読や資料分析など、課題解決のための基礎的な研究能力を養成する。具体的には、研究とは何か、研究者とは、研究対象者とは、研究協力者とはなど、研究に関わる人について倫理的配慮も含めて学ぶ。今までの講義・演習・実習で生じた疑問や事故の課題について、研究計画書を作成することを体験する。

（柳原眞知子/2回）研究とは何か、研究の倫理的配慮について。　（金子史代/2回）研究のプロセスについて。　（板山稔/2回）研究報告書の書き方、論文の構成と書き方、報告・公表の方法について。

（共同/9回）研究疑問に対する文献収集、文献クリティーク、研究計画書作成を3名の教員が分担して指導する。

《授業の到達目標》

1．看護における研究の意義や役割について理解できる。　2．研究における一連のプロセス（文献検討、研究課題の明確化、研究デザインの検討、研究方法の具体化、データ収集と分析、結果と考察のまとめ）が理解できる。　3．研究における倫理的問題と具体的配慮について理解できる。　4．研究論文のクリティーク方法を理解し、関心のある課題に関連する論文のクリティークを行うことができる。　5．研究計画書の様式にそって、関心のある研究課題について計画書作成を体験できる。

《評価の方法》

研究計画書70%、クリティーク作成資料20%、授業参加態度10%

《テキスト》

『楽しくなる看護研究』（上野栄一 他著　メヂカルフレンド社　2012年）

《参考図書》

『看護研究サクセスマニュアル』（岡本恵里 他著　インプレス　2013年）

『看護研究 第2版―原理と方法』（D．F．ポーリット他著　医学書院　2010年）　他の参考図書等は授業内で適宜紹介する

《履修上の留意点》

各回に示された予習・復習を確実に行い、授業に臨むようにしてください。

4年次の卒業研究につながる科目であり、各回の配付資料も多いです。専用のファイルを必ず準備しておいてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護研究とは （看護研究、研究疑問、研究テーマ）	研究の意義・目的、看護研究と看護実践との関連等について理解し、自己の研究疑問や研究テーマについて考える。 予習：テキスト2～18ページを読む 復習：講義内容を振り返り、抱いている研究疑問をリストアップしてみる	板山　稔
2	研究デザインと文献クリティーク （研究デザイン、文献検索、クリティーク）	研究デザインの種類、文献を読み込むのに必要なクリティークの方法を理解し、文献検索を実際に行いながら、研究テーマや研究目的を絞り込む。 予習：テキスト37～59ページを読む 復習：文献検索を継続し、関心のテーマに関連した文献を読み込む	板山　稔
3	文献クリティークの実際 （文献クリティーク）	授業では、事前学習として文献クリティーク用紙で学習を行い文献クリティーク用紙を基にグループ内で発表し、内容の意見交換を行う。よくできた発表者を選び、全体発表会で発表する。 予習：テキスト52～59ページを読む 復習：文献クリティーク用紙を見直し修正して提出する	柳原眞知子 金子　史代 板山　稔
4	研究プロセスと研究計画 （研究プロセス、研究計画書）	研究のプロセスと研究を進めるうえで重要となる研究計画書の内容について理解する。 予習：テキスト19～25、62～66ページを読む 復習：文献検索を継続し、関心のあるテーマに関連した文献を読み込む	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
5	量的研究とは （量的研究、量的研究の構成とプロセス）	1．量的研究とは、2．量的研究の構成とプロセス、3．質的研究の種類：実態調査研究、相関関係実証型研究、実験研究、4．概念枠組みとは、変数とは（独立変数、従属変数） 予習：テキスト67～71ページ及び事前配布資料を熟読し疑問点を事前にQカードに記入し提出する　復習：リフレクションシートで、理解したことわからないことを明確にする	柳原眞知子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	金子　史代、柳原　眞知子、板山　稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	量的研究に必要な方法 （データ収集、データ分析）	1．量的研究のデータの収集：データ収集（配布・回収）、データの集計、2．量的研究のデータの分析；データ分析とは、3．データのまとめ方 予習：テキスト112～128ページ及び事前配布資料を熟読し疑問点を事前にＱカードに記入し提出する 復習：リフレクションシートで、理解したことわからないことを明確にする	柳原眞知子
7	量的研究としての調査研究の具体的展開 （調査研究、調査書の作成、依頼文）	実態調査研究の実際：1．調査の設計、2．仮説を立てる、3．調査対象者の選定、4．研究依頼の進め方、5．調査票の作成と妥当性・信頼性、6．ＰＣでのデータ入力方法　　予習：5コマ目の授業で配布された資料を熟読し調査研究について解らないことを明確にし、事前に提出する。テキスト72～78を読む。　　復習：テーマに基づき調査研究の一連の作業を行い、行われた作業をレポートとして提出する	柳原眞知子 金子　史代 板山　稔
8	質的研究とは （質的研究と種類，グランデッドセオリー、エスノグラフィー、現象学的アプローチ、事例研究）	1．質的研究の特徴 2．主な質的研究の種類とその内容：グランデッドセオリー、エスノグラフィー、現象学的アプローチ、事例研究 予習：テキスト84～90ページを読む 復習：テキスト及び配布資料の内容を整理する	金子　史代
9	質的研究の進め方 （面接；インタヴューの種類、インタヴューガイド、インタヴューのポイント、カテゴリーの生成と成果）	1．質的研究におけるデータ収集法：１)面接(インタヴュー）の種類、２）インタヴューガイド、３）インタヴューのポイント 2．カテゴリーの生成と質的研究の成果 3．発表されている質的研究から理解を深める 予習：テキスト90～109ページを読む 復習：テキスト及び配布資料から関心のある質的研究法を整理してみる	金子　史代
10	文献研究 (文献研究の種類とその内容：総説、先行研究の文献レュー、研究論文の文献研究）	1．文献研究の意義と目的 2．文献研究の種類とその内容：総説　先行研究の文献レビュー　研究論文の文献研究 予習：文献クリティーク用紙を見直し、テキスト44～59ページを読む 復習：配布資料及びテキストの内容を整理する	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
11	研究倫理 （生命倫理，倫理的配慮とその記述，研究対象者への説明と同意、倫理審査委員会）	1．生命倫理と看護研究　１）生命倫理　２）看護と看護研究 2．看護研究の倫理的配慮　１）倫理綱領　２）倫理的配慮とその記述　３）研究対象者への説明と同意　４）倫理審査委員会 予習：テキスト31～36ページを読む 復習：テキスト及び配布資料から倫理的配慮の記述を整理してみる	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
12	研究論文の書き方・発表の仕方 （論文構成、抄録、口演発表、示説発表）	論文の構成と内容、書き方の基本事項を理解する。発表形式の相違と特徴を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 予習：テキスト130～155ページを読む 復習：テキスト及び配布資料の内容を整理する	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
13	研究計画書の書き方 （研究テーマ、研究背景、研究目的）	研究計画書の意義、形式（記載項目）と内容、作成上の注意点について理解する。自己の研究テーマに合わせて、配付する用紙にそって研究計画のアウトラインを検討する。 予習：テキスト12～36ページを読む、自己の研究テーマ・研究目的を明確にしておく 復習：研究計画書の項目にそってアウトラインを検討する	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
14	研究計画書の作成① （研究背景、研究目的、概念枠組み、研究デザイン）	疑問点に関して教員の指導や助言をもらいながら、これまでの学習内容をもとに研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
15	研究計画書の作成② （研究対象、データ収集方法、データ分析方法、倫理的配慮）	疑問点に関して教員の指導や助言をもらいながら、これまでの学習内容をもとに研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め研究計画書を完成させる	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	家族看護論			授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤　まさ子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護学の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1．家族の概念や形態、機能について説明できる
2．家族看護過程の概要を説明できる
3．家族看護における看護者の役割・機能について説明できる
4．状況に応じた家族援助について説明できる

《評価の方法》

レポート課題70%、学習態度（授業中の発言や参加度をもとに評価する）30%

《テキスト》

『系統看護学講座　家族看護学』（上別府圭子 他著　医学書院　2018年）

《参考図書》

『あなたの知らない「家族」』（柳原清子著　医学書院　2001年）

《履修上の留意点》

講義、演習形式で、ある事例をもとに皆さんとともに考えながら授業を進めます。予習や復習をきちんとしてきてください。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	家族看護学とは(家族看護の変遷、定義、特徴)	家族看護の専門性、変遷、特徴、ねらい、「家族」について学習する。 （予習）第1章を読んでノートにまとめること。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
2	看護における家族の捉え方(家族の概念、家族の健康、家族構造、ジェノグラム)	家族の健康、家族の構造について学習し、事例を用いてジェノグラムを実際に書いてみる。 （予習）第2章A,Bを読んでノートにまとめること。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
3	家族の機能と現代家族の課題(育児機能、セルフケア機能、現代家族の様相と課題)	家族の育児やセルフケア、現代家族の様相と課題について学習する。 （予習）第2章C,Dを読んでノートにまとめること。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
4	看護と家族の接点(危機理論、家族システム理論、家族の看護ニーズなど)	看護対象として家族を知る、さらに看護介入の基礎を理解する。 （予習）自分の家族を援助対象として捉えると仮定して、どう説明するか。実際に書いてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
5	家族看護過程(1)(家族アセスメント、家族の適応状況、家族の対応能力、発達課題)	事例をとおして家族看護過程の構造を学ぶ。 （予習）第4章Aの①②を読んで質問を考えてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤　まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	家族看護過程(2)(事例展開)	ある家族像の把握、アセスメント演習を行う。 （予習）事例についてアセスメントする。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
7	家族援助のスタンスと方法(看護者の役割、援助姿勢、エンパワメント)	ある家族のアセスメントの続きをする。 （予習）これまでの学びを整理してくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
8	病気や障害のある子どもと暮らす家族への援助(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	小児患者の家族について学習し、事例を読む。 （予習）第5章Dを読んでノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
9	病気や障害のある子どもと暮らす家族への援助(2)(事例展開)	ある家族のアセスメントと、援助の方向について演習。 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
10	救急医療のにおける家族への援助(1)(家族の発達課題、家族背景、危機モデル)	救急医療の場における家族について学習し、事例を読む。 （予習）教科書第5章Aを読んでノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
11	救急医療の場における家族への援助(2)(事例展開)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習。 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
12	高齢者介護を行う家族への援助(1)(介護負担、介護における幸福感、高齢者虐待)	高齢者介護を行う家族について学習し、事例を読む。 （予習）教科書第5章Fを読んでノートにまとめてくる。 （復習）事例アセスメントの見直し	斎藤まさ子
13	高齢者介護を行う家族への援助(2)(事例展開)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
14	精神障害者と暮らす家族への援助(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	精神障害者と暮らす家族について学習し、事例を読みアセスメントする。 （予習）教科書第5章Eを読んでノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
15	精神障害者と暮らす家族への援助(2)(事例展開、まとめ)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習 / まとめ （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312050
担当者氏名	金子　史代、広井　貴子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個別性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。

《授業の到達目標》

実習要項参照

《評価の方法》

実習における看護援助（実習態度,意欲を含む）カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲを修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	金子　史代 広井　貴子 目黒　優子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312050
担当者氏名	金子　史代、広井　貴子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312060
担当者氏名	中村　悦子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

慢性期にある成人を受け持ち、患者の特徴と看護上の問題を理解し、慢性期における機能障害が生活に及ぼす影響、機能障害に応じた援助の方法、症状や検査・治療に応じた看護、多職種との連携による継続看護の方法を学ぶ。また、慢性期から死の転帰をとる成人期の患者とその家族の気持ちに寄り添い、患者や家族のＱＯＬ向上のための看護援助の実際を学ぶ。また、緩和ケアにおけるチーム医療を考えるとともに、在宅緩和ケアの意義や課題について考察する。

《授業の到達目標》

成人看護学実習Ⅱ　実習要項　Ⅱ．実習目標1）～10）参照

《評価の方法》

成人看護学実習Ⅱ　実習要項　9．評価1）～3）参照

《テキスト》

適宜提示します。

《参考図書》

成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲで引用したテキストおよび配布資料

《履修上の留意点》

実習オリエンテーションで提示された事前学習に取り組んで実習に臨むこと。各自で健康管理に留意し体調を整えて実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		成人看護学実習Ⅱ　実習要項　参照 【実習施設】長岡西病院、小千谷さくら病院	中村　悦子 目黒　優子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312060
担当者氏名	中村　悦子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312110
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

中間施設である介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助関係を築き、高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者の背景からＱＯＬの向上を考えた看護実践する。退院においては、高齢者の生活を支える看護職や多職種と連携の実際を知り、看護師の役割を考察する。また、入院する前の元気な高齢者の生活を知るために、地域の高齢者と交流する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を参照

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

『生活機能からみた 老年看護過程』（山田律子、内ヶ島伸也編　医学書院　2020年）
『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著　メディカ出版　2017年）

《履修上の留意点》

事前学習：老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料とテキストをもう一度復習しておくこと。
さらに、看護技術が実践できるように、各自復習を行っておくこと。
事後学習：実習の一連の過程を経て、自己の老年看護観の変化をレポートとしてまとめること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1.実習期間：2週間 2.実習場所：介護老人保健施設 3.実習内容：実習要項参照	袖山　悦子 角山裕美子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312110
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312120
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-1 地域のネットワークを共有する力，◎3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしを様ざまな側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。
サポートセンターでは、地域密着型サービス内容から地域の特性を理解する。病院から退院に向けた多職種連携の実際を学び、高齢者のくらし、生活、介護、福祉、医療を対象に合わせて支える仕組みを体験する。また、個人・地域特性に応じ健康環境づくりや健康増進に関連する地域の組織的な取り組みや社会資源の開発を学ぶ。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を参照

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

《履修上の留意点》

事前学習：実習要項の事前学習を参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1.実習期間：2週間 2.実習場所：地域包括支援センター（長岡市、見附市）、高齢者総合ケアセンターこぶし園（各サポートセンター） 3.実習内容：実習要項参照	袖山　悦子 角山裕美子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312120
担当者氏名	袖山　悦子、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習			授業科目番号	2312160
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

子どもの健康問題、生活上および発達上の問題に注目し、子どもの特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、子どもと家族の健康増進などの看護を体験する。一般小児病棟や障がい児施設において一人または複数の小児を受け持ち、その児の健康問題、生活上の問題や発達上の問題にフォーカスし、小児の特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、保育園での小児実習、小児の健診の場面も活用し、小児と家族の健康増進などの看護を体験する。

《授業の到達目標》

実習要項を参照

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価表で評価する

《テキスト》

《参考図書》

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト、参考図書、授業資料を積極的に活用する

《履修上の留意点》

実習前オリエンテーションには必ず出席する。実習要項を熟読し、事前学習に取り組み実習に臨むこと。必要な講義資料及び演習で学習した資料をファイリングし実習期間中は必ず持参すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：病院・保育園 3．実習内容：実習要項参照	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習	授業科目番号	2312160
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学実習			授業科目番号	2312200
担当者氏名	髙島　葉子、柳原　眞知子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦・新生児、胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対度を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。産婦人科病棟、外来（助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、地域で活動する助産師の沐浴や新生児訪問への同行、母親学級を見学するなど、多様な場で学ぶ。

《授業の到達目標》

1．産褥期にある母性の特性と健康問題の理解を深め、看護過程を展開できる。　2．母子・父子を取り巻く家族関係を把握し家族再構築のための看護実践について説明できる。　3．母子支援は妊娠期から子産み子育て期まで継続して実践されていることを説明できる。　4．妊娠分娩産褥期および早期新生児期にある母性の特性と健康問題に応じた看護実践ができる。　5．生命の尊厳の認識を深めると共に自らの母性・父性・親子・家族について考えケア提供者としての成長を図ることができる。

《評価の方法》

到達目標に則った行動目標10項目に対し、実習記録、学習態度、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況に基いて、評価基準1～5点を配し、評価する。60点以上を合格とする。

《テキスト》

『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2016年）
『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患（改訂2版）』メディカ出版　　『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理（改訂2版）』メディカ出版　　『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』メディックメディア

《履修上の留意点》

実習前には、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱで学んだ知識を整理し、実習事前ノートを作成して臨むこと。母性看護学実習対象者の特性を考慮して、対象者の安全・安楽、羞恥心やプライバシーに配慮し、人権尊重の理念と個人情報保護を徹底する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	実習	1．実習場所 病院：長岡中央綜合病院、柏崎総合医療センター、小千谷総合病院 済生会三条病院、長岡赤十字病院（2022年度より） 助産所：無床助産所（7か所） 子育て相談等施設：長岡市（ママリラ西・三和、子育ての駅てくてく・ちびっこひろば）	髙島　葉子 柳原眞知子
2		2．実習期間：2週間 1）病院の病棟実習1週間 2）外来・子育て施設・助産所の実習を数日ずつ1週間 3．実習内容：実習要項参照	
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学実習	授業科目番号	2312200
担当者氏名	髙島　葉子、柳原　眞知子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習			授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊　要補、斎藤　まさ子、板山　稔、藤田　勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

精神看護学実習では、患者－看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。

《授業の到達目標》

1．対象者との相互関係の中で精神に障がいを持つ人を多面的な視点でとらえ、説明することができる　2．コミュニケーション技術を用いて、対象者との関係を発展させることができる　3．対象者を一人の生活者としてとらえ、セルフケア能力を高めるための個別的援助をすることができる　4．対象者が地域で生活するために、多職種と連携し、社会資源を活用した援助方法を考えることができる　5．地域で行われている精神保健・医療・福祉活動を知り、看護の役割を述べることができる。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する。

《テキスト》

学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。

《参考図書》

『精神看護学 学生‐患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著　医歯薬出版　2015年）
『パーフェクト臨床実習ガイド　精神看護』（萱間真美編　照林社　2015年）

《履修上の留意点》

実習に関連した既習学習をしっかりと復習して臨むこと。
体調を整え、積極的に実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：２週間 2．実習場所：田宮病院、デイケア、社会福祉施設 3．実習内容：実習要項参照	田邊　要補 斎藤まさ子 板山　稔 藤田　勇
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習	授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊　要補、斎藤　まさ子、板山　稔、藤田　勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学実習			授業科目番号	2313050
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子、山﨑　達枝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力， ○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

訪問看護ステーションでは、対象者を受け持ち、在宅訪問に同行し、対象の環境を理解して訪問看護過程を展開する。訪問看護過程の展開にあたっては人と家族がどのように暮らしたいかを把握し、その人らしさや家族の思いを活かす。また、地域の中で生活するために現存の社会資源について調べ、対象者や在宅療養のために必要な課題が表現できる。病院から地域への看護の継続と多職種との連携について理解を深め、地域で生活する様ざまな健康レベルにある人びとへの看護活動を理解し、看護実践能力の基盤を修得する。

《授業の到達目標》

1．訪問看護を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し述べることができる。　2．在宅療養において、援助課題を評価し、本人と家族の特徴に応じた訪問看護計画を立案することができる。　3．訪問看護の実習を通して在宅で行う看護技術の特徴とその方法を説明することができる。　4．在宅療養を支援する社会資源と多職種連携について述べることができる。　5．在宅ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護の役割について述べることができる。

《評価の方法》

実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって総合的に評価する。

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『在宅看護過程演習』（上田泉著　クオリティケア　2015年）　『訪問看護アセスメント・プロトコル』（山内豊明監修、岡本茂雄編　中央法規出版　2015年）　『在宅看護実習ガイド』（山田雅子編　照林社　2011年）

《履修上の留意点》

1．実習要綱を熟読して実習に臨む。　2．実習共通要項、在宅看護学実習要項に従った身だしなみ、服装、態度を実習参加の条件とする。　3．常に療養者と家族の立場を考え、尊厳、人権擁護、守秘義務、安全・倫理面への配慮に留意して実習する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習時間：2週間（2単位90時間） 2．実習場所：訪問看護ステーション 3．実習内容（実習要項参照）	古澤　弘美 飯吉　令枝 駒形三和子 山﨑　達枝
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学実習	授業科目番号	2313050
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子、山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			